

4 事業の評価

評価基準					
[妥当性]事業のニーズはあるか		増加している	○	横ばい	減少している
[妥当性]事業手段は妥当か	○	現行の手段でよい		一部見直しが必要	見直しが必要
[妥当性]官民の役割は妥当か	○	市が行うべき		他の主体との協働も可能	市が行う必要性は薄れている
[妥当性]緊急的に取り組む必要があるか		急いで取り組む	○	中長期的に取り組む	緊急性は薄い
[有効性]更に効果が期待できるか	○	できる		あまりできない	できない
[有効性]成果目標ほどの程度達成しているか		達成している (90%以上)		おおむね達成 (70~90%未満)	○ 達成していない (70%未満)
[有効性]上位施策への貢献度		重要かつ高い貢献度がある	○	一定の貢献度がある	貢献度は低い
[効率性]事業費を抑制できるか	○	できない		制約はあるが可能性はある	できる
[効率性]受益者負担の見直し		適正	○	負担は求められない	見直しが必要

5 今後の方向性 (担当課評価)

事業内容の方向性	充実				
	現状維持			○	
	縮小				
	廃止				
		ゼロ	縮小	現状維持	拡大
コスト投入の方向性					

担当課評価の根拠	社会教育行政の振興、発展の役割を担っているため、現状維持が妥当である。
見直し・改善内容	社会教育行政を推進するため、社会教育委員定例会議において、より広く意見を集め、施策へ反映させていく。

事務事業チェックシート

事務事業No

事業名

[事業基本情報]

12036

ユネスコ活動推進事業

[長期総合計画]

分野別目標	2	住みたいと選ばれる魅力があふれるまち
政策	5	郷土に誇りと愛着を育む文化・スポーツの振興と生涯学習の推進
施策	1	生涯学習の推進
取組方針	1	生涯学習の啓発と機会の提供

事業区分(1)	事業経費	○	管理経費	
	その他			
事業区分(2)	自治事務	○	法定受託事務	
	その他			
会計・ 予算区分	会計		一般会計	
	款		教育費	
	項		社会教育費	
	目		生涯学習振興費	
	大事業		生涯学習振興事業	
中事業		ユネスコ活動推進事業		

事業種別	継続		関連個別計画			
事業年度	無し	～	無し	担当課・担当課長・Tel	生涯学習課	末吉 栄作 435-1138
事業実施の根拠法令			関連課			

1 事業内容

事業目的	(「誰・何」をどういう状態にするための事業か)		全体事業概要			
	和歌山ユネスコ協会の活動の推進を図るとともに、多くの市民にユネスコ精神を広く普及させる。		ユネスコ活動を展開させることによりユネスコ精神の普及に努め、協会組織の強化を図る事業に対して補助を行う。			
事業内容	令和04年度	令和05年度	令和06年度	令和07年度	令和08年度	
	全国及び近隣のユネスコ協会と交流を図り、国際交流活動により、平和の尊さを説き、会員相互の理解と交流を深め、ユネスコ精神の普及に努める。	全国及び近隣のユネスコ協会と交流を図り、国際交流活動により、平和の尊さを説き、会員相互の理解と交流を深め、ユネスコ精神の普及に努める。	全国及び近隣のユネスコ協会と交流を図り、国際交流活動により、平和の尊さを説き、会員相互の理解と交流を深め、ユネスコ精神の普及に努める。	全国及び近隣のユネスコ協会と交流を図り、国際交流活動により、平和の尊さを説き、会員相互の理解と交流を深め、ユネスコ精神の普及に努める。	全国及び近隣のユネスコ協会と交流を図り、国際交流活動により、平和の尊さを説き、会員相互の理解と交流を深め、ユネスコ精神の普及に努める。	

2 事業コスト

事業費等(千円)	令和04年度		令和05年度		令和06年度		令和07年度		令和08年度		
	当初予算	決算	当初予算	決算	当初予算	決算	当初予算	決算	計画	決算	
事業費	52	45	52	45	45	45	45	0	45	0	
伸び率(%)	4%	0%	0%	0%	△13.5%	0%	0%	△100%	0%	0%	
人件費	正規職員	233	233	234	156	546	78	546	0	624	0
	正規職員以外	1,386	0	1,349	2,149	2,190	408	248	0	306	0
	小計	1,619	233	1,583	2,305	2,736	486	794	0	930	0
国庫支出金	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
県支出金	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
市債	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
その他	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
一般財源(税等)	52	45	52	45	45	45	45	0	45	0	
所要人数(人)	正規職員	0.03	0.03	0.03	0.02	0.07	0.01	0.07	0.00	0.08	0.00
	正規職員以外	0.27	0.00	0.27	0.43	0.43	0.08	0.06	0.00	0.06	0.00
主な予算内訳	ユネスコ運営補助金 45千円										

3 目標及び実績

活動指標	指標名	単位		令和04年度	令和05年度	令和06年度	令和07年度	令和08年度
				目標値	実績値	達成度(%)	目標値	実績値
会員数		人	目標値	70	70	70	70	
			実績値	58	58	49		
			達成度(%)	82.8%	82.8%	70%	%	%
新規会員数		人	目標値	10	10	5	5	
			実績値	2	0	1		
			達成度(%)	20%	0%	20%	%	%
平和の鐘打鐘会参加者数		人	目標値	1300	1300	1300	1300	
			実績値	397	130	35		
			達成度(%)	30.5%	10%	2.6%	%	%

4 事業の評価

評価基準					
[妥当性]事業のニーズはあるか		増加している	○	横ばい	減少している
[妥当性]事業手段は妥当か	○	現行の手段でよい		一部見直しが必要	見直しが必要
[妥当性]官民の役割は妥当か	○	市が行うべき		他の主体との協働も可能	市が行う必要性は薄れている
[妥当性]緊急的に取り組む必要はあるか		急いで取り組む	○	中長期的に取り組む	緊急性は薄い
[有効性]更に効果が期待できるか	○	できる		あまりできない	できない
[有効性]成果目標ほどの程度達成しているか		達成している (90%以上)		おおむね達成 (70~90%未満)	○ 達成していない (70%未満)
[有効性]上位施策への貢献度		重要かつ高い貢献度がある	○	一定の貢献度がある	貢献度は低い
[効率性]事業費を抑制できるか	○	できない		制約はあるが可能性はある	できる
[効率性]受益者負担の見直し		適正	○	負担は求められない	見直しが必要

5 今後の方向性 (担当課評価)

事業内容の方向性	充実				
	現状維持			○	
	縮小				
	廃止				
		ゼロ	縮小	現状維持	拡大
コスト投入の方向性					

担当課評価の根拠	ユネスコ精神の普及に努めるとともに、協会組織の強化を図る。
見直し・改善内容	会員の高齢化が大きな課題である。若年層への加入の呼びかけに努めたい。

事務事業チェックシート

事務事業No

事業名

[事業基本情報]

12037

公民館管理事業

[長期総合計画]

分野別目標	2	住みたいと選ばれる魅力があふれるまち
政策	5	郷土に誇りと愛着を育む文化・スポーツの振興と生涯学習の推進
施策	1	生涯学習の推進
取組方針	1	生涯学習の啓発と機会の提供

事業区分(1)	事業経費	○	管理経費	
	その他			
事業区分(2)	自治事務	○	法定受託事務	
	その他			
会計・ 予算区分	会計		一般会計	
	款		教育費	
	項		社会教育費	
	目		公民館費	
	大事業		公民館事業	
	中事業		公民館管理事業	

事業種別	継続		関連個別計画	生涯学習基本計画		
事業年度	無し	～	無し	担当課・担当課長・Tel	生涯学習課	末吉 栄作 435-1193
事業実施の根拠法令			関連課			

1 事業内容

事業目的	(「誰・何」をどういう状態にするための事業か)		全体事業概要			
	各公民館の諸事業を円滑に実施する。		公民館運営の全般にわたる企画調整及び連絡調整を行う。			
事業内容		令和04年度	令和05年度	令和06年度	令和07年度	令和08年度
		中央公民館の管理運営 各地区公民館の運営支援	公民館運営のための消耗品等 購入 公民館振興大会に要する諸経 費	非常勤職員等の報酬の支出及 び公民館運営のための消耗品 等購入 公民館振興大会に要する諸経 費	非常勤職員等の報酬の支出及 び公民館運営のための消耗品 等購入 公民館振興大会に要する諸経 費	

2 事業コスト

事業費等(千円)	令和04年度		令和05年度		令和06年度		令和07年度		令和08年度	
	当初予算	決算	当初予算	決算	当初予算	決算	当初予算	決算	計画	決算
事業費	881	681	696	585	667	597	575	0	892	0
伸び率(%)	23.7%	16%	△21%	△14.1%	△4.2%	2.1%	△13.8%	△100%	55.1%	0%
人件費	正規職員	1,009	1,009	1,013	779	1,013	1,637	1,403	0	1,481
	正規職員以外	790	419	822	0	881	0	0	0	0
	小計	1,799	1,428	1,835	779	1,894	1,637	1,403	0	1,481
国庫支出金	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
県支出金	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
市債	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
その他	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
一般財源(税等)	881	681	696	585	667	597	575	0	892	0
所要人数 (人)	正規職員	0.13	0.13	0.13	0.10	0.13	0.21	0.18	0.00	0.19
	正規職員以外	0.33	0.22	0.33	0.00	0.33	0.00	0.00	0.00	0.00
主な予算内訳	庁用器具費 425千円									

3 目標及び実績

活動指標	指標名	単位		令和04年度	令和05年度	令和06年度	令和07年度	令和08年度
				目標値	実績値	達成度(%)	目標値	実績値
館長数		人	目標値	43	43	43	43	
			実績値	43	43	43		
			達成度(%)	100%	100%	100%	%	
審議会委員数		人	目標値	10	10	10	10	
			実績値	10	10	10		
			達成度(%)	100%	100%	100%	%	
審議会開催数		回	目標値	1	1	1	1	
			実績値	1	1	1		
			達成度(%)	100%	100%	100%	%	
成果指標			目標値					
			実績値					
			達成度(%)					

4 事業の評価

評価基準					
[妥当性]事業のニーズはあるか		増加している	○	横ばい	減少している
[妥当性]事業手段は妥当か	○	現行の手段でよい		一部見直しが必要	見直しが必要
[妥当性]官民の役割は妥当か	○	市が行うべき		他の主体との協働も可能	市が行う必要性は薄れている
[妥当性]緊急的に取り組む必要があるか		急いで取り組む	○	中長期的に取り組む	緊急性は薄い
[有効性]更に効果が期待できるか	○	できる		あまりできない	できない
[有効性]成果目標ほどの程度達成しているか		達成している (90%以上)	○	おおむね達成 (70~90%未満)	達成していない (70%未満)
[有効性]上位施策への貢献度		重要かつ高い貢献度がある	○	一定の貢献度がある	貢献度は低い
[効率性]事業費を抑制できるか	○	できない		制約はあるが可能性はある	できる
[効率性]受益者負担の見直し		適正	○	負担は求められない	見直しが必要

5 今後の方向性 (担当課評価)

事業内容の方向性	充実				
	現状維持			○	
	縮小				
	廃止				
		ゼロ	縮小	現状維持	拡大
コスト投入の方向性					

担当課評価の根拠	公民館事業を円滑に実施できているため、現状維持が妥当である。
見直し・改善内容	公民館活動をさらに市民のニーズに合ったものにするため、公民館運営審議会等において広く意見を集め、事業をより実りのあるものにしていく。

4 事業の評価

評価基準					
[妥当性]事業のニーズはあるか		増加している	○	横ばい	減少している
[妥当性]事業手段は妥当か	○	現行の手段でよい		一部見直しが必要	見直しが必要
[妥当性]官民の役割は妥当か	○	市が行うべき		他の主体との協働も可能	市が行う必要性は薄れている
[妥当性]緊急的に取り組む必要があるか		急いで取り組む	○	中長期的に取り組む	緊急性は薄い
[有効性]更に効果が期待できるか		できる	○	あまりできない	できない
[有効性]成果目標ほどの程度達成しているか		達成している (90%以上)	○	おおむね達成 (70~90%未満)	達成していない (70%未満)
[有効性]上位施策への貢献度		重要かつ高い貢献度がある	○	一定の貢献度がある	貢献度は低い
[効率性]事業費を抑制できるか	○	できない		制約はあるが可能性はある	できる
[効率性]受益者負担の見直し		適正	○	負担は求められない	見直しが必要

5 今後の方向性 (担当課評価)

事業内容の方向性	充実				
	現状維持			○	
	縮小				
	廃止				
		ゼロ	縮小	現状維持	拡大
コスト投入の方向性					

担当課評価の根拠	新成人に大人への自覚を促すとともに、その前途を祝福し激励するための成人式が開催できているため、現状維持が妥当である。
見直し・改善内容	多くの新成人に式典に参加してもらい、また郷土を愛する心を育むため、より一層魅力的な式典内容にしていく。

事務事業チェックシート

事務事業No

事業名

[事業基本情報]

12042

生涯学習推進事業

[長期総合計画]

分野別目標	2	住みたいと選ばれる魅力があふれるまち
政策	5	郷土に誇りと愛着を育む文化・スポーツの振興と生涯学習の推進
施策	1	生涯学習の推進
取組方針	1	生涯学習の啓発と機会の提供

事業区分(1)	事業経費	○	管理経費	
	その他			
事業区分(2)	自治事務	○	法定受託事務	
	その他			
会計・ 予算区分	会計		一般会計	
	款		教育費	
	項		社会教育費	
	目		生涯学習振興費	
	大事業		生涯学習推進事業	
中事業		生涯学習推進事業		

事業種別	継続		関連個別計画			
事業年度	無し	～	無し	担当課・担当課長・Tel	生涯学習課	末吉 栄作 435-1138
事業実施の根拠法令			関連課	全ての課		

1 事業内容

事業目的	(「誰・何」をどういう状態にするための事業か)		全体事業概要			
	生涯学習推進員研修会を通して啓発を行い、生涯学習の総合的かつ効果的な推進を図るため協議会を開催し、推進方策やその他生涯学習に対して協議する。		生涯学習を総合行政としてとらえ、生涯学習の推進を図るため推進員研修会を開催する。生涯学習推進協議会を設置し、生涯学習の推進についてその方策やその他生涯学習に対して協議する。			
事業内容	令和04年度	令和05年度	令和06年度	令和07年度	令和08年度	
	生涯学習推進協議会の開催、生涯学習推進員研修会の開催、生涯学習情報の収集・提供(行事・人材バンク情報等)、生涯学習推進計画の策定、家庭教育支援事業の実施、スポーツ少年団に関すること	生涯学習推進協議会の開催、生涯学習推進員研修会の開催、生涯学習情報の収集・提供(行事・人材バンク情報等)、生涯学習推進計画の策定、家庭教育支援事業の実施、スポーツ少年団に関すること	生涯学習推進協議会の開催、生涯学習推進員研修会の開催、生涯学習情報の収集・提供(行事・人材バンク情報等)、生涯学習推進計画の策定、家庭教育支援事業の実施、スポーツ少年団に関すること	生涯学習推進協議会の開催、生涯学習推進員研修会の開催、生涯学習情報の収集・提供(行事・人材バンク情報等)、生涯学習推進計画の策定、家庭教育支援事業の実施、スポーツ少年団に関すること	生涯学習推進協議会の開催、生涯学習推進員研修会の開催、生涯学習情報の収集・提供(行事・人材バンク情報等)、生涯学習推進計画の策定、家庭教育支援事業の実施、スポーツ少年団に関すること	

2 事業コスト

事業費等(千円)	令和04年度		令和05年度		令和06年度		令和07年度		令和08年度		
	当初予算	決算	当初予算	決算	当初予算	決算	当初予算	決算	計画	決算	
事業費	2,966	2,076	2,942	2,303	2,894	2,482	2,826	0	2,779	0	
伸び率(%)	△1.9%	△8.7%	△0.8%	10.9%	△1.6%	7.8%	△2.3%	△100%	△1.7%	0%	
人件費	正規職員	9,231	9,386	9,265	7,474	13,247	15,974	13,636	0	14,338	0
	正規職員以外	0	0	0	0	1,293	658	862	0	862	0
	小計	9,231	9,386	9,265	7,474	14,540	16,632	14,498	0	15,200	0
国庫支出金	149	52	149	72	113	81	136	0	0	0	
県支出金	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
市債	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
その他	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
一般財源(税等)	2,817	2,024	2,793	2,231	2,781	2,401	2,690	0	2,779	0	
所要人数(人)	正規職員	1.19	1.21	1.19	0.96	1.70	2.05	1.75	0.00	1.84	0.00
	正規職員以外	0.00	0.00	0.00	0.00	0.57	0.29	0.38	0.00	0.38	0.00
主な予算内訳	附属機関委員報酬 115千円、消耗品 503千円、印刷製本費 143千円、スポーツ少年団交付金 1,060千円										

3 目標及び実績

活動指標	指標名	単位		令和04年度	令和05年度	令和06年度	令和07年度	令和08年度
				目標値	実績値	達成度(%)	目標値	実績値
生涯学習推進員研修参加者数		人	目標値	114	114	109	109	
			実績値	83	0	97		
			達成度(%)	72%	0%	88%	%	%
生涯学習人材バンク登録者数		人	目標値	125	125	200	215	
			実績値	185	194	103		
			達成度(%)	148%	155%	51%	%	%
成果指標			目標値					
			実績値					
			達成度(%)					

4 事業の評価

評価基準					
[妥当性]事業のニーズはあるか		増加している	○	横ばい	減少している
[妥当性]事業手段は妥当か	○	現行の手段でよい		一部見直しが必要	見直しが必要
[妥当性]官民の役割は妥当か	○	市が行うべき		他の主体との協働も可能	市が行う必要性は薄れている
[妥当性]緊急的に取り組む必要があるか		急いで取り組む	○	中長期的に取り組む	緊急性は薄い
[有効性]更に効果が期待できるか	○	できる		あまりできない	できない
[有効性]成果目標はどの程度達成しているか	○	達成している (90%以上)		おおむね達成 (70~90%未満)	達成していない (70%未満)
[有効性]上位施策への貢献度		重要かつ高い貢献度がある	○	一定の貢献度がある	貢献度は低い
[効率性]事業費を抑制できるか	○	できない		制約はあるが可能性はある	できる
[効率性]受益者負担の見直し		適正	○	負担は求められない	見直しが必要

5 今後の方向性 (担当課評価)

事業内容の方向性	充実			○	
	現状維持				
	縮小				
	廃止				
		ゼロ	縮小	現状維持	拡大
コスト投入の方向性					

担当課評価の根拠	「第3次和歌山市生涯学習基本構想及び基本計画」において、各課の事業・講座が生涯学習という「キーワード」でつながっていることが明確化された。この計画に基づき令和8年度目標値に向かって、さらに市民の学びの学習機会が拡充していく必要がある。
見直し・改善内容	生涯学習推進員研修会を通して啓発を行い、更に生涯学習の総合的かつ効果的な推進を図る。

事務事業チェックシート

事務事業No

事業名

[事業基本情報]

12044

公民館活動事業（公民館学級）

[長期総合計画]

分野別目標	2	住みたいと選ばれる魅力があふれるまち
政策	5	郷土に誇りと愛着を育む文化・スポーツの振興と生涯学習の推進
施策	1	生涯学習の推進
取組方針	1	生涯学習の啓発と機会の提供

事業区分(1)	事業経費	○	管理経費	
	その他			
事業区分(2)	自治事務	○	法定受託事務	
	その他			
会計・ 予算区分	会計	一般会計		
	款	教育費		
	項	社会教育費		
	目	公民館費		
	大事業	公民館事業		
中事業	公民館活動事業（公民館学級）			

事業種別	継続		関連個別計画	生涯学習基本計画		
事業年度	無し	～	無し	担当課・担当課長・Tel	中央公民館	末吉 栄作 435-1193
事業実施の根拠法令	社会教育法、公民館条例		関連課	生涯学習課		

1 事業内容

事業目的	（「誰・何」をどういう状態にするための事業か）		全体事業概要			
	中央公民館が各種講座を開設し、市民が生涯学習に触れる機会を創出する。		市民大学の運営を和歌山市社会福祉協議会に委託し、各種学級を開設する。また、親子チャレンジなどの中央公民館の各種講座を通じて公民館活動を知ってもらう。			
事業内容	令和04年度	令和05年度	令和06年度	令和07年度	令和08年度	
	市民大学運営委託 子供チャレンジ教室の実施 中央公民館講座の実施	市民大学運営委託 親子チャレンジ教室の実施 中央公民館講座の実施	市民大学運営委託 親子チャレンジ教室の実施 中央公民館講座の実施	市民大学運営委託 親子チャレンジ教室の実施 中央公民館講座の実施	市民大学運営委託 親子チャレンジ教室の実施 中央公民館講座の実施	

2 事業コスト

事業費等（千円）	令和04年度		令和05年度		令和06年度		令和07年度		令和08年度	
	当初予算	決算	当初予算	決算	当初予算	決算	当初予算	決算	計画	決算
事業費	16,425	15,217	17,138	15,744	16,840	15,256	16,331	0	547	0
伸び率（%）	0.9%	20.1%	4.3%	3.5%	△1.7%	△3.1%	△3%	△100%	△96.7%	0%
人件費	正規職員	7,757	7,913	7,785	6,306	7,792	13,325	11,377	0	12,000
	正規職員以外	1,338	1,338	1,413	1,528	1,566	3,919	3,300	0	3,300
	小計	9,095	9,251	9,198	7,834	9,358	17,244	14,677	0	15,300
国庫支出金	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
県支出金	0	0	61	50	58	0	34	0	0	0
市債	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
その他	2,963	1,514	2,717	1,625	2,228	0	1,900	0	0	0
一般財源（税等）	13,462	13,703	14,360	14,069	14,554	15,256	14,397	0	547	0
所要人数 （人）	正規職員	1.00	1.02	1.00	0.81	1.00	1.71	1.46	0.00	1.54
	正規職員以外	0.48	0.48	0.48	0.67	0.48	0.95	0.80	0.00	0.80
主な予算内訳	市民大学運営委託料 16,125千円									

3 目標及び実績

活動指標	指標名	単位	令和04年度	令和05年度	令和06年度	令和07年度	令和08年度
			目標値	実績値	達成度(%)	目標値	実績値
講座数 （市民大学28・チャレンジ4・中央公民館講座1）	講座	目標値	33	33	35	35	
		実績値	34	34	37		
		達成度(%)	103%	103%	105.7%	%	
受講者数 （定員：市民大学1年のみ740・チャレンジ200・中央公民館講座40）	人	目標値	980	980	980	980	
		実績値	696	777	825		
		達成度(%)	71.0%	79.2%	84.1%	%	

4 事業の評価

評価基準					
[妥当性]事業のニーズはあるか		増加している	○	横ばい	減少している
[妥当性]事業手段は妥当か	○	現行の手段でよい		一部見直しが必要	見直しが必要
[妥当性]官民の役割は妥当か	○	市が行うべき		他の主体との協働も可能	市が行う必要性は薄れている
[妥当性]緊急的に取り組む必要があるか		急いで取り組む	○	中長期的に取り組む	緊急性は薄い
[有効性]更に効果が期待できるか	○	できる		あまりできない	できない
[有効性]成果目標ほどの程度達成しているか		達成している (90%以上)	○	おおむね達成 (70~90%未満)	達成していない (70%未満)
[有効性]上位施策への貢献度	○	重要かつ高い貢献度がある		一定の貢献度がある	貢献度は低い
[効率性]事業費を抑制できるか	○	できない		制約はあるが可能性はある	できる
[効率性]受益者負担の見直し	○	適正		負担は求められない	見直しが必要

5 今後の方向性 (担当課評価)

事業内容の方向性	充実				
	現状維持			○	
	縮小				
	廃止				
		ゼロ	縮小	現状維持	拡大
コスト投入の方向性					

担当課評価の根拠	多くの市民が余暇を利用し学ぶ場を提供できているため、現状維持が妥当である。
見直し・改善内容	公民館活動等に積極的に参加しているのは高齢者が多いため、若い世代の関心を惹きつけるような学びの機会を提供し、学びを通して地域全体を巻き込んだ絆づくりの実現を目指す。

事務事業チェックシート

事務事業No

事業名

[事業基本情報]

12045

公民館運営委託事業

[長期総合計画]

分野別目標	2	住みたいと選ばれる魅力があふれるまち
政策	5	郷土に誇りと愛着を育む文化・スポーツの振興と生涯学習の推進
施策	1	生涯学習の推進
取組方針	1	生涯学習の啓発と機会の提供

事業区分(1)	事業経費	○	管理経費	
	その他			
事業区分(2)	自治事務	○	法定受託事務	
	その他			
会計・ 予算区分	会計		一般会計	
	款		教育費	
	項		社会教育費	
	目		公民館費	
	大事業		公民館事業	
	中事業		公民館運営委託事業	

事業種別	継続		関連個別計画	生涯学習基本計画		
事業年度	無し	～	無し	担当課・担当課長・Tel	生涯学習課	末吉 栄作 435-1193
事業実施の根拠法令	社会教育法、公民館条例		関連課			

1 事業内容

事業目的	(「誰・何」をどういう状態にするための事業か)		全体事業概要			
	4 2 地区公民館及び中央公民館で組織する和歌山市民館連絡協議会が円滑に運営できるようにする。		4 2 地区公民館及び和歌山市民館連絡協議会に運営委託し、公民館事業の運営を行う。			
事業内容	令和04年度	令和05年度	令和06年度	令和07年度	令和08年度	
	地区公民館運営委託料 公民館連絡協議会運営委託料	地区公民館運営委託料の支出 公民館連絡協議会運営委託料の支出	地区公民館運営委託料の支出 公民館連絡協議会運営委託料の支出	地区公民館運営委託料の支出 公民館連絡協議会運営委託料の支出	地区公民館運営委託料の支出 公民館連絡協議会運営委託料の支出	

2 事業コスト

事業費等(千円)	令和04年度		令和05年度		令和06年度		令和07年度		令和08年度		
	当初予算	決算	当初予算	決算	当初予算	決算	当初予算	決算	計画	決算	
事業費	14,023	13,771	14,023	13,893	14,023	14,023	14,023	0	14,023	0	
伸び率(%)	0%	6.3%	0%	0.9%	0%	0.9%	0%	△100%	0%	0%	
人件費	正規職員	4,887	4,965	4,905	3,893	4,909	8,338	7,091	0	7,481	0
	正規職員以外	681	681	718	579	792	0	0	0	0	0
	小計	5,568	5,646	5,623	4,472	5,701	8,338	7,091	0	7,481	0
国庫支出金	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
県支出金	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
市債	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
その他	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
一般財源(税等)	14,023	13,771	14,023	13,893	14,023	14,023	14,023	0	14,023	0	
所要人数(人)	正規職員	0.63	0.64	0.63	0.50	0.63	1.07	0.91	0.00	0.96	0.00
	正規職員以外	0.25	0.25	0.25	0.30	0.25	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
主な予算内訳	地区公民館運営委託料 11,098千円、公民館連絡協議会運営委託料 2,925千円										

3 目標及び実績

活動指標	指標名	単位	令和04年度	令和05年度	令和06年度	令和07年度	令和08年度
			目標値	実績値	達成度(%)	目標値	実績値
公民館事業委託数		件	目標値	43	43	43	43
			実績値	43	43	43	
			達成度(%)	100%	100%	100%	%
教室、講座参加者数		人	目標値	110000	110000	110000	110000
			実績値	61664	84171	83971	
			達成度(%)	56.0%	76.5%	76.3%	%
公民館フェスティバル入場者数		人	目標値	3500	3500	3500	3500
			実績値	2955	3947	3372	
			達成度(%)	84.4%	112.7%	96.3%	%

4 事業の評価

評価基準					
[妥当性]事業のニーズはあるか		増加している	○	横ばい	減少している
[妥当性]事業手段は妥当か	○	現行の手段でよい		一部見直しが必要	見直しが必要
[妥当性]官民の役割は妥当か	○	市が行うべき		他の主体との協働も可能	市が行う必要性は薄れている
[妥当性]緊急的に取り組む必要があるか		急いで取り組む	○	中長期的に取り組む	緊急性は薄い
[有効性]更に効果が期待できるか		できる	○	あまりできない	できない
[有効性]成果目標ほどの程度達成しているか		達成している (90%以上)	○	おおむね達成 (70~90%未満)	達成していない (70%未満)
[有効性]上位施策への貢献度		重要かつ高い貢献度がある	○	一定の貢献度がある	貢献度は低い
[効率性]事業費を抑制できるか	○	できない		制約はあるが可能性はある	できる
[効率性]受益者負担の見直し		適正	○	負担は求められない	見直しが必要

5 今後の方向性 (担当課評価)

事業内容の方向性	充実				
	現状維持			○	
	縮小				
	廃止				
		ゼロ	縮小	現状維持	拡大
コスト投入の方向性					

担当課評価の根拠	4 2 地区公民館で運営されているさまざまな公民館事業は地域の文化向上の役割を担っているため、現状維持が妥当である。
見直し・改善内容	和歌山市公民館連絡協議会理事会や常日頃の各地区公民館の行事等の、より多くの機会において各地区の公民館活動内容や状況を把握し、円滑で魅力ある公民館運営につなげる。

4 事業の評価

評価基準					
[妥当性]事業のニーズはあるか		増加している	○	横ばい	減少している
[妥当性]事業手段は妥当か	○	現行の手段でよい		一部見直しが必要	見直しが必要
[妥当性]官民の役割は妥当か	○	市が行うべき		他の主体との協働も可能	市が行う必要性は薄れている
[妥当性]緊急的に取り組む必要があるか		急いで取り組む	○	中長期的に取り組む	緊急性は薄い
[有効性]更に効果が期待できるか		できる	○	あまりできない	できない
[有効性]成果目標ほどの程度達成しているか		達成している (90%以上)		おおむね達成 (70~90%未満)	○ 達成していない (70%未満)
[有効性]上位施策への貢献度		重要かつ高い貢献度がある	○	一定の貢献度がある	貢献度は低い
[効率性]事業費を抑制できるか	○	できない		制約はあるが可能性はある	できる
[効率性]受益者負担の見直し		適正	○	負担は求められない	見直しが必要

5 今後の方向性 (担当課評価)

事業内容の方向性	充実				
	現状維持			○	
	縮小				
	廃止				
		ゼロ	縮小	現状維持	拡大
コスト投入の方向性					

担当課評価の根拠	最新の公民館活動情報に接することで館長をはじめ公民館職員の研修を進めることができているため、現状維持が妥当である。
見直し・改善内容	各種研修等に参加して得た情報や学びを深めるため、研修会後の報告等において議論を活発化させ、更に単に学ぶだけではなく、学びの成果を生かす仕組みづくりを検討していく。

4 事業の評価

評価基準					
[妥当性]事業のニーズはあるか		増加している	○	横ばい	減少している
[妥当性]事業手段は妥当か	○	現行の手段でよい		一部見直しが必要	見直しが必要
[妥当性]官民の役割は妥当か	○	市が行うべき		他の主体との協働も可能	市が行う必要性は薄れている
[妥当性]緊急的に取り組む必要があるか		急いで取り組む	○	中長期的に取り組む	緊急性は薄い
[有効性]更に効果が期待できるか	○	できる		あまりできない	できない
[有効性]成果目標はどの程度達成しているか		達成している (90%以上)		おおむね達成 (70~90%未満)	○ 達成していない (70%未満)
[有効性]上位施策への貢献度	○	重要かつ高い貢献度がある		一定の貢献度がある	貢献度は低い
[効率性]事業費を抑制できるか	○	できない		制約はあるが可能性はある	できる
[効率性]受益者負担の見直し		適正	○	負担は求められない	見直しが必要

5 今後の方向性 (担当課評価)

事業内容の方向性	充実				
	現状維持			○	
	縮小				
	廃止				
		ゼロ	縮小	現状維持	拡大
コスト投入の方向性					

担当課評価の根拠	様々な活動を通してリーダーを育成、女性の資質や能力の向上が見込める。
見直し・改善内容	若い世代を会員に取り込むため、会議・研修会等の開催日時を参加しやすい時間帯に改善する。

事務事業チェックシート

事務事業No

事業名

[事業基本情報]

20915

和歌山城ホール管理運営事業

[長期総合計画]

分野別目標	2	住みたいと選ばれる魅力があふれるまち
政策	5	郷土に誇りと愛着を育む文化・スポーツの振興と生涯学習の推進
施策	1	生涯学習の推進
取組方針	2	生涯学習の場の整備・充実

事業区分(1)	事業経費	○	管理経費	
	その他			
事業区分(2)	自治事務	○	法定受託事務	
	その他			
会計・ 予算区分	会計	一般会計		
	款	総務費		
	項	文化スポーツ費		
	目	和歌山城ホール費		
	大事業	和歌山城ホール費		
中事業	和歌山城ホール管理運営事業			

事業種別	継続		関連個別計画			
事業年度	無し	～	無し	担当課・担当課長・Tel	文化振興課	福田 幸誠 435-1194
事業実施の根拠法令	和歌山城ホール条例、和歌山城ホール条例施行規則		関連課			

1 事業内容

事業目的	(「誰・何」をどういう状態にするための事業か)		全体事業概要		
	和歌山城ホールを安全に利用できるように維持管理する。		和歌山城ホールを安全に利用するための維持管理事業		
事業内容	令和04年度	令和05年度	令和06年度	令和07年度	令和08年度
	修繕費及び火災保険料の支出 施設の貸出業務、管理運営業務、自主事業の実施 指定管理者 公益財団法人和歌山市文化スポーツ振興財団	修繕費及び火災保険料の支出 施設の貸出業務、管理運営業務、自主事業の実施 指定管理者 公益財団法人和歌山市文化スポーツ振興財団	修繕費及び火災保険料の支出 施設の貸出業務、管理運営業務、自主事業の実施 指定管理者 株式会社ケイミックスパブリックビジネス	修繕費及び火災保険料の支出 施設の貸出業務、管理運営業務、自主事業の実施 指定管理者 株式会社ケイミックスパブリックビジネス	修繕費及び火災保険料の支出 施設の貸出業務、管理運営業務、自主事業の実施 指定管理者 株式会社ケイミックスパブリックビジネス

2 事業コスト

事業費等(千円)	令和04年度		令和05年度		令和06年度		令和07年度		令和08年度	
	当初予算	決算	当初予算	決算	当初予算	決算	当初予算	決算	計画	決算
事業費	153,490	153,466	164,188	142,402	152,468	144,310	151,834	0	151,834	0
伸び率(%)	0%	0%	7%	△7.2%	△7.1%	1.3%	△0.4%	△100%	0%	0%
人件費	正規職員	0	0	30,440	30,440	8,026	9,273	6,078	0	0
	正規職員以外	0	0	1,294	1,294	0	0	0	0	0
	小計	0	0	31,734	31,734	8,026	9,273	6,078	0	0
国庫支出金	1,987	0	2,434	1,741	3,000	0	0	0	0	0
県支出金	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
市債	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
その他	3,914	0	4,598	1,877	5,142	0	5,779	0	5,779	0
一般財源(税等)	147,589	153,466	157,156	138,784	144,326	144,310	146,055	0	146,055	0
所要人数(人)	正規職員	0.00	0.00	3.91	3.91	1.03	1.19	0.78	0.00	0.00
	正規職員以外	0.00	0.00	0.57	0.57	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
主な予算内訳	管理運営委託料 150,994千円 等									

3 目標及び実績

活動指標	指標名	単位	令和04年度	令和05年度	令和06年度	令和07年度	令和08年度
			目標値	実績値	達成度(%)	目標値	実績値
自主事業開催数	回	目標値	29	29	29	29	29
		実績値	38	46	34		
		達成度(%)	131%	158%	117%	%	%
自主事業入場者数	人	目標値	5000	5000	5000	5000	5000
		実績値	10327	16172	6607		
		達成度(%)	%	%	%	%	%
施設利用件数	件	目標値	8000	8000	8000	8000	8000
		実績値	17861	19688	22848		
		達成度(%)	%	%	%	%	%

4 事業の評価

評価基準					
[妥当性]事業のニーズはあるか	○	増加している		横ばい	減少している
[妥当性]事業手段は妥当か	○	現行の手段でよい		一部見直しが必要	見直しが必要
[妥当性]官民の役割は妥当か	○	市が行うべき		他の主体との協働も可能	市が行う必要性は薄れている
[妥当性]緊急的に取り組む必要があるか		急いで取り組む	○	中長期的に取り組む	緊急性は薄い
[有効性]更に効果が期待できるか	○	できる		あまりできない	できない
[有効性]成果目標ほどの程度達成しているか	○	達成している (90%以上)		おおむね達成 (70~90%未満)	達成していない (70%未満)
[有効性]上位施策への貢献度	○	重要かつ高い貢献度がある		一定の貢献度がある	貢献度は低い
[効率性]事業費を抑制できるか	○	できない		制約はあるが可能性はある	できる
[効率性]受益者負担の見直し	○	適正		負担は求められない	見直しが必要

5 今後の方向性 (担当課評価)

事業内容の方向性	充実			○	
	現状維持				
	縮小				
	廃止				
		ゼロ	縮小	現状維持	拡大
コスト投入の方向性					

担当課評価の根拠	施設を適切に維持管理し、市民の文化芸術活動の場として提供することで文化振興に寄与する。
見直し・改善内容	「にぎわいの文化交流拠点」を目指し、より一層施設の周知・広報を行いながら利用者の増加を図る。

4 事業の評価

評価基準					
[妥当性]事業のニーズはあるか	○	増加している		横ばい	減少している
[妥当性]事業手段は妥当か	○	現行の手段でよい		一部見直しが必要	見直しが必要
[妥当性]官民の役割は妥当か	○	市が行うべき		他の主体との協働も可能	市が行う必要性は薄れている
[妥当性]緊急的に取り組む必要があるか		急いで取り組む	○	中長期的に取り組む	緊急性は薄い
[有効性]更に効果が期待できるか		できる	○	あまりできない	できない
[有効性]成果目標ほどの程度達成しているか		達成している (90%以上)		おおむね達成 (70~90%未満)	○ 達成していない (70%未満)
[有効性]上位施策への貢献度	○	重要かつ高い貢献度がある		一定の貢献度がある	貢献度は低い
[効率性]事業費を抑制できるか	○	できない		制約はあるが可能性はある	できる
[効率性]受益者負担の見直し	○	適正		負担は求められない	見直しが必要

5 今後の方向性 (担当課評価)

事業内容の方向性	充実				○
	現状維持				
	縮小				
	廃止				
		ゼロ	縮小	現状維持	拡大
コスト投入の方向性					

担当課評価の根拠	市民の生涯学習活動を支援するため、図書に関する設備を充実させていく必要がある。
見直し・改善内容	南コミュニティセンターの図書室の充実を図ることで、生涯学習活動の一層の充実を図っていきます。

4 事業の評価

評価基準					
[妥当性]事業のニーズはあるか		増加している	○	横ばい	減少している
[妥当性]事業手段は妥当か	○	現行の手段でよい		一部見直しが必要	見直しが必要
[妥当性]官民の役割は妥当か	○	市が行うべき		他の主体との協働も可能	市が行う必要性は薄れている
[妥当性]緊急的に取り組む必要はあるか		急いで取り組む	○	中長期的に取り組む	緊急性は薄い
[有効性]更に効果が期待できるか		できる	○	あまりできない	できない
[有効性]成果目標ほどの程度達成しているか	○	達成している (90%以上)		おおむね達成 (70~90%未満)	達成していない (70%未満)
[有効性]上位施策への貢献度		重要かつ高い貢献度がある	○	一定の貢献度がある	貢献度は低い
[効率性]事業費を抑制できるか	○	できない		制約はあるが可能性はある	できる
[効率性]受益者負担の見直し		適正	○	負担は求められない	見直しが必要

5 今後の方向性 (担当課評価)

事業内容の方向性	充実				
	現状維持			○	
	縮小				
	廃止				
		ゼロ	縮小	現状維持	拡大
コスト投入の方向性					

担当課評価の根拠	各集会所利用者数は横ばいであり、維持管理は必須であるため、現状維持。
見直し・改善内容	どの会館も建物・設備・備品が老朽化しており、各会館の状況と各運営委員会の要望調査を行い、効率的・効果的な予算執行を行う。

事務事業チェックシート

事務事業No

事業名

[事業基本情報]

12051

教育文化センター管理事業

[長期総合計画]

分野別目標	2	住みたいと選ばれる魅力があふれるまち
政策	5	郷土に誇りと愛着を育む文化・スポーツの振興と生涯学習の推進
施策	1	生涯学習の推進
取組方針	2	生涯学習の場の整備・充実

事業区分(1)	事業経費	○	管理経費	
	その他			
事業区分(2)	自治事務	○	法定受託事務	
	その他			
会計・ 予算区分	会計	一般会計		
	款	教育費		
	項	教育総務費		
	目	教育文化センター費		
	大事業	教育文化センター事業		
	中事業	教育文化センター管理事業		

事業種別	継続		関連個別計画	生涯学習基本計画		
事業年度	無し	～	無し	担当課・担当課長・Tel	生涯学習課	末吉 栄作 435-1193
事業実施の根拠法令	教育文化センター条例		関連課			

1 事業内容

事業目的	(「誰・何」をどういう状態にするための事業か) 教育文化センターを支障なく使用できるよう管理運営する。		全体事業概要 施設が円滑に機能していくよう、必要な修繕や業務の委託、物品購入などを行う。			
	事業内容	令和04年度	令和05年度	令和06年度	令和07年度	令和08年度
教育文化センターの管理		教育文化センターの管理	教育文化センターの管理	教育文化センターの管理		

2 事業コスト

事業費等(千円)	令和04年度		令和05年度		令和06年度		令和07年度		令和08年度		
	当初予算	決算	当初予算	決算	当初予算	決算	当初予算	決算	計画	決算	
事業費	5,300	6,220	8,050	6,718	7,655	7,588	7,061	0	7,681	0	
伸び率(%)	0%	21%	51.9%	8%	△4.9%	13%	△7.8%	△100%	8.8%	0%	
人件費	正規職員	1,940	2,017	1,947	1,557	1,948	3,351	2,806	0	2,961	0
	正規職員以外	638	638	668	951	726	2,096	1,785	0	1,785	0
	小計	2,578	2,655	2,615	2,508	2,674	5,447	4,591	0	4,746	0
国庫支出金	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
県支出金	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
市債	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
その他	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
一般財源(税等)	5,300	6,220	8,050	6,718	7,655	7,588	7,061	0	7,681	0	
所要人数 (人)	正規職員	0.25	0.26	0.25	0.20	0.25	0.43	0.36	0.00	0.38	0.00
	正規職員以外	0.25	0.25	0.25	0.44	0.25	1.08	0.92	0.00	0.92	0.00
主な予算内訳	庁用燃料費 1,931千円、光熱水費 3,334千円、所々修繕料 420千円、管理委託料 1,260千円										

3 目標及び実績

活動指標	指標名	単位	令和04年度	令和05年度	令和06年度	令和07年度	令和08年度
			目標値	実績値	達成度(%)	目標値	実績値
修繕数		件	目標値	3	3	3	3
			実績値	3	2	2	
			達成度(%)	100%	66.7%	66.7%	%
会議室貸出件数		件	目標値	600	600	600	600
			実績値	784	610	605	
			達成度(%)	130.6%	101.6%	100.8%	%
成果指標			目標値				
			実績値				
			達成度(%)				

4 事業の評価

評価基準					
[妥当性]事業のニーズはあるか		増加している	○	横ばい	減少している
[妥当性]事業手段は妥当か	○	現行の手段でよい		一部見直しが必要	見直しが必要
[妥当性]官民の役割は妥当か	○	市が行うべき		他の主体との協働も可能	市が行う必要性は薄れている
[妥当性]緊急的に取り組む必要があるか		急いで取り組む	○	中長期的に取り組む	緊急性は薄い
[有効性]更に効果が期待できるか		できる	○	あまりできない	できない
[有効性]成果目標ほどの程度達成しているか		達成している (90%以上)	○	おおむね達成 (70~90%未満)	達成していない (70%未満)
[有効性]上位施策への貢献度		重要かつ高い貢献度がある	○	一定の貢献度がある	貢献度は低い
[効率性]事業費を抑制できるか	○	できない		制約はあるが可能性はある	できる
[効率性]受益者負担の見直し		適正	○	負担は求められない	見直しが必要

5 今後の方向性 (担当課評価)

事業内容の方向性	充実				
	現状維持		○		
	縮小				
	廃止				
		ゼロ	縮小	現状維持	拡大
コスト投入の方向性					

担当課評価の根拠	公民館活動等の拠点となるため、修繕等により現状を維持することが妥当である。
見直し・改善内容	施設や備品を丁寧に扱うことを心がけ、新たな修繕が必要にならないように努める。

事務事業チェックシート

事務事業No

事業名

[事業基本情報]

15025

コミュニティセンター管理運営事業（指定管理分）（生涯

[長期総合計画]

分野別目標	2	住みたいと選ばれる魅力があふれるまち
政策	5	郷土に誇りと愛着を育む文化・スポーツの振興と生涯学習の推進
施策	1	生涯学習の推進
取組方針	2	生涯学習の場の整備・充実

事業区分(1)	事業経費	○	管理経費	
	その他			
事業区分(2)	自治事務	○	法定受託事務	
	その他			
会計・ 予算区分	会計			
	款			
	項			
	目			
	大事業 中事業			

事業種別	継続		関連個別計画			
事業年度	無し	～	無し	担当課・担当課長・Tel	生涯学習課	末吉 栄作 435-1193
事業実施の根拠法令			関連課	読書活動推進課		

1 事業内容

事業目的	(「誰・何」をどういう状態にするための事業か)		全体事業概要				
	市民の生涯学習、文化、地域活動の振興及び図書室の利用で、生活の向上、自己の充実をめざし、各人が自発的意思に基づいて学習できるようにする。		生涯学習活動の場として各種の講座を開設し、市民の学習活動を支援。 文化活動及び地域活動の場として、自主団体に会場を貸出。 市民図書館とネットワークを組み、資料の貸出しなど図書室を運営。 管理運営の方法として、東部・河南・河西・河北・中央・北・西コミュニティセンターに指定管理者制度導入。				
事業内容			令和04年度	令和05年度	令和06年度	令和07年度	令和08年度
			・指定管理者制度導入 ・地域活動の場の提供 ・学習機会の提供 ・図書室の運営	・指定管理者制度導入 ・地域活動の場の提供 ・学習機会の提供 ・図書室の運営	・指定管理者制度導入 ・地域活動の場の提供 ・学習機会の提供 ・図書室の運営	・指定管理者制度導入 ・地域活動の場の提供 ・学習機会の提供 ・図書室の運営	

2 事業コスト

事業費等(千円)	令和04年度		令和05年度		令和06年度		令和07年度		令和08年度	
	当初予算	決算	当初予算	決算	当初予算	決算	当初予算	決算	計画	決算
事業費	466,099	454,458	412,504	385,813	545,306	500,128	453,125	0	609,532	0
伸び率(%)	22.5%	22.9%	△11.5%	△15.1%	32.2%	29.6%	△16.9%	△100%	34.5%	0%
人件費	正規職員	17,454	17,842	17,517	14,091	17,532	26,649	22,753	0	23,922
	正規職員以外	0	0	0	0	0	3,919	3,548	0	3,548
	小計	17,454	17,842	17,517	14,091	17,532	30,568	26,301	0	27,470
国庫支出金	65,923	54,658	0	0	0	0	0	0	0	0
県支出金	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
市債	14,700	5,200	12,100	14,500	128,800	100,900	3,900	0	0	0
その他	42,249	40,212	38,419	43,036	40,757	43,333	48,676	0	0	0
一般財源(税等)	343,227	354,388	361,985	328,277	375,749	355,895	400,549	0	609,532	0
所要人数(人)	正規職員	2.25	2.30	2.25	1.81	2.25	3.42	2.92	0.00	3.07
	正規職員以外	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.95	0.86	0.00	0.86
主な予算内訳	管理運営委託料 430,061千円、図書購入費 7,064千円、駐車場使用料 6,103千円									

3 目標及び実績

活動指標	指標名	単位	令和04年度	令和05年度	令和06年度	令和07年度	令和08年度
			目標値	実績値	達成度(%)	目標値	実績値
講座、教室等の実施数		件	目標値	129	160	160	170
			実績値	154	165	169	
			達成度(%)	90.7%	103.1%	105.6%	%
コミュニティセンター稼働率(図書室利用者を除く。)		%	目標値	60	60	60	60
			実績値	49.5	50.2	48.9	
			達成度(%)	82.5%	83.7%	81.5%	%
貸出資料数(図書室) ※河西及び西コミュニティセンターには図書室がありません。		点	目標値	610,000	610,000	610,000	610,000
			実績値	535,046	508,266	480,006	
			達成度(%)	87.7%	83.3%	78.7%	%

4 事業の評価

評価基準				
[妥当性]事業のニーズはあるか	○	増加している		横ばい
[妥当性]事業手段は妥当か	○	現行の手段でよい		一部見直しが必要
[妥当性]官民の役割は妥当か	○	市が行うべき		他の主体との協働も可能
[妥当性]緊急的に取り組む必要があるか		急いで取り組む	○	中長期的に取り組む
[有効性]更に効果が期待できるか		できる	○	あまりできない
[有効性]成果目標ほどの程度達成しているか		達成している (90%以上)	○	おおむね達成 (70~90%未満)
[有効性]上位施策への貢献度	○	重要かつ高い貢献度がある		一定の貢献度がある
[効率性]事業費を抑制できるか	○	できない		制約はあるが可能性はある
[効率性]受益者負担の見直し	○	適正		負担は求められない
				減少している
				見直しが必要
				市が行う必要性は薄れている
				緊急性は薄い
				できない
				達成していない (70%未満)
				貢献度は低い
				できる
				見直しが必要

5 今後の方向性 (担当課評価)

事業内容の方向性	充実				
	現状維持			○	
	縮小				
	廃止				
		ゼロ	縮小	現状維持	拡大
コスト投入の方向性					

担当課評価の根拠	各コミュニティセンターの利用者は減少しているが、図書室とともに一定数以上の利用をいただいている。その上で、使用者が安心して施設を利用できるよう、一定件数以上の修繕に取り組んでいる。
見直し・改善内容	施設経年劣化による施設の不具合に対応した修繕が増えている。 使用者が安心して快適に使用できるよう、日常点検により、不具合の早期発見に努め、施設の維持管理を行う。

事務事業チェックシート

事務事業No

事業名

[事業基本情報]

15382

図書館管理運営事業

[長期総合計画]

分野別目標	2	住みたいと選ばれる魅力があふれるまち
政策	5	郷土に誇りと愛着を育む文化・スポーツの振興と生涯学習の推進
施策	1	生涯学習の推進
取組方針	2	生涯学習の場の整備・充実

事業区分(1)	事業経費	○	管理経費	○
	その他			
事業区分(2)	自治事務	○	法定受託事務	
	その他			
会計・ 予算区分	会計	一般会計		
	款	教育費		
	項	社会教育費		
	目	図書館費		
	大事業	図書館事業		
中事業	図書館管理運営事業			

事業種別	継続	関連個別計画	第2次和歌山市子供読書活動推進計画、第3次教育振興基本計画		
事業年度	平成31年度 ~ 無し	担当課・担当課長・Tel	読書活動推進課	権藤裕子	435-1165
事業実施の根拠法令	図書館法、和歌山市民図書館条例	関連課			

1 事業内容

事業目的	(「誰・何」をどういう状態にするための事業か)		全体事業概要			
	図書館サービス事業を実施し、市民の教育と文化の発展に寄与することを目的とする。		市民の教育と文化の発展に寄与するため、図書館法第3条に定める図書館サービスの事業を実施するための経費			
事業内容	令和04年度	令和05年度	令和06年度	令和07年度	令和08年度	
	図書館サービスの充実・向上を図り、指定管理者による適正かつ円滑な管理運営を行うとともに市民の教養・調査研究・レクリエーション等に資する。	図書館サービスの充実・向上を図り、指定管理者による適正かつ円滑な管理運営を行うとともに市民の教養・調査研究・レクリエーション等に資する。	図書館サービスの充実・向上を図り、指定管理者による適正かつ円滑な管理運営を行うとともに市民の教養・調査研究・レクリエーション等に資する。	図書館サービスの充実・向上を図り、指定管理者による適正かつ円滑な管理運営を行うとともに市民の教養・調査研究・レクリエーション等に資する。	図書館サービスの充実・向上を図り、指定管理者による適正かつ円滑な管理運営を行うとともに市民の教養・調査研究・レクリエーション等に資する。	図書館サービスの充実・向上を図り、指定管理者による適正かつ円滑な管理運営を行うとともに市民の教養・調査研究・レクリエーション等に資する。

2 事業コスト

事業費等(千円)	令和04年度		令和05年度		令和06年度		令和07年度		令和08年度		
	当初予算	決算	当初予算	決算	当初予算	決算	当初予算	決算	計画	決算	
事業費	389,700	397,143	594,284	577,137	367,037	378,404	372,932	0	372,932	0	
伸び率(%)	0.2%	1.8%	52.5%	45.3%	△38.2%	△34.4%	1.6%	△100%	0%	0%	
人件費	正規職員	22,341	29,943	30,051	28,649	28,675	28,208	28,208	0	28,208	0
	正規職員以外	1,308	1,056	1,044	1,044	1,043	1,043	1,179	0	1,179	0
	小計	23,649	30,999	31,095	29,693	29,718	29,251	29,387	0	29,387	0
国庫支出金	0	0	1,598	89,645	0	0	0	0	0	0	
県支出金	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
市債	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
その他	4,822	6,736	5,273	4,939	5,001	15,151	5,258	0	5,258	0	
一般財源(税等)	384,878	390,407	587,413	482,553	362,036	363,253	367,674	0	367,674	0	
所要人数(人)	正規職員	2.88	3.86	3.86	3.68	3.68	3.62	0.00	3.62	0.00	
	正規職員以外	0.57	0.46	0.46	0.46	0.46	0.52	0.00	0.52	0.00	
主な予算内訳	令和6年度当初予算：和歌山市民図書館に係る指定管理料330,811千円、和歌山市民図書館コンピュータシステム保守管理業務委託料13,744千円										

3 目標及び実績

活動指標	指標名	単位		令和04年度	令和05年度	令和06年度	令和07年度	令和08年度
				目標値	実績値	達成度(%)	目標値	実績値
和歌山市民図書館本館の蔵書数		冊	目標値	600,000	600,000	600,000	600,000	600,000
			実績値	508,468	523,194	533,584		
			達成度(%)	85%	87%	89%	%	%
市民1人当たりの貸出資料数(コミュニティセンター図書室を含む)		冊	目標値	7.5	7.5	6	6	6
			実績値	4.6	4.5	4.5		
			達成度(%)	61%	60%	75%	%	%
和歌山市民図書館本館の来館者数		人	目標値	1,000,000	1,000,000	1,000,000	1,000,000	1,000,000
			実績値	787,767	795,294	778,392		
			達成度(%)	79%	80%	78%	%	%

4 事業の評価

評価基準					
[妥当性]事業のニーズはあるか	○	増加している		横ばい	減少している
[妥当性]事業手段は妥当か	○	現行の手段でよい		一部見直しが必要	見直しが必要
[妥当性]官民の役割は妥当か		市が行うべき		他の主体との協働も可能	○ 市が行う必要性は薄れている
[妥当性]緊急的に取り組む必要があるか		急いで取り組む		中長期的に取り組む	○ 緊急性は薄い
[有効性]更に効果が期待できるか	○	できる		あまりできない	できない
[有効性]成果目標はどの程度達成しているか		達成している (90%以上)	○	おおむね達成 (70~90%未満)	達成していない (70%未満)
[有効性]上位施策への貢献度		重要かつ高い貢献度がある	○	一定の貢献度がある	貢献度は低い
[効率性]事業費を抑制できるか	○	できない		制約はあるが可能性はある	できる
[効率性]受益者負担の見直し		適正	○	負担は求められない	見直しが必要

5 今後の方向性 (担当課評価)

事業内容の方向性	充実			○	
	現状維持				
	縮小				
	廃止				
		ゼロ	縮小	現状維持	拡大
コスト投入の方向性					

担当課評価の根拠	<p>来館者数は、新館移転後年々増加していたが、令和6年度は前年度より減少した。一方で、利用者数は前年度より増加しており、貸出冊数も本館においてはわずかに増加している。これは、新刊本の案内、フェア本の展開の工夫など指定管理者の取組によるところも影響していると評価する。また、利用者アンケートにおいて、9割以上の方から満足という評価をいただいている。</p>
見直し・改善内容	<p>新規利用者呼び込み、さらなる来館者の増加を目指し、指定管理者が企画する行事について、妥当性の確認と効果の検証を行うことで図書館サービスの充実につなげる。また、既存の利用者に対しても蔵書構成を充実させることにより、利用の定着を促す。</p> <p>新館は居心地良く滞在できる図書館を目指しているため、館内で本を読んで過ごす方も増加した。貸出資料数だけではない新たな指標も検討する。</p>

4 事業の評価

評価基準					
[妥当性]事業のニーズはあるか		増加している	○	横ばい	減少している
[妥当性]事業手段は妥当か	○	現行の手段でよい		一部見直しが必要	見直しが必要
[妥当性]官民の役割は妥当か	○	市が行うべき		他の主体との協働も可能	市が行う必要性は薄れている
[妥当性]緊急的に取り組む必要があるか		急いで取り組む	○	中長期的に取り組む	緊急性は薄い
[有効性]更に効果が期待できるか	○	できる		あまりできない	できない
[有効性]成果目標ほどの程度達成しているか		達成している (90%以上)		おおむね達成 (70~90%未満)	○ 達成していない (70%未満)
[有効性]上位施策への貢献度		重要かつ高い貢献度がある	○	一定の貢献度がある	貢献度は低い
[効率性]事業費を抑制できるか	○	できない		制約はあるが可能性はある	できる
[効率性]受益者負担の見直し		適正	○	負担は求められない	見直しが必要

5 今後の方向性 (担当課評価)

事業内容の方向性	充実				
	現状維持			○	
	縮小				
	廃止				
		ゼロ	縮小	現状維持	拡大
コスト投入の方向性					

担当課評価の根拠	本市の発展に寄与し、本市の名を高める上で顕著な功績のあった者を顕彰することにより、偉人・先人に敬意を払うとともに、彼等の功績等を後世に語り継いでいくことで、市民のふるさと意識の高揚に資するなど重要な事業であるため。
見直し・改善内容	本市の偉人・先人の功績などを市民に広く知ってもらえるような取組を継続し、本事業の充実を図る。

事務事業チェックシート

事務事業No

事業名

[事業基本情報]

11278

楽しい歌声の会開催委託事業

[長期総合計画]

分野別目標	2	住みたいと選ばれる魅力があふれるまち
政策	5	郷土に誇りと愛着を育む文化・スポーツの振興と生涯学習の推進
施策	2	芸術・文化の振興
取組方針	1	芸術・文化活動の推進

事業区分(1)	事業経費	○	管理経費	
	その他			
事業区分(2)	自治事務	○	法定受託事務	
	その他			
会計・ 予算区分	会計	一般会計		
	款	総務費		
	項	文化スポーツ費		
	目	文化振興費		
	大事業	文化振興事業		
	中事業	楽しい歌声の会開催委託事業		

事業種別	継続			関連個別計画	
事業年度	無し	～	無し	担当課・担当課長・Tel	文化振興課 福田 幸誠 435-1194
事業実施の根拠法令				関連課	

1 事業内容

事業目的	(「誰・何」をどういう状態にするための事業か) 合唱活動の輪が広がるように、団体の育成を目指す。		全体事業概要 市内のコーラスグループの発表会である和歌山市楽しい歌声の会を開催する。		
	事業内容	令和04年度 開催日 令和4年9月4日(日) 場所 和歌山城ホール 大ホール 参加者 24団体 約500人	令和05年度 市内のコーラスグループの発表会である和歌山市楽しい歌声の会を開催する。参加コーラスグループ28団体、約500名が参加し、和歌山城ホール大ホールで開催。	令和06年度 市内のコーラスグループの発表会である和歌山市楽しい歌声の会を開催する。参加コーラスグループ34団体 約600名、和歌山城ホール大ホールで開催。	令和07年度 市内のコーラスグループの発表会である和歌山市楽しい歌声の会を開催する。参加コーラスグループ34団体 約600名、和歌山城ホール小ホールで開催予定。

2 事業コスト

事業費等(千円)	令和04年度		令和05年度		令和06年度		令和07年度		令和08年度	
	当初予算	決算	当初予算	決算	当初予算	決算	当初予算	決算	計画	決算
事業費	315	315	315	315	315	315	315	0	315	0
伸び率(%)	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	△100%	0%	0%
人件費	正規職員	1,707	1,629	1,635	1,635	1,637	1,559	1,481	0	0
	正規職員以外	0	770	1,150	1,150	0	0	0	0	0
	小計	1,707	2,399	2,785	2,785	1,637	1,559	1,481	0	0
国庫支出金	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
県支出金	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
市債	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
その他	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
一般財源(税等)	315	315	315	315	315	315	315	0	315	0
所要人数(人)	正規職員	0.22	0.21	0.21	0.21	0.21	0.20	0.19	0.00	0.00
	正規職員以外	0.00	0.15	0.23	0.23	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
主な予算内訳	委託料 3 1 5 千円									

3 目標及び実績

活動指標	指標名	単位	令和04年度	令和05年度	令和06年度	令和07年度	令和08年度
			目標値	実績値	達成度(%)	目標値	実績値
発表会開催数		回	目標値	1	1	1	1
			実績値	1	1	1	
			達成度(%)	100%	100%	100%	%
参加団体数		団体	目標値	33	31	31	31
			実績値	24	28	34	
			達成度(%)	72.7%	90.3%	109.6%	%
成果指標			目標値				
			実績値				
			達成度(%)				

4 事業の評価

評価基準					
[妥当性]事業のニーズはあるか		増加している	○	横ばい	減少している
[妥当性]事業手段は妥当か	○	現行の手段でよい		一部見直しが必要	見直しが必要
[妥当性]官民の役割は妥当か		市が行うべき	○	他の主体との協働も可能	市が行う必要性は薄れている
[妥当性]緊急的に取り組む必要があるか		急いで取り組む		中長期的に取り組む	○ 緊急性は薄い
[有効性]更に効果が期待できるか		できる	○	あまりできない	できない
[有効性]成果目標ほどの程度達成しているか	○	達成している (90%以上)		おおむね達成 (70~90%未満)	達成していない (70%未満)
[有効性]上位施策への貢献度		重要かつ高い貢献度がある	○	一定の貢献度がある	貢献度は低い
[効率性]事業費を抑制できるか	○	できない		制約はあるが可能性はある	できる
[効率性]受益者負担の見直し	○	適正		負担は求められない	見直しが必要

5 今後の方向性 (担当課評価)

事業内容の方向性	充実				
	現状維持			○	
	縮小				
	廃止				
		ゼロ	縮小	現状維持	拡大
コスト投入の方向性					

担当課評価の根拠	令和6年度は昨年度以上の参加団体及び参加人数となった。本事業は合唱を発信する貴重な機会であり、本市における音楽団体の育成を図るとともに、音楽風土の維持・向上に寄与しているため。
見直し・改善内容	参加団体との更なる連携に努め、歌うことのすばらしさを長く発信し続けられるような発表会の充実を図る。

事務事業チェックシート

事務事業No

事業名

[事業基本情報]

11280

市民文化まつり開催交付金事業

[長期総合計画]

分野別目標	2	住みたいと選ばれる魅力があふれるまち
政策	5	郷土に誇りと愛着を育む文化・スポーツの振興と生涯学習の推進
施策	2	芸術・文化の振興
取組方針	1	芸術・文化活動の推進

事業区分(1)	事業経費	○	管理経費	
	その他			
事業区分(2)	自治事務	○	法定受託事務	
	その他			
会計・ 予算区分	会計	一般会計		
	款	総務費		
	項	文化スポーツ費		
	目	文化振興費		
	大事業	文化振興事業		
	中事業	市民文化まつり開催交付金事業		

事業種別	継続			関連個別計画			
事業年度	無し	～	無し	担当課・担当課長・Tel	文化振興課	福田 幸誠	435-1194
事業実施の根拠法令				関連課			

1 事業内容

事業目的	(「誰・何」をどういう状態にするための事業か)		全体事業概要			
	本市の文化振興及び市民の情操教育に寄与する。		各種文化団体による舞台芸術の発表及び一般市民への芸術鑑賞の場を提供する。 和歌山城ホールほかにおいて、年間21事業（舞踊・合唱・民謡・オペラ等）を開催する。			
事業内容		令和04年度	令和05年度	令和06年度	令和07年度	令和08年度
		和歌山城ホールを中心に通年開催（実施事業16） （新型コロナウイルス感染症の影響により一部事業中止）	和歌山城ホールを中心に通年開催（実施事業18） （新型コロナウイルス感染症の影響により一部事業中止）	和歌山城ホールを中心に通年開催。（実施事業17） （全国演奏会への出演時期が市民文化まつりと重複するため1事業が中止、予算等を鑑み開催準備が整わないため3事業が中止）	和歌山城ホールを中心に通年開催。参加団体21団体	和歌山城ホールを中心に通年開催。参加団体21団体

2 事業コスト

事業費等（千円）	令和04年度		令和05年度		令和06年度		令和07年度		令和08年度	
	当初予算	決算	当初予算	決算	当初予算	決算	当初予算	決算	計画	決算
事業費	950	697	950	800	950	750	950	0	950	0
伸び率（%）	5.6%	99.1%	0%	14.8%	0%	△6.2%	0%	△100%	0%	0%
人件費	正規職員	3,491	3,181	3,270	3,270	6,390	4,676	4,520	0	0
	正規職員以外	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	小計	3,491	3,181	3,270	3,270	6,390	4,676	4,520	0	0
国庫支出金	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
県支出金	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
市債	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
その他	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
一般財源（税等）	950	697	950	800	950	750	950	0	950	0
所要人数 （人）	正規職員	0.45	0.41	0.42	0.42	0.82	0.60	0.58	0.00	0.00
	正規職員以外	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
主な予算内訳	負担金、補助及び交付金 950千円									

3 目標及び実績

活動指標	指標名	単位	令和04年度	令和05年度	令和06年度	令和07年度	令和08年度
			目標値	実績値	達成度(%)	目標値	実績値
実施事業数	事業	目標値	21	21	21	21	21
		実績値	16	18	17		
		達成度(%)	76.2%	85.7%	80.9%	%	%
参加人数	人	目標値	2,500	3,500	3,500	3500	3500
		実績値	1,464	2061	2238		
		達成度(%)	58.6%	58.8%	%	%	%
延べ入場者数	人	目標値	10,000	15,000	15,000	15000	15000
		実績値	4,390	8210	9278		
		達成度(%)	43.6%	54.7%	%	%	%

4 事業の評価

評価基準					
[妥当性]事業のニーズはあるか		増加している	○	横ばい	減少している
[妥当性]事業手段は妥当か	○	現行の手段でよい		一部見直しが必要	見直しが必要
[妥当性]官民の役割は妥当か		市が行うべき		他の主体との協働も可能	○ 市が行う必要性は薄れている
[妥当性]緊急的に取り組む必要があるか		急いで取り組む	○	中長期的に取り組む	緊急性は薄い
[有効性]更に効果が期待できるか	○	できる		あまりできない	できない
[有効性]成果目標はどの程度達成しているか		達成している (90%以上)		おおむね達成 (70~90%未満)	○ 達成していない (70%未満)
[有効性]上位施策への貢献度		重要かつ高い貢献度がある	○	一定の貢献度がある	貢献度は低い
[効率性]事業費を抑制できるか		できない	○	制約はあるが可能性はある	できる
[効率性]受益者負担の見直し	○	適正		負担は求められない	見直しが必要

5 今後の方向性 (担当課評価)

事業内容の方向性	充実				
	現状維持			○	
	縮小				
	廃止				
		ゼロ	縮小	現状維持	拡大
コスト投入の方向性					

担当課評価の根拠	昭和55年から始まった事業であり、和歌山市における総合的な文化イベントとして定着している。 ここ数年は新型コロナウイルス感染症の影響により一部事業を中止していたが、令和4年度は16事業、令和5年度は18事業、令和6年度は17事業と元の水準に戻りつつあり、安定した開催を目指す。
見直し・改善内容	市民文化まつり実行委員会とのさらなる連携に努め、各種の舞台芸術について、創造力や演技力を高めるとともに、市民に広く鑑賞の場を提供できるよう図る。

事務事業チェックシート

事務事業No

事業名

[事業基本情報]

11281

真舟芸術振興基金事業

[長期総合計画]

分野別目標	2	住みたいと選ばれる魅力があふれるまち
政策	5	郷土に誇りと愛着を育む文化・スポーツの振興と生涯学習の推進
施策	2	芸術・文化の振興
取組方針	1	芸術・文化活動の推進

事業区分(1)	事業経費	○	管理経費	
	その他			
事業区分(2)	自治事務	○	法定受託事務	
	その他			
会計・ 予算区分	会計	一般会計		
	款	総務費		
	項	文化スポーツ費		
	目	文化振興費		
	大事業	文化振興事業		
	中事業	真舟芸術振興基金事業		

事業種別	継続		関連個別計画	
事業年度	無し	～	無し	担当課・担当課長・Tel
事業実施の根拠法令	和歌山市真舟芸術振興基金条例		関連課	文化振興課 福田 幸誠 435-1194

1 事業内容

事業目的	(「誰・何」をどういう状態にするための事業か)		全体事業概要			
	伝統文化の承継を目的とする。		書道家の故山本真舟氏の遺族から頂戴した寄付金を基に基金を設定。基金を活用し書道講習会事業を実施。			
事業内容	令和04年度	令和05年度	令和06年度	令和07年度	令和08年度	
	書道講習会事業 夏期8月13日～14日 受講者18人 秋期11月12日～13日 受講者18人 若手芸術家支援事業(1団体) 入場者200人	書道講習会事業 夏期8月18日～20日 受講者22人 若手芸術家育成事業(1団体) 入場者476人	書道講習会事業 8月17日～18日 受講者29人 かな書展 3月22日～24日 若手芸術家育成事業(1団体) 入場者383人	若手芸術家育成事業		

2 事業コスト

事業費等(千円)	令和04年度		令和05年度		令和06年度		令和07年度		令和08年度	
	当初予算	決算	当初予算	決算	当初予算	決算	当初予算	決算	計画	決算
事業費	2,986	2,024	3,026	1,477	2,386	2,363	872	0	872	0
伸び率(%)	△49.3%	157.8%	1.3%	△27%	△21.2%	60%	△63.5%	△100%	0%	0%
人件費	正規職員	3,491	3,181	3,270	0	6,390	6,156	3,039	0	0
	正規職員以外	0	0	829	0	0	784	0	0	0
	小計	3,491	3,181	4,099	0	6,390	6,940	3,039	0	0
国庫支出金	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
県支出金	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
市債	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
その他	2,986	2,024	3,026	1,477	2,386	2,363	872	0	0	0
一般財源(税等)	0	0	0	0	0	0	0	0	872	0
所要人数(人)	正規職員	0.45	0.41	0.42	0.00	0.82	0.79	0.39	0.00	0.00
	正規職員以外	0.00	0.00	0.23	0.00	0.00	0.19	0.00	0.00	0.00
主な予算内訳	報償金 730千円 委託料 493千円 若手芸術家育成補助金 400千円									

3 目標及び実績

活動指標	指標名	単位	令和04年度	令和05年度	令和06年度	令和07年度	令和08年度
			目標値	実績値	達成度(%)	目標値	実績値
講習会等開催数	回	目標値	3	3	3	2	2
		実績値	2	1	3		
		達成度(%)	66.6%	33.3%	100%	%	%
講習会等参加者数	人	目標値	400	400	400	400	400
		実績値	236	498	412		
		達成度(%)	9.0%	124.5%	109%	%	%

4 事業の評価

評価基準					
[妥当性]事業のニーズはあるか		増加している		横ばい	○ 減少している
[妥当性]事業手段は妥当か		現行の手段でよい	○	一部見直しが必要	見直しが必要
[妥当性]官民の役割は妥当か	○	市が行うべき		他の主体との協働も可能	市が行う必要性は薄れている
[妥当性]緊急的に取り組む必要があるか		急いで取り組む	○	中長期的に取り組む	緊急性は薄い
[有効性]更に効果が期待できるか		できる	○	あまりできない	できない
[有効性]成果目標ほどの程度達成しているか	○	達成している (90%以上)		おおむね達成 (70~90%未満)	達成していない (70%未満)
[有効性]上位施策への貢献度		重要かつ高い貢献度がある	○	一定の貢献度がある	貢献度は低い
[効率性]事業費を抑制できるか		できない		制約はあるが可能性はある	○ できる
[効率性]受益者負担の見直し	○	適正		負担は求められない	見直しが必要

5 今後の方向性 (担当課評価)

事業内容の方向性	充実				
	現状維持				
	縮小		○		
	廃止				
		ゼロ	縮小	現状維持	拡大
コスト投入の方向性					

担当課評価の根拠	<p>令和5年度は多くの方に参加いただき、書道講習会の成果を発表していただけるよう事業の充実を図った。</p> <p>令和6年度は、書道講習会及び本事業の集大成となるかな書展を実施した。かな書展と同日に若手芸術家支援事業を開催し、文化振興を図った。</p> <p>基金残高の関係から書道講習会を終了し、令和7年度からは、若手芸術家支援事業のみを実施予定。</p>
見直し・改善内容	<p>若手芸術家育成事業について、対象者の知名度や集客力の向上ができるよう、さらなる広報の強化と芸術家の育成を推進していくとともに、市民に優れた文化芸術に触れる機会を広く提供することを目指す。</p>

事務事業チェックシート

事務事業No

事業名

[事業基本情報]

11285

和歌山市美術展覧会事業

[長期総合計画]

分野別目標	2	住みたいと選ばれる魅力があふれるまち
政策	5	郷土に誇りと愛着を育む文化・スポーツの振興と生涯学習の推進
施策	2	芸術・文化の振興
取組方針	1	芸術・文化活動の推進

事業区分(1)	事業経費	○	管理経費	
	その他			
事業区分(2)	自治事務	○	法定受託事務	
	その他			
会計・ 予算区分	会計	一般会計		
	款	総務費		
	項	文化スポーツ費		
	目	文化振興費		
	大事業	文化振興事業		
	中事業	和歌山市美術展覧会事業		

事業種別	継続		関連個別計画	和歌山市文化芸術推進基本計画		
事業年度	無し	～	無し	担当課・担当課長・Tel	文化振興課	福田 幸誠 435-1194
事業実施の根拠法令	和歌山市美術展覧会審査会条例		関連課			

1 事業内容

事業目的	(「誰・何」をどういう状態にするための事業か)		全体事業概要			
	本市における美術工芸の振興と鑑賞愛好の精神を高め、市民の文化水準の向上を図る。		洋画・日本画・書道・写真・彫塑・工芸の6部門の公募による美術展覧会を開催する。			
事業内容		令和04年度	令和05年度	令和06年度	令和07年度	令和08年度
		7部門の作品の搬入搬出、応募作品の審査・展示、入賞者への表彰式開催、ギャラリートークの実施	7部門の作品の搬入搬出、応募作品の審査・展示、入賞者への表彰式開催、ギャラリートークの実施	6部門の作品の搬入搬出、応募作品の審査・展示、入賞者への表彰式開催、ギャラリートークの実施	6部門の作品の搬入搬出、応募作品の審査・展示、入賞者への表彰式開催、ギャラリートークの実施	6部門の作品の搬入搬出、応募作品の審査・展示、入賞者への表彰式開催、ギャラリートークの実施

2 事業コスト

事業費等(千円)	令和04年度		令和05年度		令和06年度		令和07年度		令和08年度	
	当初予算	決算	当初予算	決算	当初予算	決算	当初予算	決算	計画	決算
事業費	2,998	2,072	3,218	2,817	2,954	2,706	2,986	0	2,986	0
伸び率(%)	2%	△23.8%	7.3%	36%	△8.2%	△3.9%	1.1%	△100%	0%	0%
人件費	正規職員	3,491	4,810	4,827	0	8,026	6,156	4,520	0	0
	正規職員以外	0	0	0	0	0	207	0	0	0
	小計	3,491	4,810	4,827	0	8,026	6,363	4,520	0	0
国庫支出金	998	1,028	0	0	918	1,234	969	0	969	0
県支出金	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
市債	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
その他	795	522	1,295	500	795	520	795	0	795	0
一般財源(税等)	1,205	522	1,923	2,317	1,241	952	1,222	0	1,222	0
所要人数(人)	正規職員	0.45	0.62	0.62	0.00	1.03	0.79	0.58	0.00	0.00
	正規職員以外	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.05	0.00	0.00	0.00
主な予算内訳	委託料2,058千円 賞賜金372千円 印刷製本費326千円									

3 目標及び実績

活動指標	指標名	単位		令和04年度	令和05年度	令和06年度	令和07年度	令和08年度
				目標値	実績値	達成度(%)	目標値	実績値
応募者数		人	目標値	500	500	500	500	500
			実績値	385	416	426		
			達成度(%)	77%	%	%	%	%
開催日数		日	目標値	20	24	24	18	18
			実績値	24	24	18		
			達成度(%)	120%	%	%	%	%
入賞者数		人	目標値	70	70	70	70	70
			実績値	48	48	45		
			達成度(%)	69%	%	%	%	%
入場者数		人	目標値	3,400	3,400	3,400	3,400	3,400
			実績値	3,620	3,790	3,267		
			達成度(%)	106%	%	%	%	%

4 事業の評価

評価基準					
[妥当性]事業のニーズはあるか		増加している	○	横ばい	減少している
[妥当性]事業手段は妥当か	○	現行の手段でよい		一部見直しが必要	見直しが必要
[妥当性]官民の役割は妥当か	○	市が行うべき		他の主体との協働も可能	市が行う必要性は薄れている
[妥当性]緊急的に取り組む必要があるか		急いで取り組む	○	中長期的に取り組む	緊急性は薄い
[有効性]更に効果が期待できるか		できる	○	あまりできない	できない
[有効性]成果目標ほどの程度達成しているか		達成している (90%以上)	○	おおむね達成 (70~90%未満)	達成していない (70%未満)
[有効性]上位施策への貢献度	○	重要かつ高い貢献度がある		一定の貢献度がある	貢献度は低い
[効率性]事業費を抑制できるか	○	できない		制約はあるが可能性はある	できる
[効率性]受益者負担の見直し	○	適正		負担は求められない	見直しが必要

5 今後の方向性 (担当課評価)

事業内容の方向性	充実			○	
	現状維持				
	縮小				
	廃止				
		ゼロ	縮小	現状維持	拡大
コスト投入の方向性					

担当課評価の根拠	令和6年度は令和5年度に比べ、出品部門が1部門減少したこと等により会期日数が短縮となったものの、応募者数及び1日あたりの入場者数は増加した。 今後も市民の文化活動の発表の場として実施することで、市民の文化水準の向上を図る。
見直し・改善内容	応募者数と入場者数の増加に向けて、事業の広報徹底に取り組む。

事務事業チェックシート

事務事業No

事業名

[事業基本情報]

11286

文化団体活動支援事業

[長期総合計画]

分野別目標	2	住みたいと選ばれる魅力があふれるまち
政策	5	郷土に誇りと愛着を育む文化・スポーツの振興と生涯学習の推進
施策	2	芸術・文化の振興
取組方針	1	芸術・文化活動の推進

事業区分(1)	事業経費	○	管理経費	
	その他			
事業区分(2)	自治事務	○	法定受託事務	
	その他			
会計・ 予算区分	会計	一般会計		
	款	総務費		
	項	文化スポーツ費		
	目	文化振興費		
	大事業	文化振興事業		
	中事業	文化団体活動支援事業		

事業種別	継続		関連個別計画	
事業年度	無し	～	無し	
事業実施の根拠法令	和歌山市文化振興補助金交付要綱		関連課	

1 事業内容

事業目的	(「誰・何」をどういう状態にするための事業か)		全体事業概要		
	本市の文化振興及び市民の情操教育に寄与する。		各種文化団体が行う事業に対し補助金を交付することにより活動を支援する。(9事業) 市民茶会の開催にあたり実行委員会に交付金を交付する。		
事業内容	令和04年度	令和05年度	令和06年度	令和07年度	令和08年度
	各団体が行う事業に対し補助金を交付(8事業) (新型コロナウイルス感染症の影響等により一部事業中止)	各団体が行う事業に対し補助金を交付する。 (9事業)	各団体が行う事業に対し補助金を交付する。 (9事業)	各団体が行う事業に対し補助金を交付する。 (9事業) 市民茶会の開催にあたり実行委員会に交付金を交付する。	各団体が行う事業に対し補助金を交付する。 市民茶会の開催にあたり実行委員会に交付金を交付する。

2 事業コスト

事業費等(千円)	令和04年度		令和05年度		令和06年度		令和07年度		令和08年度	
	当初予算	決算	当初予算	決算	当初予算	決算	当初予算	決算	計画	決算
事業費	1,306	1,007	1,136	1,038	1,275	1,068	2,301	0	2,301	0
伸び率(%)	0%	76.4%	△13%	3.1%	12.2%	2.9%	80.5%	△100%	0%	0%
人件費	正規職員	3,491	3,181	3,270	3,270	6,390	3,117	6,078	0	0
	正規職員以外	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	小計	3,491	3,181	3,270	3,270	6,390	3,117	6,078	0	0
国庫支出金	0	0	0	0	0	0	513	0	513	0
県支出金	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
市債	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
その他	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
一般財源(税等)	1,306	1,007	1,136	1,038	1,275	1,068	1,788	0	1,788	0
所要人数(人)	正規職員	0.45	0.41	0.42	0.42	0.82	0.40	0.78	0.00	0.00
	正規職員以外	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
主な予算内訳	負担金、補助及び交付金 1,275千円									

3 目標及び実績

活動指標	指標名	単位	令和04年度	令和05年度	令和06年度	令和07年度	令和08年度
			目標値	実績値	達成度(%)	目標値	実績値
支援団体数	団体	目標値	10	9	9	9	9
		実績値	8	9	8		
		達成度(%)	80%	100%	89%	%	%
会員数	人	目標値	1,600	1,400	1300	1300	1300
		実績値	1,232	1192	1193		
		達成度(%)	77.0%	85%	91%	%	%
事業実施回数	回	目標値	46	40	40	40	40
		実績値	38	38	33		
		達成度(%)	82.6%	95%	82.5%	%	%
成果指標		目標値					
		実績値					
		達成度(%)					

4 事業の評価

評価基準					
[妥当性]事業のニーズはあるか		増加している	○	横ばい	減少している
[妥当性]事業手段は妥当か		現行の手段でよい	○	一部見直しが必要	見直しが必要
[妥当性]官民の役割は妥当か	○	市が行うべき		他の主体との協働も可能	市が行う必要性は薄れている
[妥当性]緊急的に取り組む必要があるか		急いで取り組む		中長期的に取り組む	○ 緊急性は薄い
[有効性]更に効果が期待できるか		できる	○	あまりできない	できない
[有効性]成果目標ほどの程度達成しているか		達成している (90%以上)	○	おおむね達成 (70~90%未満)	達成していない (70%未満)
[有効性]上位施策への貢献度	○	重要かつ高い貢献度がある		一定の貢献度がある	貢献度は低い
[効率性]事業費を抑制できるか	○	できない		制約はあるが可能性はある	できる
[効率性]受益者負担の見直し	○	適正		負担は求められない	見直しが必要

5 今後の方向性 (担当課評価)

事業内容の方向性	充実				
	現状維持			○	
	縮小				
	廃止				
		ゼロ	縮小	現状維持	拡大
コスト投入の方向性					

担当課評価の根拠	各種文化団体が実施する事業は、文化振興及び情操教育に寄与するため。
見直し・改善内容	適切に文化芸術の発表や市民に広く鑑賞の場を提供できるよう図る。

事務事業チェックシート

事務事業No

事業名

[事業基本情報]

11293

文化表彰事業

[長期総合計画]

分野別目標	2	住みたいと選ばれる魅力があふれるまち
政策	5	郷土に誇りと愛着を育む文化・スポーツの振興と生涯学習の推進
施策	2	芸術・文化の振興
取組方針	1	芸術・文化活動の推進

事業区分(1)	事業経費	○	管理経費	
	その他			
事業区分(2)	自治事務	○	法定受託事務	
	その他			
会計・ 予算区分	会計		一般会計	
	款		総務費	
	項		文化スポーツ費	
	目		文化振興費	
	大事業		文化振興事業	
	中事業		文化表彰事業	

事業種別	継続		関連個別計画	
事業年度	無し	～	無し	担当課・担当課長・Tel
事業実施の根拠法令	和歌山市文化表彰規程、文化表彰選考委員会条例		関連課	文化振興課 福田 幸誠 435-1194

1 事業内容

事業目的	(「誰・何」をどういう状態にするための事業か)		全体事業概要			
	<p>更なる文化の向上に寄与する。</p>		<p>和歌山市の文化向上発展に特に顕著な功績のある個人又は団体に対し和歌山市文化表彰規程の定めるところにより表彰を行う。</p>			
事業内容		令和04年度	令和05年度	令和06年度	令和07年度	令和08年度
		和歌山市文化表彰選考委員会の開催、被表彰者の決定（文化賞1名文化功労賞2名文化奨励賞1名1団体）、和歌山市文化表彰式の開催	和歌山市文化表彰選考委員会の開催、被表彰者の決定（文化賞1名文化功労賞2名文化奨励賞1名1団体）、和歌山市文化表彰式の開催	和歌山市文化表彰選考委員会の開催、被表彰者の決定（文化賞1名文化功労賞2名文化奨励賞1名1団体）、和歌山市文化表彰式の開催	和歌山市文化表彰選考委員会の開催、被表彰者の決定（文化賞1名文化功労賞2名文化奨励賞1名1団体）、和歌山市文化表彰式の開催	和歌山市文化表彰選考委員会の開催、被表彰者の決定（文化賞1名文化功労賞2名文化奨励賞1名1団体）、和歌山市文化表彰式の開催

2 事業コスト

事業費等(千円)	令和04年度		令和05年度		令和06年度		令和07年度		令和08年度	
	当初予算	決算	当初予算	決算	当初予算	決算	当初予算	決算	計画	決算
事業費	1,211	1,179	1,248	1,225	1,279	1,262	1,309	0	1,309	0
伸び率(%)	△0.4%	4.9%	3.1%	3.9%	2.5%	3%	2.3%	△100%	0%	0%
人件費	正規職員	5,198	4,810	4,827	4,827	8,026	6,156	4,520	0	0
	正規職員以外	2,977	2,977	300	300	1,197	784	0	0	0
	小計	8,175	7,787	5,127	5,127	9,223	6,940	4,520	0	0
国庫支出金	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
県支出金	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
市債	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
その他	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
一般財源(税等)	1,211	1,179	1,248	1,225	1,279	1,262	1,309	0	1,309	0
所要人数(人)	正規職員	0.67	0.62	0.62	0.62	1.03	0.79	0.58	0.00	0.00
	正規職員以外	0.58	0.58	0.06	0.06	0.29	0.19	0.00	0.00	0.00
主な予算内訳	賞賜金716千円 印刷製本費175千円 会場その他借上げ料178千円									

3 目標及び実績

活動指標	指標名	単位		令和04年度	令和05年度	令和06年度	令和07年度	令和08年度
				目標値	実績値	達成度(%)	目標値	実績値
候補者数	人	目標値		15	15	15	15	15
		実績値		25	24	22		
		達成度(%)		167%	160%	146%	%	%
受賞者数	人	目標値		5	5	5	5	5
		実績値		5	5	5		
		達成度(%)		100%	100%	100%	%	%
成果指標		目標値						
		実績値						
		達成度(%)						

4 事業の評価

評価基準					
[妥当性]事業のニーズはあるか		増加している	○	横ばい	減少している
[妥当性]事業手段は妥当か	○	現行の手段でよい		一部見直しが必要	見直しが必要
[妥当性]官民の役割は妥当か	○	市が行うべき		他の主体との協働も可能	市が行う必要性は薄れている
[妥当性]緊急的に取り組む必要があるか		急いで取り組む	○	中長期的に取り組む	緊急性は薄い
[有効性]更に効果が期待できるか		できる		あまりできない	○ できない
[有効性]成果目標ほどの程度達成しているか	○	達成している (90%以上)		おおむね達成 (70~90%未満)	達成していない (70%未満)
[有効性]上位施策への貢献度		重要かつ高い貢献度がある	○	一定の貢献度がある	貢献度は低い
[効率性]事業費を抑制できるか	○	できない		制約はあるが可能性はある	できる
[効率性]受益者負担の見直し		適正	○	負担は求められない	見直しが必要

5 今後の方向性 (担当課評価)

事業内容の方向性	充実				
	現状維持		○		
	縮小				
	廃止				
		ゼロ	縮小	現状維持	拡大
コスト投入の方向性					

担当課評価の根拠	昭和57年に創設された歴史と伝統のある表彰であり、本市の文化向上発展に寄与する事業である。
見直し・改善内容	候補者や候補団体を検討するうえで、日頃から文化活動を行っている個人や団体の情報収集に努める。

4 事業の評価

評価基準					
[妥当性]事業のニーズはあるか		増加している	○	横ばい	減少している
[妥当性]事業手段は妥当か	○	現行の手段でよい		一部見直しが必要	見直しが必要
[妥当性]官民の役割は妥当か		市が行うべき	○	他の主体との協働も可能	市が行う必要性は薄れている
[妥当性]緊急的に取り組む必要があるか		急いで取り組む	○	中長期的に取り組む	緊急性は薄い
[有効性]更に効果が期待できるか	○	できる		あまりできない	できない
[有効性]成果目標ほどの程度達成しているか		達成している (90%以上)	○	おおむね達成 (70~90%未満)	達成していない (70%未満)
[有効性]上位施策への貢献度		重要かつ高い貢献度がある	○	一定の貢献度がある	貢献度は低い
[効率性]事業費を抑制できるか	○	できない		制約はあるが可能性はある	できる
[効率性]受益者負担の見直し		適正	○	負担は求められない	見直しが必要

5 今後の方向性 (担当課評価)

事業内容の方向性	充実				
	現状維持				
	縮小				
	廃止	○			
		ゼロ	縮小	現状維持	拡大
コスト投入の方向性					

担当課評価の根拠	<p>絵画の制作者に発表の機会を与えるだけでなく、絵画を通じて本市の名所や旧跡を広く知ってもらい、また郷土愛を深めるきっかけとなる。</p>
見直し・改善内容	<p>入賞作品を掲載したポスターを市内の文化施設や観光案内所に配布し、本市の名所や旧跡のPRに努める。また、事業内容の改善により、同じ美術の展覧会である市美術展覧会事業との相乗効果を生み出すことで、市民の文化水準のさらなる向上を図る。</p> <p>令和5年度をもって、事業終了。</p>

事務事業チェックシート

事務事業No

事業名

[事業基本情報]

11301

文化的風土の醸成事業

[長期総合計画]

分野別目標	2	住みたいと選ばれる魅力があふれるまち
政策	5	郷土に誇りと愛着を育む文化・スポーツの振興と生涯学習の推進
施策	2	芸術・文化の振興
取組方針	1	芸術・文化活動の推進

事業区分(1)	事業経費	○	管理経費	
	その他			
事業区分(2)	自治事務	○	法定受託事務	
	その他			
会計・ 予算区分	会計	一般会計		
	款	総務費		
	項	文化スポーツ費		
	目	文化振興費		
	大事業	文化振興事業		
中事業	文化的風土の醸成事業			

事業種別	継続		関連個別計画			
事業年度	無し	～	無し	担当課・担当課長・Tel	文化振興課 福田 幸誠	435-1194
事業実施の根拠法令			関連課	読書活動推進課、和歌山城整備企画課		

1 事業内容

事業目的	(「誰・何」をどういう状態にするための事業か)		全体事業概要			
	本市の文化の振興		本市が輩出した著名な文化人を広く知らしめ、文化の発信と文化的風土の醸成を図る事業を実施。			
事業内容		令和04年度	令和05年度	令和06年度	令和07年度	令和08年度
		有吉佐和子記念館の駐車場整備及び管理運営、文化的風土の醸成に関するイベント実施、記念館から河西橋への案内看板設置、開館式典準備、キャプション製作等	有吉佐和子記念館の管理運営、文化的風土の醸成に関するイベント実施等。 有吉佐和子文学賞の実施。	有吉佐和子記念館の管理運営、文化的風土の醸成に関するイベント実施。 有吉佐和子文学賞の実施。	有吉佐和子記念館の管理運営、文化的風土の醸成に関するイベント実施予定。 有吉佐和子文学賞の実施予定。	有吉佐和子記念館の管理運営、文化的風土の醸成に関するイベント実施予定。 有吉佐和子文学賞の実施予定。

2 事業コスト

事業費等(千円)	令和04年度		令和05年度		令和06年度		令和07年度		令和08年度	
	当初予算	決算	当初予算	決算	当初予算	決算	当初予算	決算	計画	決算
事業費	11,070	16,312	12,294	11,930	11,608	11,447	11,669	0	11,669	0
伸び率(%)	△90.9%	△87.3%	11.1%	△26.9%	△5.6%	△4%	0.5%	△100%	0%	0%
人件費	正規職員	5,198	4,810	4,827	4,827	0	7,715	6,078	0	0
	正規職員以外	0	0	0	0	0	413	0	0	0
	小計	5,198	4,810	4,827	4,827	0	8,128	6,078	0	0
国庫支出金	1,044	1,137	1,438	1,350	715	528	565	0	565	0
県支出金	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
市債	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
その他	9,814	9,667	11,463	10,378	1,411	1,101	1,480	0	1,480	0
一般財源(税等)	212	5,508	△607	202	9,482	9,818	9,624	0	9,624	0
所要人数 (人)	正規職員	0.67	0.62	0.62	0.62	0.00	0.99	0.78	0.00	0.00
	正規職員以外	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.10	0.00	0.00	0.00
主な予算内訳	管理運営委託料9,949千円、業務委託料 500千円 等									

3 目標及び実績

活動指標	指標名	単位		令和04年度	令和05年度	令和06年度	令和07年度	令和08年度
				目標値	実績値	達成度(%)	目標値	実績値
イベント開催数		件	目標値	1	1	1	1	1
			実績値	1	1	1		
			達成度(%)	100%	100%	100%	%	%
有吉佐和子文学賞の実施		回数	目標値		1	1	1	1
			実績値		1	1		
			達成度(%)	%	100%	100%	%	%
参加者数		人	目標値	100	100	100	100	100
			実績値	122	327	246		
			達成度(%)	122%	327%	246%	%	%
有吉佐和子文学賞への応募作品数		点	目標値		500	1000	1000	1000
			実績値		2077	1512		
			達成度(%)	%	415.4%	151.2%	%	%

4 事業の評価

評価基準					
[妥当性]事業のニーズはあるか		増加している	○	横ばい	減少している
[妥当性]事業手段は妥当か	○	現行の手段でよい		一部見直しが必要	見直しが必要
[妥当性]官民の役割は妥当か		市が行うべき	○	他の主体との協働も可能	市が行う必要性は薄れている
[妥当性]緊急的に取り組む必要があるか		急いで取り組む	○	中長期的に取り組む	緊急性は薄い
[有効性]更に効果が期待できるか		できる		あまりできない	○ できない
[有効性]成果目標ほどの程度達成しているか	○	達成している (90%以上)		おおむね達成 (70~90%未満)	達成していない (70%未満)
[有効性]上位施策への貢献度		重要かつ高い貢献度がある	○	一定の貢献度がある	貢献度は低い
[効率性]事業費を抑制できるか		できない	○	制約はあるが可能性はある	できる
[効率性]受益者負担の見直し	○	適正		負担は求められない	見直しが必要

5 今後の方向性 (担当課評価)

事業内容の方向性	充実				
	現状維持			○	
	縮小				
	廃止				
		ゼロ	縮小	現状維持	拡大
コスト投入の方向性					

担当課評価の根拠	令和4年6月の有吉佐和子記念館開館後資料の展示公開やイベントの開催など継続的に行い、文化的風土を醸成する。文学の振興を図るため、令和5年度に創設した有吉佐和子文学賞を継続して実施する。
見直し・改善内容	令和5年度以降は、記念館でのイベントの充実を図るとともに、有吉佐和子文学賞を実施し、文化的風土のさらなる醸成に努める。

事務事業チェックシート

事務事業No

事業名

[事業基本情報]

11303

和歌山音楽大行進開催委託事業

[長期総合計画]

分野別目標	2	住みたいと選ばれる魅力があふれるまち
政策	5	郷土に誇りと愛着を育む文化・スポーツの振興と生涯学習の推進
施策	2	芸術・文化の振興
取組方針	1	芸術・文化活動の推進

事業区分(1)	事業経費	○	管理経費	
	その他			
事業区分(2)	自治事務	○	法定受託事務	
	その他			
会計・ 予算区分	会計	一般会計		
	款	総務費		
	項	文化スポーツ費		
	目	文化振興費		
	大事業	文化振興事業		
中事業	和歌山音楽大行進開催委託事業			

事業種別	継続			関連個別計画	
事業年度	無し	～	無し	担当課・担当課長・Tel	文化振興課 福田 幸誠 435-1194
事業実施の根拠法令				関連課	青少年課

1 事業内容

事業目的	(「誰・何」をどういう状態にするための事業か)		全体事業概要			
	吹奏楽の演奏を通して、音楽文化の向上を図り、文化的で明るいまちづくりに寄与する。		参加団体の吹奏楽の演奏により実施する和歌山音楽大行進を開催する。 ・和歌山音楽大更新開催委託先 和歌山音楽大行進実行委員会 委員長 山本 晃平 ・参加団体 保育所・小学校・中学校・高等学校吹奏楽部他			
事業内容	令和04年度	令和05年度	令和06年度	令和07年度	令和08年度	
	吹奏楽によるパレードの開催。	吹奏楽によるパレードの開催。令和5年度はディズニープレードも参加。	吹奏楽によるパレードの開催事業を和歌山音楽大行進実行委員会に委託する。	吹奏楽によるパレードの開催事業を和歌山音楽大行進実行委員会に委託する。	吹奏楽によるパレードの開催事業を和歌山音楽大行進実行委員会に委託する。	

2 事業コスト

事業費等(千円)	令和04年度		令和05年度		令和06年度		令和07年度		令和08年度	
	当初予算	決算	当初予算	決算	当初予算	決算	当初予算	決算	計画	決算
事業費	2,626	2,575	7,444	7,437	2,656	2,513	2,652	0	2,652	0
伸び率(%)	0%	0%	183.5%	188.8%	△64.3%	△66.2%	△0.2%	△100%	0%	0%
人件費	正規職員	3,491	3,181	4,827	4,827	8,026	6,156	10,598	0	0
	正規職員以外	0	0	0	0	0	578	0	0	0
	小計	3,491	3,181	4,827	4,827	8,026	6,734	10,598	0	0
国庫支出金	0	0	3,380	3,429	1,275	1,196	1,261	0	1,261	0
県支出金	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
市債	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
その他	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
一般財源(税等)	2,626	2,575	4,064	4,008	1,381	1,317	1,391	0	1,391	0
所要人数(人)	正規職員	0.45	0.41	0.62	0.62	1.03	0.79	1.36	0.00	0.00
	正規職員以外	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.14	0.00	0.00	0.00
主な予算内訳	和歌山音楽大行進開催委託料 2,656,000円									

3 目標及び実績

活動指標	指標名	単位	令和04年度	令和05年度	令和06年度	令和07年度	令和08年度
			目標値	実績値	達成度(%)	目標値	実績値
委員会の開催	回	目標値	2	1	1	1	1
		実績値	2	1	1		
		達成度(%)	100%	100%	100%	%	%
参加者数	人	目標値	1,500	1,500	1500	1500	1500
		実績値	1,228	1,300	1200		
		達成度(%)	81.9%	86.7%	0%	%	%

4 事業の評価

評価基準					
[妥当性]事業のニーズはあるか	○	増加している		横ばい	減少している
[妥当性]事業手段は妥当か		現行の手段でよい	○	一部見直しが必要	見直しが必要
[妥当性]官民の役割は妥当か	○	市が行うべき		他の主体との協働も可能	市が行う必要性は薄れている
[妥当性]緊急的に取り組む必要があるか		急いで取り組む	○	中長期的に取り組む	緊急性は薄い
[有効性]更に効果が期待できるか		できる	○	あまりできない	できない
[有効性]成果目標ほどの程度達成しているか	○	達成している (90%以上)		おおむね達成 (70~90%未満)	達成していない (70%未満)
[有効性]上位施策への貢献度		重要かつ高い貢献度がある	○	一定の貢献度がある	貢献度は低い
[効率性]事業費を抑制できるか	○	できない		制約はあるが可能性はある	できる
[効率性]受益者負担の見直し		適正	○	負担は求められない	見直しが必要

5 今後の方向性 (担当課評価)

事業内容の方向性	充実			○	
	現状維持				
	縮小				
	廃止				
		ゼロ	縮小	現状維持	拡大
コスト投入の方向性					

担当課評価の根拠	吹奏楽の演奏を通して、音楽文化の向上・発展に寄与する事業である。また、こどもの日のイベントである本市教育委員会主催の子どもなかよしまつりと同時に開催することで、観光客の集客に効果を発揮する事業である。
見直し・改善内容	パレード参加者である生徒・児童の吹奏楽を通じた育成を図るとともに、プログラムの充実等を行い、市内外からの観客の増加を目指す。

事務事業チェックシート

事務事業No

事業名

13576

文化芸術推進基本計画策定事業

[長期総合計画]

分野別目標	2	住みたいと選ばれる魅力があふれるまち
政策	5	郷土に誇りと愛着を育む文化・スポーツの振興と生涯学習の推進
施策	2	芸術・文化の振興
取組方針	1	芸術・文化活動の推進

[事業基本情報]

事業区分(1)	事業経費	○	管理経費	
	その他			
事業区分(2)	自治事務	○	法定受託事務	
	その他			
会計・ 予算区分	会計	一般会計		
	款	総務費		
	項	文化スポーツ費		
	目	文化振興費		
	大事業	文化振興事業		
中事業	文化芸術推進基本計画策定事業			

事業種別	継続		関連個別計画	
事業年度	無し	～	無し	担当課・担当課長・Tel
事業実施の根拠法令	文化芸術基本法、和歌山市文化芸術基本条例		関連課	文化振興課 福田 幸誠 435-1194

1 事業内容

事業目的	(「誰・何」をどういう状態にするための事業か)		全体事業概要			
	文化芸術推進基本計画を策定し、目標達成のための施策を明確化し、各関連分野との連携を図ることで本市の文化芸術の向上発展を図る。		平成29年6月に文化芸術振興基本法が文化芸術基本法へと改正され、地方公共団体が定める「地方文化芸術推進基本計画」(努力義務)が規定された。 本市においても令和元年7月24日に和歌山市文化芸術基本条例を施行し、本市の文化芸術施策を総合的かつ計画的に推進するための文化芸術推進基本計画を策定した。			
事業内容		令和04年度	令和05年度	令和06年度	令和07年度	令和08年度
		文化芸術推進基本計画の前年度進捗状況を調査確認した。	文化芸術推進基本計画の前年度進捗状況を調査確認した。	文化芸術推進基本計画の前年度進捗状況を調査確認し、必要に応じて対応を協議する。	文化芸術推進基本計画の前年度進捗状況を調査確認し、必要に応じて対応を協議する。	文化芸術推進基本計画の前年度進捗状況を調査確認し、必要に応じて対応を協議する。

2 事業コスト

事業費等(千円)	令和04年度		令和05年度		令和06年度		令和07年度		令和08年度	
	当初予算	決算	当初予算	決算	当初予算	決算	当初予算	決算	計画	決算
事業費	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
伸び率(%)	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0%
人件費	正規職員	1,707	1,629	1,635	1,635	1,637	1,559	1,481	0	0
	正規職員以外	0	616	1,150	1,150	0	0	0	0	0
	小計	1,707	2,245	2,785	2,785	1,637	1,559	1,481	0	0
国庫支出金	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
県支出金	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
市債	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
その他	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
一般財源(税等)	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
所要人数 (人)	正規職員	0.22	0.21	0.21	0.21	0.21	0.20	0.19	0.00	0.00
	正規職員以外	0.00	0.12	0.23	0.23	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
主な予算内訳	消耗品費 52千円、印刷製本費 201千円(令和2年度)									

3 目標及び実績

活動指標	指標名	単位	令和04年度	令和05年度	令和06年度	令和07年度	令和08年度
			目標値	実績値	達成度(%)	目標値	実績値
計画に係る進捗状況の管理		回	目標値	1	1	1	1
			実績値	1	1	1	
			達成度(%)	100%	100%	100%	%
			目標値				
			実績値				
			達成度(%)				
庁内協議会開催回数		回	目標値	1	1	1	1
			実績値	0	0	0	
			達成度(%)	0%	0%	0%	%
			目標値				
			実績値				
			達成度(%)				

4 事業の評価

評価基準					
[妥当性]事業のニーズはあるか		増加している	○	横ばい	減少している
[妥当性]事業手段は妥当か	○	現行の手段でよい		一部見直しが必要	見直しが必要
[妥当性]官民の役割は妥当か	○	市が行うべき		他の主体との協働も可能	市が行う必要性は薄れている
[妥当性]緊急的に取り組む必要があるか		急いで取り組む	○	中長期的に取り組む	緊急性は薄い
[有効性]更に効果が期待できるか	○	できる		あまりできない	できない
[有効性]成果目標ほどの程度達成しているか		達成している (90%以上)		おおむね達成 (70~90%未満)	○ 達成していない (70%未満)
[有効性]上位施策への貢献度		重要かつ高い貢献度がある	○	一定の貢献度がある	貢献度は低い
[効率性]事業費を抑制できるか	○	できない		制約はあるが可能性はある	できる
[効率性]受益者負担の見直し		適正	○	負担は求められない	見直しが必要

5 今後の方向性 (担当課評価)

事業内容の方向性	充実				
	現状維持			○	
	縮小				
	廃止				
		ゼロ	縮小	現状維持	拡大
コスト投入の方向性					

担当課評価の根拠	文化芸術推進基本計画に基づき、本市文化芸術の向上発展を図り、魅力あるまちづくりにつなげるためにも必要である。 (第2期和歌山市文化芸術推進基本計画は令和9年度策定予定)
見直し・改善内容	文化芸術推進基本計画の進捗状況を毎年度確認し、必要に応じて対応を協議することで、第2期和歌山市文化芸術推進基本計画の策定の指針とする。

事務事業チェックシート

事務事業No **13675** 事業名 **文化芸術による加太地域活性化補助事業**

[長期総合計画]

分野別目標	2	住みたいと選ばれる魅力があふれるまち
政策	5	郷土に誇りと愛着を育む文化・スポーツの振興と生涯学習の推進
施策	2	芸術・文化の振興
取組方針	1	芸術・文化活動の推進

[事業基本情報]

事業区分(1)	事業経費		管理経費	
	その他			
事業区分(2)	自治事務		法定受託事務	
	その他			
会計・ 予算区分	会計	一般会計		
	款	総務費		
	項	文化スポーツ費		
	目	文化振興費		
	大事業	文化振興事業		
	中事業	文化芸術による加太地域活性化補助事業		

事業種別	継続		関連個別計画	
事業年度	無し	～	無し	
事業実施の根拠法令	文化芸術による加太地域活性化補助金交付要綱		関連課	

1 事業内容

事業目的	(「誰・何」をどういう状態にするための事業か)		全体事業概要		
	文化芸術により加太地域の魅力向上や活性化に寄与するとともに、本市の文化芸術の振興を図り市民が文化芸術に触れる機会をより身近にする。		本市の新たな文化芸術活動の拠点として、市立青少年国際交流センターが開館したことを契機に、加太地域における文化芸術活動の実施を支援する。		
事業内容	令和04年度	令和05年度	令和06年度	令和07年度	令和08年度
	新型コロナウイルス感染症の影響により中止	事業中止	事業終了		

2 事業コスト

事業費等(千円)	令和04年度		令和05年度		令和06年度		令和07年度		令和08年度	
	当初予算	決算	当初予算	決算	当初予算	決算	当初予算	決算	計画	決算
事業費	600	0	600	0	0	0	0	0	0	0
伸び率(%)	0%	0%	0%	0%	△100%	0%	0%	0%	0%	0%
人件費	正規職員	3,491	1,629	1,635	1,635	0	0	0	0	0
	正規職員以外	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	小計	3,491	1,629	1,635	1,635	0	0	0	0	0
国庫支出金	300	0	300	0	0	0	0	0	0	0
県支出金	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
市債	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
その他	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
一般財源(税等)	300	0	300	0	0	0	0	0	0	0
所要人数(人)	正規職員	0.45	0.21	0.21	0.21	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
	正規職員以外	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
主な予算内訳	負担金、補助及び交付金 600千円									

3 目標及び実績

活動指標	指標名	単位	令和04年度	令和05年度	令和06年度	令和07年度	令和08年度
			目標値	実績値	達成度(%)	目標値	実績値
補助事業数	事業	目標値	1	1			
		実績値	0	0			
		達成度(%)	0%	%	%	%	%
入場者数	人	目標値	150	150			
		実績値	0	0			
		達成度(%)	0%	%	%	%	%

4 事業の評価

評価基準					
[妥当性]事業のニーズはあるか		増加している	○	横ばい	減少している
[妥当性]事業手段は妥当か	○	現行の手段でよい		一部見直しが必要	見直しが必要
[妥当性]官民の役割は妥当か		市が行うべき	○	他の主体との協働も可能	市が行う必要性は薄れている
[妥当性]緊急的に取り組む必要はあるか		急いで取り組む	○	中長期的に取り組む	緊急性は薄い
[有効性]更に効果が期待できるか	○	できる		あまりできない	できない
[有効性]成果目標ほどの程度達成しているか		達成している (90%以上)		おおむね達成 (70~90%未満)	○ 達成していない (70%未満)
[有効性]上位施策への貢献度		重要かつ高い貢献度がある	○	一定の貢献度がある	貢献度は低い
[効率性]事業費を抑制できるか	○	できない		制約はあるが可能性はある	できる
[効率性]受益者負担の見直し	○	適正		負担は求められない	見直しが必要

5 今後の方向性 (担当課評価)

事業内容の方向性	充実				
	現状維持				
	縮小				
	廃止	○			
		ゼロ	縮小	現状維持	拡大
コスト投入の方向性					

担当課評価の根拠	加太地域における文化芸術活動の自発を促し、文化芸術の振興により加太地域の魅力向上につなげることができる。 令和2年度、令和3年度及び令和4年度は、新型コロナウイルス感染症の影響により中止となった。
見直し・改善内容	事業の継続が困難となったため、令和5年度をもって事業を廃止。

事務事業チェックシート

事務事業No

事業名

[事業基本情報]

24485

将棋文化振興事業

[長期総合計画]

分野別目標	2	住みたいと選ばれる魅力があふれるまち
政策	5	郷土に誇りと愛着を育む文化・スポーツの振興と生涯学習の推進
施策	2	芸術・文化の振興
取組方針	1	芸術・文化活動の推進

事業区分(1)	事業経費		管理経費	
	その他			
事業区分(2)	自治事務		法定受託事務	
	その他			
会計・ 予算区分	会計	一般会計		
	款	総務費		
	項	文化スポーツ費		
	目	文化振興費		
	大事業	文化振興事業		
	中事業	将棋文化振興事業		

事業種別	継続		関連個別計画			
事業年度	無し	～	無し	担当課・担当課長・Tel	文化振興課	福田 幸誠 435-1194
事業実施の根拠法令			関連課			

1 事業内容

事業目的	(「誰・何」をどういう状態にするための事業か) 本市将棋文化の普及に努める		全体事業概要 将棋大会等の開催。将棋タイトル戦の誘致を図る。		
	事業内容	令和04年度	令和05年度	令和06年度	令和07年度
				将棋大会等の開催 竜王戦と歌山対局の開催	将棋大会等の開催

2 事業コスト

事業費等(千円)	令和04年度		令和05年度		令和06年度		令和07年度		令和08年度	
	当初予算	決算	当初予算	決算	当初予算	決算	当初予算	決算	計画	決算
事業費	0	0	0	0	13,400	9,933	1,129	0	1,129	0
伸び率(%)	0%	0%	0%	0%	0%	0%	△91.6%	△100%	0%	0%
人件費	正規職員	0	0	0	0	7,715	7,559	0	0	0
	正規職員以外	0	0	0	0	413	0	0	0	0
	小計	0	0	0	0	8,128	7,559	0	0	0
国庫支出金	0	0	0	0	6,700	3,780	542	0	542	0
県支出金	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
市債	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
その他	0	0	0	0	6,700	6,153	0	0	0	0
一般財源(税等)	0	0	0	0	0	0	587	0	587	0
所要人数 (人)	正規職員	0.00	0.00	0.00	0.00	0.99	0.97	0.00	0.00	0.00
	正規職員以外	0.00	0.00	0.00	0.00	0.10	0.00	0.00	0.00	0.00
主な予算内訳	負担金、補助及び交付金13,400千円									

3 目標及び実績

活動指標	指標名	単位		令和04年度	令和05年度	令和06年度	令和07年度	令和08年度
				目標値	実績値	達成度(%)	目標値	実績値
イベント開催数		回	目標値			4	2	2
			実績値			4		
			達成度(%)	%	%	100%	%	%
イベント参加者数		人	目標値			946	196	196
			実績値			1001		
			達成度(%)	%	%	100%	%	%

4 事業の評価

評価基準					
[妥当性]事業のニーズはあるか	○	増加している		横ばい	減少している
[妥当性]事業手段は妥当か	○	現行の手段でよい		一部見直しが必要	見直しが必要
[妥当性]官民の役割は妥当か		市が行うべき		他の主体との協働も可能	○ 市が行う必要性は薄れている
[妥当性]緊急的に取り組む必要はあるか		急いで取り組む	○	中長期的に取り組む	緊急性は薄い
[有効性]更に効果が期待できるか	○	できる		あまりできない	できない
[有効性]成果目標ほどの程度達成しているか	○	達成している (90%以上)		おおむね達成 (70~90%未満)	達成していない (70%未満)
[有効性]上位施策への貢献度		重要かつ高い貢献度がある	○	一定の貢献度がある	貢献度は低い
[効率性]事業費を抑制できるか	○	できない		制約はあるが可能性はある	できる
[効率性]受益者負担の見直し	○	適正		負担は求められない	見直しが必要

5 今後の方向性 (担当課評価)

事業内容の方向性	充実				
	現状維持			○	
	縮小				
	廃止				
		ゼロ	縮小	現状維持	拡大
コスト投入の方向性					

担当課評価の根拠	令和6年度は竜王戦と歌山対局の開催に伴い、関連イベントの参加者数も多く、盛り上がりを見せた。 今後、本市将棋文化の普及を図るため、団体と協力し、将棋イベントの開催を継続していく。 令和7年度も引き続き将棋タイトル戦の誘致を図る予定。
見直し・改善内容	将棋大会等について、団体と協力し、共催として実施していく。

事務事業チェックシート

事務事業No **11276** 事業名 **和歌の浦アート・キューブ管理運営事業（予約システム事**

[事業基本情報]

[長期総合計画]

分野別目標	2	住みたいと選ばれる魅力があふれるまち
政策	5	郷土に誇りと愛着を育む文化・スポーツの振興と生涯学習の推進
施策	2	芸術・文化の振興
取組方針	2	芸術・文化活動環境の整備充実

事業区分(1)	事業経費	○	管理経費	
	その他			
事業区分(2)	自治事務	○	法定受託事務	
	その他			
会計・ 予算区分	会計	一般会計		
	款	総務費		
	項	文化スポーツ費		
	目	和歌の浦アート・キューブ費		
	大事業	和歌の浦アート・キューブ事業		
	中事業	和歌の浦アート・キューブ管理運営事業（予約シス		

事業種別	継続		関連個別計画			
事業年度	無し	～	無し	担当課・担当課長・Tel	文化振興課	福田 幸誠 435-1194
事業実施の根拠法令	和歌の浦アート・キューブ条例、同条例施行規則		関連課			

1 事業内容

事業目的	(「誰・何」をどういう状態にするための事業か)		全体事業概要			
	和歌の浦アート・キューブの施設予約システムの運用		和歌の浦アート・キューブの施設予約システムの運用			
事業内容		令和04年度	令和05年度	令和06年度	令和07年度	令和08年度
		和歌の浦アート・キューブの施設予約システムの運用	和歌の浦アート・キューブの施設予約システムの運用	和歌の浦アート・キューブの施設予約システムの運用	和歌の浦アート・キューブの施設予約システムの運用	和歌の浦アート・キューブの施設予約システムの運用

2 事業コスト

事業費等(千円)	令和04年度		令和05年度		令和06年度		令和07年度		令和08年度	
	当初予算	決算	当初予算	決算	当初予算	決算	当初予算	決算	計画	決算
事業費	138	120	138	120	134	133	133	0	133	0
伸び率(%)	0%	0%	0%	0%	△2.9%	10.8%	△0.7%	△100%	0%	0%
人件費	正規職員	1,707	1,629	1,635	1,635	1,637	1,559	1,481	0	0
	正規職員以外	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	小計	1,707	1,629	1,635	1,635	1,637	1,559	1,481	0	0
国庫支出金	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
県支出金	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
市債	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
その他	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
一般財源(税等)	138	120	138	120	134	133	133	0	133	0
所要人数(人)	正規職員	0.22	0.21	0.21	0.21	0.21	0.20	0.19	0.00	0.00
	正規職員以外	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
主な予算内訳	システム利用料 101千円									

3 目標及び実績

活動指標	指標名	単位		令和04年度	令和05年度	令和06年度	令和07年度	令和08年度
				目標値	実績値	達成度(%)	目標値	実績値
施設予約システム整備		件	目標値	1	1	1	1	1
			実績値	1	1	1		
			達成度(%)	100%	100%	100%	%	%
システムによる予約件数		%	目標値	900	900	900	900	900
			実績値	887	859	973		
			達成度(%)	98.6%	95.4%	108.1%	%	%
			予約件数(全体)	件	目標値	3200	3200	3200
			実績値	2976	2629	2921		
			達成度(%)	93%	82%	90%	%	%

4 事業の評価

評価基準					
[妥当性]事業のニーズはあるか	○	増加している		横ばい	減少している
[妥当性]事業手段は妥当か	○	現行の手段でよい		一部見直しが必要	見直しが必要
[妥当性]官民の役割は妥当か	○	市が行うべき		他の主体との協働も可能	市が行う必要性は薄れている
[妥当性]緊急的に取り組む必要があるか		急いで取り組む	○	中長期的に取り組む	緊急性は薄い
[有効性]更に効果が期待できるか	○	できる		あまりできない	できない
[有効性]成果目標ほどの程度達成しているか	○	達成している (90%以上)		おおむね達成 (70~90%未満)	達成していない (70%未満)
[有効性]上位施策への貢献度	○	重要かつ高い貢献度がある		一定の貢献度がある	貢献度は低い
[効率性]事業費を抑制できるか		できない	○	制約はあるが可能性はある	できる
[効率性]受益者負担の見直し		適正	○	負担は求められない	見直しが必要

5 今後の方向性 (担当課評価)

事業内容の方向性	充実				
	現状維持		○		
	縮小				
	廃止				
		ゼロ	縮小	現状維持	拡大
コスト投入の方向性					

担当課評価の根拠	すみやかなパソコンやモバイル端末からの予約を可能とし、利便性が向上する。
見直し・改善内容	利用者にとって利便性が向上するような予約システムを構築するよう努める。

事務事業チェックシート

事務事業No

事業名

[事業基本情報]

11288

市民会館管理運営事業

[長期総合計画]

分野別目標	2	住みたいと選ばれる魅力があふれるまち
政策	5	郷土に誇りと愛着を育む文化・スポーツの振興と生涯学習の推進
施策	2	芸術・文化の振興
取組方針	2	芸術・文化活動環境の整備充実

事業区分(1)	事業経費	○	管理経費	
	その他			
事業区分(2)	自治事務	○	法定受託事務	
	その他			
会計・ 予算区分	会計	一般会計		
	款	総務費		
	項	文化スポーツ費		
	目	市民会館費		
	大事業	市民会館事業		
中事業	市民会館管理運営事業			

事業種別	継続		関連個別計画				
事業年度	無し	～	無し	担当課・担当課長・Tel	文化振興課	福田 幸誠	435-1194
事業実施の根拠法令	和歌山市民会館条例、和歌山市民会館条例施行規則		関連課				

1 事業内容

事業目的	(「誰・何」をどういう状態にするための事業か)		全体事業概要			
	市民会館を適正に維持管理する。		閉館後の和歌山市民会館の建物が有効利用された場合のための維持管理事業			
事業内容		令和04年度	令和05年度	令和06年度	令和07年度	令和08年度
		修繕費及び火災保険料の支出、産業廃棄物の収集運搬及び処分業務等	修繕費及び火災保険料の支出、産業廃棄物の収集運搬及び処分業務等	修繕費及び火災保険料の支出、産業廃棄物の収集運搬及び処分業務等	修繕費及び火災保険料の支出、産業廃棄物の収集運搬及び処分業務等	

2 事業コスト

事業費等(千円)	令和04年度		令和05年度		令和06年度		令和07年度		令和08年度	
	当初予算	決算	当初予算	決算	当初予算	決算	当初予算	決算	計画	決算
事業費	2,459	1,390	1,521	1,326	0	0	0	0	0	0
伸び率(%)	△97.8%	△98.7%	△38.1%	△4.6%	△100%	△100%	0%	0%	0%	0%
人件費	正規職員	10,395	1,629	1,635	1,635	1,637	0	0	0	0
	正規職員以外	3,413	4,875	432	432	2,764	0	0	0	0
	小計	13,808	6,504	2,067	2,067	4,401	0	0	0	0
国庫支出金	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
県支出金	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
市債	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
その他	250	1,047	230	230	0	0	0	0	0	0
一般財源(税等)	2,209	343	1,291	1,096	0	0	0	0	0	0
所要人数 (人)	正規職員	1.34	0.21	0.21	0.21	0.21	0.00	0.00	0.00	0.00
	正規職員以外	0.77	1.37	0.19	0.19	0.67	0.00	0.00	0.00	0.00
主な予算内訳	管理委託料 660千円 等									

3 目標及び実績

活動指標	指標名	単位		令和04年度	令和05年度	令和06年度	令和07年度	令和08年度
				目標値	実績値	達成度(%)	目標値	実績値
自主事業開催数		回	目標値	0	0	0		
			実績値	0	0	0		
			達成度(%)	0%	0%	0%	%	%
自主事業入場者数		人	目標値	0	0	0		
			実績値	0	0	0		
			達成度(%)	0%	%	0%	%	%
施設利用件数		件	目標値	0	0	0		
			実績値	0	0	0		
			達成度(%)	0%	%	0%	%	%

4 事業の評価

評価基準					
[妥当性]事業のニーズはあるか		増加している	○	横ばい	減少している
[妥当性]事業手段は妥当か		現行の手段でよい	○	一部見直しが必要	見直しが必要
[妥当性]官民の役割は妥当か	○	市が行うべき		他の主体との協働も可能	市が行う必要性は薄れている
[妥当性]緊急的に取り組む必要はあるか	○	急いで取り組む		中長期的に取り組む	緊急性は薄い
[有効性]更に効果が期待できるか		できる	○	あまりできない	できない
[有効性]成果目標ほどの程度達成しているか		達成している (90%以上)		おおむね達成 (70~90%未満)	○ 達成していない (70%未満)
[有効性]上位施策への貢献度	○	重要かつ高い貢献度がある		一定の貢献度がある	貢献度は低い
[効率性]事業費を抑制できるか		できない		制約はあるが可能性はある	○ できる
[効率性]受益者負担の見直し	○	適正		負担は求められない	見直しが必要

5 今後の方向性 (担当課評価)

事業内容の方向性	充実				
	現状維持				
	縮小		○		
	廃止				
		ゼロ	縮小	現状維持	拡大
コスト投入の方向性					

担当課評価の根拠	令和3年9月末に閉館させたが、跡地の利活用に関して建物を再利用する可能性があるため、施設を適切に維持管理する必要がある。
見直し・改善内容	跡地の利活用に関して建物を再利用する場合に備え、施設の適切な維持管理を図っていきたい。

4 事業の評価

評価基準				
[妥当性]事業のニーズはあるか	○	増加している		横ばい
[妥当性]事業手段は妥当か	○	現行の手段でよい		一部見直しが必要
[妥当性]官民の役割は妥当か	○	市が行うべき		他の主体との協働も可能
[妥当性]緊急的に取り組む必要があるか		急いで取り組む	○	中長期的に取り組む
[有効性]更に効果が期待できるか	○	できる		あまりできない
[有効性]成果目標ほどの程度達成しているか		達成している (90%以上)	○	おおむね達成 (70~90%未満)
[有効性]上位施策への貢献度	○	重要かつ高い貢献度がある		一定の貢献度がある
[効率性]事業費を抑制できるか	○	できない		制約はあるが可能性はある
[効率性]受益者負担の見直し	○	適正		負担は求められない
				減少している
				見直しが必要
				市が行う必要性は薄れている
				緊急性は薄い
				できない
				達成していない (70%未満)
				貢献度は低い
				できる
				見直しが必要

5 今後の方向性 (担当課評価)

事業内容の方向性	充実			○	
	現状維持				
	縮小				
	廃止				
		ゼロ	縮小	現状維持	拡大
コスト投入の方向性					

担当課評価の根拠	文化活動の拠点として利用されている。
見直し・改善内容	和歌の浦の景観を生かした自主事業の実施や地域住民に親しまれる施設の充実を図る。

事務事業チェックシート

事務事業No

事業名

[事業基本情報]

20919

和歌山城ホール管理運営事業（予約システム事業）

[長期総合計画]

分野別目標	2	住みたいと選ばれる魅力があふれるまち
政策	5	郷土に誇りと愛着を育む文化・スポーツの振興と生涯学習の推進
施策	2	芸術・文化の振興
取組方針	2	芸術・文化活動環境の整備充実

事業区分(1)	事業経費		管理経費	
	その他			
事業区分(2)	自治事務		法定受託事務	
	その他			
会計・ 予算区分	会計	一般会計		
	款	総務費		
	項	文化スポーツ費		
	目	和歌山城ホール費		
	大事業	和歌山城ホール費		
	中事業	和歌山城ホール管理運営事業（予約システム事業）		

事業種別	継続		関連個別計画				
事業年度	無し	～	無し	担当課・担当課長・Tel	文化振興課	福田 幸誠	435-1194
事業実施の根拠法令	和歌山城ホール条例、和歌山城ホール条例施行規則		関連課				

1 事業内容

事業目的	（「誰・何」をどういう状態にするための事業か）		全体事業概要			
	和歌山城ホールの施設予約システムの運用		和歌山城ホールの施設予約システムの運用			
事業内容	令和04年度	令和05年度	令和06年度	令和07年度	令和08年度	
	和歌山城ホールの施設予約システムの運用	和歌山城ホールの施設予約システムの運用	和歌山城ホールの施設予約システムの運用	和歌山城ホールの施設予約システムの運用	和歌山城ホールの施設予約システムの運用	

2 事業コスト

事業費等（千円）	令和04年度		令和05年度		令和06年度		令和07年度		令和08年度	
	当初予算	決算	当初予算	決算	当初予算	決算	当初予算	決算	計画	決算
事業費	255	231	255	231	478	478	474	0	474	0
伸び率（%）	0%	0%	0%	0%	87.5%	106.9%	△0.8%	△100%	0%	0%
人件費	正規職員	0	1,629	1,635	1,635	1,637	1,559	1,481	0	0
	正規職員以外	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	小計	0	1,629	1,635	1,635	1,637	1,559	1,481	0	0
国庫支出金	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
県支出金	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
市債	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
その他	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
一般財源（税等）	255	231	255	231	478	478	474	0	474	0
所要人数 （人）	正規職員	0.00	0.21	0.21	0.21	0.21	0.20	0.19	0.00	0.00
	正規職員以外	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
主な予算内訳	システム利用料 435千円									

3 目標及び実績

活動指標	指標名	単位		令和04年度	令和05年度	令和06年度	令和07年度	令和08年度
				目標値	実績値	達成度(%)	目標値	実績値
施設予約システムの活用		件	目標値	1	1	1	1	1
			実績値	1	1	1		
			達成度(%)	100%	100%	100%	%	%
システムによる予約件数		件	目標値	900	900	900	900	900
			実績値	930	1186	1640		
			達成度(%)	103.3%	131.7%	182.2%	%	%
			目標値	3400	3400	3400	3400	3400
			実績値	3555	4884	6072		
達成度(%)	104.6%	143.6%	178.5%	%	%			

4 事業の評価

評価基準					
[妥当性]事業のニーズはあるか	○	増加している		横ばい	減少している
[妥当性]事業手段は妥当か	○	現行の手段でよい		一部見直しが必要	見直しが必要
[妥当性]官民の役割は妥当か	○	市が行うべき		他の主体との協働も可能	市が行う必要性は薄れている
[妥当性]緊急的に取り組む必要があるか		急いで取り組む	○	中長期的に取り組む	緊急性は薄い
[有効性]更に効果が期待できるか	○	できる		あまりできない	できない
[有効性]成果目標ほどの程度達成しているか	○	達成している (90%以上)		おおむね達成 (70~90%未満)	達成していない (70%未満)
[有効性]上位施策への貢献度	○	重要かつ高い貢献度がある		一定の貢献度がある	貢献度は低い
[効率性]事業費を抑制できるか		できない	○	制約はあるが可能性はある	できる
[効率性]受益者負担の見直し		適正	○	負担は求められない	見直しが必要

5 今後の方向性 (担当課評価)

事業内容の方向性	充実				
	現状維持		○		
	縮小				
	廃止				
		ゼロ	縮小	現状維持	拡大
コスト投入の方向性					

担当課評価の根拠	すみやかなパソコンやモバイル端末からの予約を可能とし、利便性が向上する。
見直し・改善内容	利用者にとって利便性が向上するような予約システムを構築するよう努める。

事務事業チェックシート

事務事業No

事業名

[事業基本情報]

20484

史跡和歌山城保存修理事業

[長期総合計画]

分野別目標	2	住みたいと選ばれる魅力があふれるまち
政策	5	郷土に誇りと愛着を育む文化・スポーツの振興と生涯学習の推進
施策	3	文化財の保護・活用
取組方針	1	文化財の保護

事業区分(1)	事業経費		管理経費	
	その他			
事業区分(2)	自治事務		法定受託事務	
	その他			
会計・ 予算区分	会計	一般会計		
	款	商工費		
	項	観光費		
	目	和歌山城公園管理費		
	大事業	和歌山城公園管理事業		
中事業	史跡和歌山城保存修理事業			

事業種別	継続		関連個別計画				
事業年度	無し	～	無し	担当課・担当課長・Tel	和歌山城整備企画課	南 秀樹	435-1044
事業実施の根拠法令			関連課				

1 事業内容

(「誰・何」をどういう状態にするための事業か)		全体事業概要				
事業目的	和歌山城の保存修理について、「史跡和歌山城保存管理計画(平成4年度策定)」「史跡和歌山城整備計画(平成28年度改訂版)」や「史跡和歌山城二の丸及び西の丸整備基本計画(令和2年度策定)」、「史跡和歌山城樹木管理計画(令和元年度策定)」に基づいて事業計画を作成し、史跡和歌山城保存整備委員会や、国・県の助言・指導のもと進める。	史跡和歌山城の後世への確実な継承とさらなる活用に向けて、石垣の保存修理や史跡整備を進める。				
事業内容		令和04年度	令和05年度	令和06年度	令和07年度	令和08年度
		扇の芝の整備や、老朽化の進む岡口門及び土塀の補修に向けて、石垣調査、発掘調査及び史跡和歌山城保存整備委員会での協議を行う。	扇の芝の整備や、老朽化の進む岡口門及び土塀の補修に向けて、石垣調査、発掘調査及び史跡和歌山城保存整備委員会での協議を行う。	扇の芝の整備や、老朽化の進む岡口門及び土塀の補修に向けて、石垣調査、発掘調査及び史跡和歌山城保存整備委員会での協議を行う。	扇の芝の整備や、老朽化の進む岡口門及び土塀の補修に向けて、石垣調査、発掘調査及び史跡和歌山城保存整備委員会での協議を行う。	扇の芝の整備や、老朽化の進む岡口門及び土塀の補修に向けて、石垣調査、発掘調査及び史跡和歌山城保存整備委員会での協議を行う。

2 事業コスト

事業費等(千円)	令和04年度		令和05年度		令和06年度		令和07年度		令和08年度		
	当初予算	決算	当初予算	決算	当初予算	決算	当初予算	決算	計画	決算	
事業費	17,937	17,499	19,102	19,945	27,923	27,296	21,478	0	21,478	0	
伸び率(%)	0%	0%	6.5%	14%	46.2%	36.9%	△23.1%	△100%	0%	0%	
人件費	正規職員	20,557	21,875	21,954	21,643	21,662	26,415	26,415	0	26,415	0
	正規職員以外	4,283	4,283	4,403	4,267	4,274	3,582	4,217	0	4,217	0
	小計	24,840	26,158	26,357	25,910	25,936	29,997	30,632	0	30,632	0
国庫支出金	8,810	9,509	9,392	9,635	13,974	13,375	10,719	0	10,719	0	
県支出金	440	357	468	481	697	667	535	0	535	0	
市債	0	0	1,000	1,300	0	0	0	0	0	0	
その他	8,683	7,440	8,238	8,503	6,193	6,219	10,547	0	10,547	0	
一般財源(税等)	4	193	4	26	7,059	7,035	△323	0	△323	0	
所要人数(人)	正規職員	2.65	2.82	2.82	2.78	2.78	3.39	3.39	0.00	3.39	0.00
	正規職員以外	1.82	1.82	1.82	1.76	1.76	1.58	1.86	0.00	1.86	0.00
主な予算内訳	調査委託料(16,613千円)、発掘調査委託料(8,189千円)、管理委託料(2,618千円)、等										

3 目標及び実績

活動指標	指標名	単位		令和04年度	令和05年度	令和06年度	令和07年度	令和08年度
				目標値	実績値	達成度(%)	目標値	実績値
調査場所数		箇所	目標値	1	1	1		
			実績値	2	1	1		
			達成度(%)	200%	100%	100%	%	%
史跡和歌山城保存整備委員会開催回数		回	目標値	2	2	2	2	2
			実績値	2	3	3		
			達成度(%)	100%	150%	150%	%	%
天守閣の入場者数		人	目標値	322,000	336,000	223,750	232,500	241,250
			実績値	176,897	214,141	232,874		
			達成度(%)	55%	64%	104%	%	%
成果指標			目標値					
			実績値					
			達成度(%)					

4 事業の評価

評価基準					
[妥当性]事業のニーズはあるか	○	増加している		横ばい	減少している
[妥当性]事業手段は妥当か	○	現行の手段でよい		一部見直しが必要	見直しが必要
[妥当性]官民の役割は妥当か	○	市が行うべき		他の主体との協働も可能	市が行う必要性は薄れている
[妥当性]緊急的に取り組む必要があるか		急いで取り組む	○	中長期的に取り組む	緊急性は薄い
[有効性]更に効果が期待できるか	○	できる		あまりできない	できない
[有効性]成果目標ほどの程度達成しているか	○	達成している (90%以上)		おおむね達成 (70~90%未満)	達成していない (70%未満)
[有効性]上位施策への貢献度		重要かつ高い貢献度がある	○	一定の貢献度がある	貢献度は低い
[効率性]事業費を抑制できるか	○	できない		制約はあるが可能性はある	できる
[効率性]受益者負担の見直し		適正	○	負担は求められない	見直しが必要

5 今後の方向性 (担当課評価)

事業内容の方向性	充実				○
	現状維持				
	縮小				
	廃止				
		ゼロ	縮小	現状維持	拡大
コスト投入の方向性					

担当課評価の根拠	文化財の保存に留まらず、扇の芝の整備や北辺櫓群の復元等により、和歌山城の文化的価値の更なる向上及び観光的魅力の増進を図るため、今後事業内容を充実していきたいと考えている。
見直し・改善内容	事業を充実し、来場者の増加や周辺市街地の活性化を目指したいと考えている。

事務事業チェックシート

事務事業No

事業名

[事業基本情報]

17794

埋蔵文化財発掘調査事業

[長期総合計画]

分野別目標	2	住みたいと選ばれる魅力があふれるまち
政策	5	郷土に誇りと愛着を育む文化・スポーツの振興と生涯学習の推進
施策	3	文化財の保護・活用
取組方針	1	文化財の保護

事業区分(1)	事業経費		管理経費	
	その他			
事業区分(2)	自治事務		法定受託事務	
	その他			
会計・ 予算区分	会計	一般会計		
	款	総務費		
	項	文化スポーツ費		
	目	文化財保護費		
	大事業	文化財保護事業		
	中事業	埋蔵文化財発掘調査事業		

事業種別	継続		関連個別計画	
事業年度	無し	～	無し	担当課・担当課長・Tel 文化振興課 福田 幸誠 435-1194
事業実施の根拠法令	文化財保護法		関連課	

1 事業内容

事業目的	(「誰・何」をどのような状態にするための事業か)		全体事業概要			
	埋蔵文化財包蔵地(遺跡)を適切に保護する。		埋蔵文化財包蔵地(遺跡)内の土木工事に対処して、確認調査・立会調査・発掘調査を実施、保護資料を作成する。			
事業内容		令和04年度	令和05年度	令和06年度	令和07年度	令和08年度
		埋蔵文化財包蔵地(遺跡)内の土木工事に対処して、確認調査・立会調査・発掘調査の実施、保護資料の作製。	埋蔵文化財包蔵地(遺跡)内の土木工事に対処して、確認調査・立会あ調査・発掘調査の実施、保護資料の作製。	埋蔵文化財包蔵地(遺跡)内の土木工事に対処して、確認調査・立会あ調査・発掘調査の実施、保護資料の作製。	埋蔵文化財包蔵地(遺跡)内の土木工事に対処して、確認調査・立会あ調査・発掘調査の実施、保護資料の作製。	

2 事業コスト

事業費等(千円)	令和04年度		令和05年度		令和06年度		令和07年度		令和08年度	
	当初予算	決算	当初予算	決算	当初予算	決算	当初予算	決算	計画	決算
事業費	10,683	10,098	20,515	20,078	10,631	11,998	12,421	0	12,421	0
伸び率(%)	△42.8%	△45.1%	92%	98.8%	△48.2%	△40.2%	16.8%	△100%	0%	0%
人件費	正規職員	17,376	16,290	18,062	17,672	17,688	13,948	13,636	0	0
	正規職員以外	1,637	1,637	1,659	1,659	1,669	0	0	0	0
	小計	19,013	17,927	19,721	19,331	19,357	13,948	13,636	0	0
国庫支出金	5,144	3,275	6,830	6,830	4,250	5,301	4,935	0	4,935	0
県支出金	253	161	342	342	212	236	247	0	247	0
市債	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
その他	0	0	9	0	0	0	0	0	0	0
一般財源(税等)	5,286	6,662	13,334	12,906	6,169	6,461	7,239	0	7,239	0
所要人数(人)	正規職員	2.24	2.10	2.32	2.27	2.27	1.79	1.75	0.00	0.00
	正規職員以外	0.86	0.86	0.86	0.86	0.86	0.00	0.00	0.00	0.00
主な予算内訳	印刷製本費 1,367千円 発掘調査補助事業委託料 6,640千円									

3 目標及び実績

活動指標	指標名	単位	令和04年度	令和05年度	令和06年度	令和07年度	令和08年度
			目標値	実績値	達成度(%)	目標値	実績値
文化財保護法に基づく届出・通知件数	件	目標値					
		実績値	256	310	305		
		達成度(%)	%	%	%	%	%
立会調査件数	件	目標値					
		実績値	66	50	76		
		達成度(%)	%	%	%	%	%
確認調査件数	件	目標値					
		実績値	22	38	23		
		達成度(%)	%	%	%	%	%
発掘調査件数	件	目標値					
		実績値	2	8	4		
		達成度(%)	%	%	%	%	%

4 事業の評価

評価基準				
[妥当性]事業のニーズはあるか	○	増加している	横ばい	減少している
[妥当性]事業手段は妥当か	○	現行の手段でよい	一部見直しが必要	見直しが必要
[妥当性]官民の役割は妥当か	○	市が行うべき	他の主体との協働も可能	市が行う必要性は薄れている
[妥当性]緊急的に取り組む必要があるか	○	急いで取り組む	中長期的に取り組む	緊急性は薄い
[有効性]更に効果が期待できるか	○	できる	あまりできない	できない
[有効性]成果目標ほどの程度達成しているか	○	達成している (90%以上)	おおむね達成 (70~90%未満)	達成していない (70%未満)
[有効性]上位施策への貢献度	○	重要かつ高い貢献度がある	一定の貢献度がある	貢献度は低い
[効率性]事業費を抑制できるか	○	できない	制約はあるが可能性はある	できる
[効率性]受益者負担の見直し	○	適正	負担は求められない	見直しが必要

5 今後の方向性 (担当課評価)

事業内容の方向性	充実				
	現状維持		○		
	縮小				
	廃止				
		ゼロ	縮小	現状維持	拡大
コスト投入の方向性					

担当課評価の根拠	文化財保護法に基づき市内の埋蔵文化包蔵地（遺跡）を適切に保護するために行われる事業である。
見直し・改善内容	日常的な文化財パトロールにより、文化財保護法に基づく届出等の漏れがないように努める。

4 事業の評価

評価基準					
[妥当性]事業のニーズはあるか		増加している	○	横ばい	減少している
[妥当性]事業手段は妥当か	○	現行の手段でよい		一部見直しが必要	見直しが必要
[妥当性]官民の役割は妥当か		市が行うべき	○	他の主体との協働も可能	市が行う必要性は薄れている
[妥当性]緊急的に取り組む必要はあるか		急いで取り組む	○	中長期的に取り組む	緊急性は薄い
[有効性]更に効果が期待できるか		できる	○	あまりできない	できない
[有効性]成果目標ほどの程度達成しているか	○	達成している (90%以上)		おおむね達成 (70~90%未満)	達成していない (70%未満)
[有効性]上位施策への貢献度		重要かつ高い貢献度がある	○	一定の貢献度がある	貢献度は低い
[効率性]事業費を抑制できるか		できない	○	制約はあるが可能性はある	できる
[効率性]受益者負担の見直し		適正	○	負担は求められない	見直しが必要

5 今後の方向性 (担当課評価)

事業内容の方向性	充実				
	現状維持			○	
	縮小				
	廃止				
		ゼロ	縮小	現状維持	拡大
コスト投入の方向性					

担当課評価の根拠	地元での行事で古墳の歴史を紹介する機会が定例化しつつあり、地域の活動にも役立っている。
見直し・改善内容	パンフレットの配布やホームページでの紹介を促進し、より多くの人々に存在・歴史的価値を知ってもらうように努める。

事務事業チェックシート

事務事業No

事業名

[事業基本情報]

11290

平井歴史資料室公開事業

[長期総合計画]

分野別目標	2	住みたいと選ばれる魅力があふれるまち
政策	5	郷土に誇りと愛着を育む文化・スポーツの振興と生涯学習の推進
施策	3	文化財の保護・活用
取組方針	2	文化財の活用

事業区分(1)	事業経費	○	管理経費	
	その他			
事業区分(2)	自治事務	○	法定受託事務	
	その他			
会計・ 予算区分	会計	一般会計		
	款	総務費		
	項	文化スポーツ費		
	目	文化財保護費		
	大事業	文化財保護事業		
	中事業	平井歴史資料室公開事業		

事業種別	継続		関連個別計画	平井複合館基本構想		
事業年度	無し	～	無し	担当課・担当課長・Tel	文化振興課 福田 幸誠	435-1194
事業実施の根拠法令	関連課			人権同和施策課 子育て支援課		

1 事業内容

事業目的	(「誰・何」をどういう状態にするための事業か)		全体事業概要			
	平井地区に設置予定の平井複合館内に、発見された埴輪窯のレプリカを展示し、歴史学習の場とする。		平井地区に設置予定の平井複合館内に、発見された埴輪窯のレプリカを展示し、歴史学習の場とする。			
事業内容	令和04年度	令和05年度	令和06年度	令和07年度	令和08年度	
	平井ふれあいセンター内の平井歴史資料室の維持管理及び運営を行い、歴史学習の場とする。 入室者数 1,066人	平井ふれあいセンター内の平井歴史資料室の維持管理及び運営を行い、歴史学習の場とする。 入室者数 1,026人	平井複合館設置に係る3課(人権同和施策課・子育て支援課、文化振興課)で今後の事業費総額を関連面積割合で負担する。 入室者数 1,209人	平井複合館設置に係る3課(人権同和施策課・子育て支援課、文化振興課)で今後の事業費総額を関連面積割合で負担する。		

2 事業コスト

事業費等(千円)	令和04年度		令和05年度		令和06年度		令和07年度		令和08年度	
	当初予算	決算	当初予算	決算	当初予算	決算	当初予算	決算	計画	決算
事業費	886	1,208	1,076	741	1,188	1,125	1,216	0	1,216	0
伸び率(%)	△92.2%	△88.3%	21.4%	△38.7%	10.4%	51.8%	2.4%	△100%	0%	0%
人件費	正規職員	8,688	9,774	9,810	9,654	8,026	7,715	7,559	0	0
	正規職員以外	2,341	2,341	2,373	2,373	2,387	2,425	2,425	0	0
	小計	11,029	12,115	12,183	12,027	10,413	10,140	9,984	0	0
国庫支出金	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
県支出金	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
市債	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
その他	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
一般財源(税等)	886	1,208	1,076	741	1,188	1,125	1,216	0	1,216	0
所要人数(人)	正規職員	1.12	1.26	1.26	1.24	1.03	0.99	0.97	0.00	0.00
	正規職員以外	1.23	1.23	1.23	1.23	1.23	1.25	1.25	0.00	0.00
主な予算内訳	光熱水費 368千円、管理委託料 233千円									

3 目標及び実績

活動指標	指標名	単位	令和04年度	令和05年度	令和06年度	令和07年度	令和08年度
			目標値	実績値	達成度(%)	目標値	実績値
活動指標	平井複合施設建設関連事業	件	目標値	0	0	0	0
			実績値	0	0	0	
			達成度(%)	%	%	%	%
	開場日数	日	目標値	298	299	299	299
成果指標	平井複合施設建設関連事業	件	目標値	0	0	0	0
			実績値	0	0	0	
			達成度(%)	%	%	%	%
	平井歴史資料室入室者数	人	目標値	1500	1500	1500	1500
		実績値	1066	1026	1209		
		達成度(%)	71.1%	68.4%	80.6%	%	

4 事業の評価

評価基準					
[妥当性]事業のニーズはあるか		増加している	○	横ばい	減少している
[妥当性]事業手段は妥当か	○	現行の手段でよい		一部見直しが必要	見直しが必要
[妥当性]官民の役割は妥当か	○	市が行うべき		他の主体との協働も可能	市が行う必要性は薄れている
[妥当性]緊急的に取り組む必要はあるか		急いで取り組む	○	中長期的に取り組む	緊急性は薄い
[有効性]更に効果が期待できるか		できる	○	あまりできない	できない
[有効性]成果目標ほどの程度達成しているか		達成している (90%以上)		おおむね達成 (70~90%未満)	○ 達成していない (70%未満)
[有効性]上位施策への貢献度		重要かつ高い貢献度がある	○	一定の貢献度がある	貢献度は低い
[効率性]事業費を抑制できるか	○	できない		制約はあるが可能性はある	できる
[効率性]受益者負担の見直し		適正	○	負担は求められない	見直しが必要

5 今後の方向性 (担当課評価)

事業内容の方向性	充実				
	現状維持			○	
	縮小				
	廃止				
		ゼロ	縮小	現状維持	拡大
コスト投入の方向性					

担当課評価の根拠	開館当初に比べ入室者数が減少しているが、小学生が参加できるイベント等を開催し、入室者数の増加を図っている。
見直し・改善内容	より多くの学校等の団体に歴史教育の場として利用してもらえるよう広報していく必要がある。

事務事業チェックシート

事務事業No

事業名

[事業基本情報]

11297

旧中筋家住宅公開事業

[長期総合計画]

分野別目標	2	住みたいと選ばれる魅力があふれるまち
政策	5	郷土に誇りと愛着を育む文化・スポーツの振興と生涯学習の推進
施策	3	文化財の保護・活用
取組方針	2	文化財の活用

事業区分(1)	事業経費	○	管理経費	
	その他			
事業区分(2)	自治事務	○	法定受託事務	
	その他			
会計・ 予算区分	会計	一般会計		
	款	総務費		
	項	文化スポーツ費		
	目	文化財保護費		
	大事業	文化財保護事業		
中事業	旧中筋家住宅公開事業			

事業種別	継続		関連個別計画				
事業年度	無し	～	無し	担当課・担当課長・Tel	文化振興課	福田 幸誠	435-1194
事業実施の根拠法令	文化財保護法		関連課				

1 事業内容

事業目的	(「誰・何」をどういう状態にするための事業か)			全体事業概要		
	国指定文化財旧中筋家住宅の維持管理及び運営を行う。			国指定文化財旧中筋家住宅の維持管理及び運営を行う。		
事業内容	令和04年度	令和05年度	令和06年度	令和07年度	令和08年度	
	国指定文化財旧中筋家住宅の維持管理及び運営を行う。 観覧者数 912人	国指定文化財旧中筋家住宅の維持管理及び運営を行う。 観覧者数 1,033人	国指定文化財旧中筋家住宅の維持管理及び運営を行う。 観覧者数 926人	国指定文化財旧中筋家住宅の維持管理及び運営を行う。		

2 事業コスト

事業費等(千円)	令和04年度		令和05年度		令和06年度		令和07年度		令和08年度	
	当初予算	決算	当初予算	決算	当初予算	決算	当初予算	決算	計画	決算
事業費	3,068	2,954	3,040	2,879	3,081	3,196	3,171	0	3,171	0
伸び率(%)	△0.1%	△1%	△0.9%	△2.5%	1.3%	11%	2.9%	△100%	0%	0%
人件費	正規職員	5,198	6,516	8,175	8,019	8,026	7,715	7,559	0	0
	正規職員以外	6,067	6,067	6,095	6,095	6,116	5,825	5,825	0	0
	小計	11,265	12,583	14,270	14,114	14,142	13,540	13,384	0	0
国庫支出金	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
県支出金	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
市債	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
その他	120	65	120	71	120	127	120	0	120	0
一般財源(税等)	2,948	2,889	2,920	2,808	2,961	3,069	3,051	0	3,051	0
所要人数(人)	正規職員	0.67	0.84	1.05	1.03	1.03	0.99	0.97	0.00	0.00
	正規職員以外	2.99	2.99	2.99	2.99	2.99	2.84	2.84	0.00	0.00
主な予算内訳	土地借上料 768千円 管理委託料 706千円									

3 目標及び実績

活動指標	指標名	単位	令和04年度	令和05年度	令和06年度	令和07年度	令和08年度
			目標値	実績値	達成度(%)	目標値	実績値
開場日数	日	目標値	90	90	90	90	
		実績値	94	98	89		
		達成度(%)	104.4%	108.8%	99%	%	%
自主事業開催数	回	目標値	10	10	10	10	
		実績値	10	9	8		
		達成度(%)	100%	90%	80%	%	%
文化財関連施設入館者数(旧中筋家住宅)	人	目標値	1700	1700	1700	1700	
		実績値	912	1033	926		
		達成度(%)	53.6%	60.7%	54.4%	%	%
		目標値					
成果指標		実績値					
		達成度(%)					

4 事業の評価

評価基準					
[妥当性]事業のニーズはあるか		増加している	○	横ばい	減少している
[妥当性]事業手段は妥当か	○	現行の手段でよい		一部見直しが必要	見直しが必要
[妥当性]官民の役割は妥当か		市が行うべき	○	他の主体との協働も可能	市が行う必要性は薄れている
[妥当性]緊急的に取り組む必要があるか		急いで取り組む	○	中長期的に取り組む	緊急性は薄い
[有効性]更に効果が期待できるか		できる	○	あまりできない	できない
[有効性]成果目標ほどの程度達成しているか		達成している (90%以上)		おおむね達成 (70~90%未満)	○ 達成していない (70%未満)
[有効性]上位施策への貢献度		重要かつ高い貢献度がある	○	一定の貢献度がある	貢献度は低い
[効率性]事業費を抑制できるか	○	できない		制約はあるが可能性はある	できる
[効率性]受益者負担の見直し	○	適正		負担は求められない	見直しが必要

5 今後の方向性 (担当課評価)

事業内容の方向性	充実				
	現状維持			○	
	縮小				
	廃止				
		ゼロ	縮小	現状維持	拡大
コスト投入の方向性					

担当課評価の根拠	平成22年度の公開以来、様々な自主事業を行い、観覧者数の増加を図っている。令和4年度は新型コロナウイルス感染症の影響で観覧者数が減少した。
見直し・改善内容	より広範囲な広報活動（ホームページ、インターネットの活用を含めて）により周知を図り、一過性でない観覧者数の増加を目指す。また学校関係や地元自治会等との連携を強め、様々な利用方法を探る。

4 事業の評価

評価基準				
[妥当性]事業のニーズはあるか	○	増加している		横ばい
[妥当性]事業手段は妥当か	○	現行の手段でよい		一部見直しが必要
[妥当性]官民の役割は妥当か	○	市が行うべき		他の主体との協働も可能
[妥当性]緊急的に取り組む必要があるか		急いで取り組む	○	中長期的に取り組む
[有効性]更に効果が期待できるか		できる	○	あまりできない
[有効性]成果目標ほどの程度達成しているか	○	達成している (90%以上)		おおむね達成 (70~90%未満)
[有効性]上位施策への貢献度	○	重要かつ高い貢献度がある		一定の貢献度がある
[効率性]事業費を抑制できるか	○	できない		制約はあるが可能性はある
[効率性]受益者負担の見直し		適正	○	負担は求められない
				減少している
				見直しが必要
				市が行う必要性は薄れている
				緊急性は薄い
				できない
				達成していない (70%未満)
				貢献度は低い
				できる
				見直しが必要

5 今後の方向性 (担当課評価)

事業内容の方向性	充実				
	現状維持			○	
	縮小				
	廃止				
		ゼロ	縮小	現状維持	拡大
コスト投入の方向性					

担当課評価の根拠	市内の文化遺産の保存・活用を適切に行い、周知向上に努め、本市の歴史を後世に伝えていく事業である。
見直し・改善内容	市指定文化財について、各分野の候補を文化財保護委員の指導を受け、計画的に指定していくこととした。

事務事業チェックシート

事務事業No

事業名

[事業基本情報]

13002

湊御殿管理運営事業

[長期総合計画]

分野別目標	2	住みたいと選ばれる魅力があふれるまち
政策	5	郷土に誇りと愛着を育む文化・スポーツの振興と生涯学習の推進
施策	3	文化財の保護・活用
取組方針	2	文化財の活用

事業区分(1)	事業経費	○	管理経費	
	その他			
事業区分(2)	自治事務	○	法定受託事務	
	その他			
会計・ 予算区分	会計	一般会計		
	款	総務費		
	項	文化スポーツ費		
	目	文化財保護費		
	大事業	文化財保護事業		
	中事業	湊御殿管理運営事業		

事業種別	継続		関連個別計画			
事業年度	無し	～	無し	担当課・担当課長・Tel	文化振興課	福田 幸誠 435-1194
事業実施の根拠法令	和歌山市文化財保護条例		関連課			

1 事業内容

事業目的	(「誰・何」をどういう状態にするための事業か)		全体事業概要			
	市指定文化財(建造物)湊御殿を適切に維持管理する。		市指定文化財(建造物)湊御殿を適切に維持管理する。			
事業内容		令和04年度	令和05年度	令和06年度	令和07年度	令和08年度
		建物および庭園の維持管理、付属トイレの維持管理。観覧料及び施設使用料の徴収。観覧者数 4,539人	建物および庭園の維持管理、付属トイレの維持管理。観覧料及び施設使用料の徴収。観覧者数 3,887人	建物および庭園の維持管理、付属トイレの維持管理。観覧料及び施設使用料の徴収。観覧者数 3,634人	建物および庭園の維持管理、付属トイレの維持管理。観覧料及び施設使用料の徴収。	

2 事業コスト

事業費等(千円)	令和04年度		令和05年度		令和06年度		令和07年度		令和08年度	
	当初予算	決算	当初予算	決算	当初予算	決算	当初予算	決算	計画	決算
事業費	9,552	9,538	10,264	10,784	10,143	9,853	10,938	0	10,938	0
伸び率(%)	0%	1%	7.5%	13.1%	△1.2%	△8.6%	7.8%	△100%	0%	0%
人件費	正規職員	5,198	6,439	6,462	6,384	6,390	12,390	12,078	0	0
	正規職員以外	13,718	13,718	13,409	13,409	13,714	3,648	3,648	0	0
	小計	18,916	20,157	19,871	19,793	20,104	16,038	15,726	0	0
国庫支出金	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
県支出金	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
市債	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
その他	75	97	75	2	75	1	75	0	75	0
一般財源(税等)	9,477	9,441	10,189	10,782	10,068	9,852	10,863	0	10,863	0
所要人数(人)	正規職員	0.67	0.83	0.83	0.82	0.82	1.59	1.55	0.00	0.00
	正規職員以外	3.95	3.95	3.93	3.93	3.95	1.88	1.88	0.00	0.00
主な予算内訳	使用料及び賃借料(土地借上料) 5,550千円 植栽等委託料 2,398千円									

3 目標及び実績

活動指標	指標名	単位	令和04年度	令和05年度	令和06年度	令和07年度	令和08年度
			目標値	実績値	達成度(%)	目標値	実績値
開場日数	日	目標値	365	366	365	365	
		実績値	365	365	364		
		達成度(%)	100%	99.7%	99.7%	%	%
観覧者数	人	目標値	9000	9000	9000	9000	
		実績値	4539	3887	3634		
		達成度(%)	50.4%	43.1%	40.3%	%	%

4 事業の評価

評価基準					
[妥当性]事業のニーズはあるか		増加している	○	横ばい	減少している
[妥当性]事業手段は妥当か	○	現行の手段でよい		一部見直しが必要	見直しが必要
[妥当性]官民の役割は妥当か	○	市が行うべき		他の主体との協働も可能	市が行う必要性は薄れている
[妥当性]緊急的に取り組む必要はあるか		急いで取り組む	○	中長期的に取り組む	緊急性は薄い
[有効性]更に効果が期待できるか		できる	○	あまりできない	できない
[有効性]成果目標はどの程度達成しているか		達成している (90%以上)		おおむね達成 (70~90%未満)	○ 達成していない (70%未満)
[有効性]上位施策への貢献度		重要かつ高い貢献度がある	○	一定の貢献度がある	貢献度は低い
[効率性]事業費を抑制できるか	○	できない		制約はあるが可能性はある	できる
[効率性]受益者負担の見直し	○	適正		負担は求められない	見直しが必要

5 今後の方向性 (担当課評価)

事業内容の方向性	充実				
	現状維持			○	
	縮小				
	廃止				
		ゼロ	縮小	現状維持	拡大
コスト投入の方向性					

担当課評価の根拠	通年開場しているにもかかわらず、観覧者数が減少傾向となっているため、多くの人に来ていただける仕組み作りが必要となっている。令和4年度は新型コロナウイルスが蔓延していたが、団体客の茶室使用等もあり観覧者数が回復してきた。
見直し・改善内容	平成24年4月1日から観覧料を半額（一般100円）にするとともに、養翠園・和歌山城・旧中筋家住宅・市立博物館に1週間以内に入場した者は湊御殿観覧料を無料にし、観覧者数の増加を図っている。

事務事業チェックシート

事務事業No

事業名

[事業基本情報]

24445

歴史まちづくり文化財整備事業

[長期総合計画]

分野別目標	2	住みたいと選ばれる魅力があふれるまち
政策	5	郷土に誇りと愛着を育む文化・スポーツの振興と生涯学習の推進
施策	3	文化財の保護・活用
取組方針	2	文化財の活用

事業区分(1)	事業経費		管理経費	
	その他			
事業区分(2)	自治事務		法定受託事務	
	その他			
会計・ 予算区分	会計	一般会計		
	款	総務費		
	項	文化スポーツ費		
	目	文化財保護費		
	大事業	文化財保護事業		
	中事業	歴史まちづくり文化財整備事業		

事業種別	単年	関連個別計画	和歌山市歴史的風致維持向上計画		
事業年度	無し ~ 無し	担当課・担当課長・Tel	文化振興課	福田 幸誠	435-1194
事業実施の根拠法令	歴史まちづくり法	関連課	都市再生課		

1 事業内容

事業目的	(「誰・何」をどういう状態にするための事業か) 文化財の活用促進のための整備		全体事業概要 歴史的風致維持向上計画の重点地域で、指定文化財等の活用促進をはかるため、周辺整備及び文化財所有者による整備事業への補助を行う。		
	事業内容	令和04年度	令和05年度	令和06年度	令和07年度
			文化財及び周辺整備	文化財及び周辺整備	

2 事業コスト

事業費等(千円)	令和04年度		令和05年度		令和06年度		令和07年度		令和08年度	
	当初予算	決算	当初予算	決算	当初予算	決算	当初予算	決算	計画	決算
事業費	0	238	8,386	7,506	2,718	2,174	0	0	0	0
伸び率(%)	0%	0%	0%	3,053.8%	△67.6%	△71%	△100%	△100%	0%	0%
人件費	正規職員	0	0	0	0	3,117	3,039	0	0	0
	正規職員以外	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	小計	0	0	0	0	3,117	3,039	0	0	0
国庫支出金	0	0	4,193	3,753	1,359	1,087	0	0	0	0
県支出金	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
市債	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
その他	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
一般財源(税等)	0	238	4,193	3,753	1,359	1,087	0	0	0	0
所要人数(人)	正規職員	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.40	0.39	0.00	0.00
	正規職員以外	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
主な予算内訳	文化財関連整備補助金2,718千円									

3 目標及び実績

活動指標	指標名	単位		令和04年度	令和05年度	令和06年度	令和07年度	令和08年度
				目標値	実績値	達成度(%)	目標値	実績値
文化財及び周辺整備件数		件	目標値		1	1		
			実績値		1	1		
			達成度(%)	%	100%	100%	%	%
歴史的風致建造物指定数		件	目標値					
			実績値		0	0		
			達成度(%)	%	0%	0%	%	%
			目標値					
			実績値					
			達成度(%)					

4 事業の評価

評価基準				
[妥当性]事業のニーズはあるか	○	増加している	横ばい	減少している
[妥当性]事業手段は妥当か	○	現行の手段でよい	一部見直しが必要	見直しが必要
[妥当性]官民の役割は妥当か	○	市が行うべき	他の主体との協働も可能	市が行う必要性は薄れている
[妥当性]緊急的に取り組む必要があるか	○	急いで取り組む	中長期的に取り組む	緊急性は薄い
[有効性]更に効果が期待できるか	○	できる	あまりできない	できない
[有効性]成果目標ほどの程度達成しているか	○	達成している (90%以上)	おおむね達成 (70~90%未満)	達成していない (70%未満)
[有効性]上位施策への貢献度	○	重要かつ高い貢献度がある	一定の貢献度がある	貢献度は低い
[効率性]事業費を抑制できるか	○	できない	制約はあるが可能性はある	できる
[効率性]受益者負担の見直し	○	適正	負担は求められない	見直しが必要

5 今後の方向性 (担当課評価)

事業内容の方向性	充実				
	現状維持		○		
	縮小				
	廃止				
		ゼロ	縮小	現状維持	拡大
コスト投入の方向性					

担当課評価の根拠	歴史的風致維持向上計画の重点地域で、文化財等の活用推進をはかるため、周辺整備及び文化財所有者による整備事業への補助を行う業務である。
見直し・改善内容	全体計画との整合性及び個々の文化財所有者との調整。

事務事業チェックシート

事務事業No **12236** 事業名 **博物館施設維持管理事業**

[長期総合計画]

分野別目標	2	住みたいと選ばれる魅力があふれるまち
政策	5	郷土に誇りと愛着を育む文化・スポーツの振興と生涯学習の推進
施策	3	文化財の保護・活用
取組方針	2	文化財の活用

[事業基本情報]

事業区分(1)	事業経費		管理経費	○
	その他			
事業区分(2)	自治事務	○	法定受託事務	
	その他			
会計・ 予算区分	会計	一般会計		
	款	総務費		
	項	文化スポーツ費		
	目	博物館費		
	大事業	博物館事業		
中事業	博物館施設維持管理事業			

事業種別	継続		関連個別計画	
事業年度	無し	～	無し	担当課・担当課長・Tel 博物館 前田 敬彦 423-0003
事業実施の根拠法令	博物館法・文化財保護法・和歌山市立博物館条例		関連課	

1 事業内容

事業目的	(「誰・何」をどういう状態にするための事業か)		全体事業概要		
	博物館の運営・維持管理を円滑に行う。		博物館法に基づき、博物館の運営・維持管理を行う事業。賑わい創出のため、博物館基本計画に基づいた取組を実行する必要がある。		
事業内容	令和04年度	令和05年度	令和06年度	令和07年度	令和08年度
	博物館の運営・維持管理を行う。博物館基本計画に基づいた博物館のリニューアル等の施策に取り組む。	博物館の運営・維持管理を行う。博物館基本計画に基づいた博物館のリニューアル等の施策に取り組む。	博物館の運営・維持管理を行う。博物館基本計画に基づいた博物館のリニューアル等の施策に取り組む。	博物館の運営・維持管理を行う。博物館基本計画に基づいた博物館のリニューアル等の施策に取り組む。	博物館の運営・維持管理を行う。博物館基本計画に基づいた博物館のリニューアル等の施策に取り組む。

2 事業コスト

事業費等(千円)	令和04年度		令和05年度		令和06年度		令和07年度		令和08年度		
	当初予算	決算	当初予算	決算	当初予算	決算	当初予算	決算	計画	決算	
事業費	30,359	33,868	39,269	35,102	36,430	36,806	75,315	0	75,315	0	
伸び率(%)	△6.8%	△31.3%	29.3%	3.6%	△7.2%	4.9%	106.7%	△100%	0%	0%	
人件費	正規職員	6,594	6,439	7,941	7,941	6,468	10,130	11,221	0	11,221	0
	正規職員以外	4,827	4,456	4,447	4,447	4,489	3,050	4,040	0	4,040	0
	小計	11,421	10,895	12,388	12,388	10,957	13,180	15,261	0	15,261	0
国庫支出金	0	0	0	1,090	0	0	0	0	0	0	
県支出金	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
市債	0	0	0	0	0	0	35,100	0	35,100	0	
その他	1,343	1,469	1,798	1,701	2,407	1,641	2,624	0	2,624	0	
一般財源(税等)	29,016	32,399	37,471	32,311	34,023	35,165	37,591	0	37,591	0	
所要人数(人)	正規職員	0.85	0.83	1.02	1.02	0.83	1.30	1.44	0.00	1.44	0.00
	正規職員以外	2.09	1.81	1.81	1.81	1.81	1.54	1.78	0.00	1.78	0.00
主な予算内訳	管理委託料21,350千円 光熱水費10,369千円 展示その他委託料1,577千円										

3 目標及び実績

活動指標	指標名	単位		令和04年度	令和05年度	令和06年度	令和07年度	令和08年度
				目標値	実績値	達成度(%)	目標値	実績値
施設	施設の修繕箇所数	箇所	目標値	4	4	4	4	4
			実績値	4	7	4		
			達成度(%)	100%	175%	100%	%	%
成果指標	入館者数	人	目標値	18000	18000	18000	13000	13000
			実績値	9099	10589	11210		
			達成度(%)	50.1%	58.8%	62.3%	%	%

4 事業の評価

評価基準					
[妥当性]事業のニーズはあるか	○	増加している		横ばい	減少している
[妥当性]事業手段は妥当か		現行の手段でよい	○	一部見直しが必要	見直しが必要
[妥当性]官民の役割は妥当か	○	市が行うべき		他の主体との協働も可能	市が行う必要性は薄れている
[妥当性]緊急的に取り組む必要はあるか		急いで取り組む	○	中長期的に取り組む	緊急性は薄い
[有効性]更に効果が期待できるか		できる	○	あまりできない	できない
[有効性]成果目標ほどの程度達成しているか		達成している (90%以上)		おおむね達成 (70~90%未満)	○ 達成していない (70%未満)
[有効性]上位施策への貢献度	○	重要かつ高い貢献度がある		一定の貢献度がある	貢献度は低い
[効率性]事業費を抑制できるか	○	できない		制約はあるが可能性はある	できる
[効率性]受益者負担の見直し	○	適正		負担は求められない	見直しが必要

5 今後の方向性 (担当課評価)

事業内容の方向性	充実			○	
	現状維持				
	縮小				
	廃止				
		ゼロ	縮小	現状維持	拡大
コスト投入の方向性					

担当課評価の根拠	博物館の施設及び設備について、老朽化による劣化が進んでいる。計画的に対処していく。 また、歴史・文化を継承するとともに、親しまれる博物館にするため、また賑わい増加を図るための取組を行っていく。
見直し・改善内容	老朽化対策と魅力的な博物館づくりを目的として、リニューアルの方向性や内容を検討していく必要がある。

4 事業の評価

評価基準					
[妥当性]事業のニーズはあるか		増加している	○	横ばい	減少している
[妥当性]事業手段は妥当か	○	現行の手段でよい		一部見直しが必要	見直しが必要
[妥当性]官民の役割は妥当か	○	市が行うべき		他の主体との協働も可能	市が行う必要性は薄れている
[妥当性]緊急的に取り組む必要があるか		急いで取り組む	○	中長期的に取り組む	緊急性は薄い
[有効性]更に効果が期待できるか	○	できる		あまりできない	できない
[有効性]成果目標ほどの程度達成しているか	○	達成している (90%以上)		おおむね達成 (70~90%未満)	達成していない (70%未満)
[有効性]上位施策への貢献度		重要かつ高い貢献度がある	○	一定の貢献度がある	貢献度は低い
[効率性]事業費を抑制できるか	○	できない		制約はあるが可能性はある	できる
[効率性]受益者負担の見直し	○	適正		負担は求められない	見直しが必要

5 今後の方向性 (担当課評価)

事業内容の方向性	充実				
	現状維持			○	
	縮小				
	廃止				
		ゼロ	縮小	現状維持	拡大
コスト投入の方向性					

担当課評価の根拠	市史資料管理事業は、市史編纂事業関係の資料分析・公表や、和歌山市が刊行した『和歌山市史』の著作権の管理を行う事業であり、継続する必要がある。
見直し・改善内容	市町村合併関係資料や旧町村役場文書、戦争関係資料、国体などの各イベント関係資料など多大な資料について調査・研究し、保管・管理を検討していく必要がある。

事務事業チェックシート

事務事業No

事業名

[事業基本情報]

12238

展示資料充実事業

[長期総合計画]

分野別目標	2	住みたいと選ばれる魅力があふれるまち
政策	5	郷土に誇りと愛着を育む文化・スポーツの振興と生涯学習の推進
施策	3	文化財の保護・活用
取組方針	2	文化財の活用

事業区分(1)	事業経費	○	管理経費	
	その他			
事業区分(2)	自治事務	○	法定受託事務	
	その他			
会計・ 予算区分	会計	一般会計		
	款	総務費		
	項	文化スポーツ費		
	目	博物館費		
	大事業	博物館事業		
中事業	展示資料充実事業			

事業種別	継続		関連個別計画			
事業年度	無し	～	無し	担当課・担当課長・Tel	博物館	前田 敬彦 423-0003
事業実施の根拠法令	博物館法・文化財保護法・和歌山市立博物館条例		関連課			

1 事業内容

事業目的	(「誰・何」をどういう状態にするための事業か)		全体事業概要			
	和歌山市に関する貴重な資料を購入するとともに、郷土資料の寄贈・収集により、資料の充実を図る		展示の役に立てるため、資料の購入・寄贈受入等により、博物館資料の充実を図る。			
事業内容	令和04年度	令和05年度	令和06年度	令和07年度	令和08年度	
	郷土資料の寄贈・収集により、資料の充実を図る。	郷土資料の寄贈受入や収集により、資料の充実を図る。	郷土資料の寄贈受入や収集により、資料の充実を図る。	郷土資料の寄贈受入や収集により、資料の充実を図る。	郷土資料の寄贈受入や収集により、資料の充実を図る。	郷土資料の寄贈受入や収集により、資料の充実を図る。

2 事業コスト

事業費等(千円)	令和04年度		令和05年度		令和06年度		令和07年度		令和08年度		
	当初予算	決算	当初予算	決算	当初予算	決算	当初予算	決算	計画	決算	
事業費	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
伸び率(%)	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	
人件費	正規職員	0	1,629	2,025	2,025	1,637	1,247	1,325	0	1,325	0
	正規職員以外	0	0	0	500	510	0	207	0	207	0
	小計	0	1,629	2,025	2,525	2,147	1,247	1,532	0	1,532	0
国庫支出金	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
県支出金	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
市債	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
その他	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
一般財源(税等)	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
所要人数(人)	正規職員	0.00	0.21	0.26	0.26	0.21	0.16	0.17	0.00	0.17	0.00
	正規職員以外	0.00	0.00	0.00	0.10	0.10	0.00	0.05	0.00	0.05	0.00
主な予算内訳	0円										

3 目標及び実績

活動指標	指標名	単位		令和04年度	令和05年度	令和06年度	令和07年度	令和08年度
				目標値	実績値	達成度(%)	目標値	実績値
資料購入評価委員会の年間開催数		回	目標値	0	0	0	0	0
			実績値	0	0	0	0	0
			達成度(%)	0%	0%	%	%	%
購入資料件数		件	目標値	0	0	0	0	0
			実績値	0	0	0	0	0
			達成度(%)	0%	0%	%	%	%
寄贈件数		件	目標値	10	10	15	15	15
			実績値	15	17	10		
			達成度(%)	150%	170%	66%	%	%

4 事業の評価

評価基準					
[妥当性]事業のニーズはあるか	○	増加している		横ばい	減少している
[妥当性]事業手段は妥当か	○	現行の手段でよい		一部見直しが必要	見直しが必要
[妥当性]官民の役割は妥当か	○	市が行うべき		他の主体との協働も可能	市が行う必要性は薄れている
[妥当性]緊急的に取り組む必要はあるか		急いで取り組む	○	中長期的に取り組む	緊急性は薄い
[有効性]更に効果が期待できるか	○	できる		あまりできない	できない
[有効性]成果目標ほどの程度達成しているか		達成している (90%以上)		おおむね達成 (70~90%未満)	○ 達成していない (70%未満)
[有効性]上位施策への貢献度		重要かつ高い貢献度がある	○	一定の貢献度がある	貢献度は低い
[効率性]事業費を抑制できるか	○	できない		制約はあるが可能性はある	できる
[効率性]受益者負担の見直し	○	適正		負担は求められない	見直しが必要

5 今後の方向性 (担当課評価)

事業内容の方向性	充実				
	現状維持			○	
	縮小				
	廃止				
		ゼロ	縮小	現状維持	拡大
コスト投入の方向性					

担当課評価の根拠	和歌山の歴史・文化に係る調査研究に必要な資料の収集を継続しており、館蔵資料の充実を進めることにより、より充実した展覧会の開催ができると考える。
見直し・改善内容	コレクターが収集した資料が、代替わり等により手放されるケースが増えている。本市にとって残すべき資料について、精査の上、保管に努めていく。

事務事業チェックシート

事務事業No

事業名

[事業基本情報]

12239

常設展示室整備事業

[長期総合計画]

分野別目標	2	住みたいと選ばれる魅力があふれるまち
政策	5	郷土に誇りと愛着を育む文化・スポーツの振興と生涯学習の推進
施策	3	文化財の保護・活用
取組方針	2	文化財の活用

事業区分(1)	事業経費	○	管理経費	
	その他			
事業区分(2)	自治事務	○	法定受託事務	
	その他			
会計・ 予算区分	会計	一般会計		
	款	総務費		
	項	文化スポーツ費		
	目	博物館費		
	大事業	博物館事業		
	中事業	常設展示室整備事業		

事業種別	継続		関連個別計画			
事業年度	無し	～	無し	担当課・担当課長・Tel	博物館	前田 敬彦 423-0003
事業実施の根拠法令	博物館法・文化財保護法・和歌山市立博物館条例		関連課			

1 事業内容

事業目的	(「誰・何」をどういう状態にするための事業か)		全体事業概要			
	常設展示の計画的な展示替えを行うとともにコーナー展示を行い多くの館蔵品を市民に公開する。		常設展示室の展示替えを適時行い、新しい資料を公開する。			
事業内容	令和04年度	令和05年度	令和06年度	令和07年度	令和08年度	
	年数回の展示替えを行う。館の魅力を増加させ、市民に関心を持ってもらうため、缶マグネットの発行やぬり絵の作成・無料配布を行う。	年20回程度の展示替えを行う。館の魅力を増加させ、市民に関心を持ってもらうため、グッズの発行やぬり絵の作成・無料配布を行う。	年20回程度の展示替えを行う。館の魅力を増加させ、市民に関心を持ってもらうため、グッズの発行やぬり絵の作成・無料配布を行う。	年30回程度の展示替えを行う。館の魅力を増加させ、市民に関心を持ってもらうため、グッズの発行やぬり絵の作成・無料配布を行う。	年30回程度の展示替えを行う。館の魅力を増加させ、市民に関心を持ってもらうため、グッズの発行やぬり絵の作成・無料配布を行う。	年30回程度の展示替えを行う。館の魅力を増加させ、市民に関心を持ってもらうため、グッズの発行やぬり絵の作成・無料配布を行う。

2 事業コスト

事業費等(千円)	令和04年度		令和05年度		令和06年度		令和07年度		令和08年度	
	当初予算	決算	当初予算	決算	当初予算	決算	当初予算	決算	計画	決算
事業費	129	129	250	250	10	8	10	0	10	0
伸び率(%)	2,050%	2,050%	93.8%	93.8%	△96%	△96.8%	0%	△100%	0%	0%
人件費	正規職員	3,258	1,629	2,025	2,025	1,637	1,637	1,793	0	1,793
	正規職員以外	257	514	500	500	510	0	207	0	207
	小計	3,515	2,143	2,525	2,525	2,147	1,637	2,000	0	2,000
国庫支出金	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
県支出金	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
市債	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
その他	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
一般財源(税等)	129	129	250	250	10	8	10	0	10	0
所要人数(人)	正規職員	0.42	0.21	0.26	0.26	0.21	0.21	0.23	0.00	0.23
	正規職員以外	0.05	0.10	0.10	0.10	0.10	0.00	0.05	0.00	0.05
主な予算内訳	消耗品費10千円									

3 目標及び実績

活動指標	指標名	単位	令和04年度	令和05年度	令和06年度	令和07年度	令和08年度
			目標値	実績値	達成度(%)	目標値	実績値
活動指標	コーナー展示と常設展示の展示入替の回数	回	15	18	20	30	30
			18	24	36		
			120%	133%	130%	%	%
成果指標	常設展の入館者数	人	4000	4000	3500	2000	2000
			2152	2942	1436		
			53.8%	73.6%	41.0%	%	%
活動指標	コーナー展示と常設展示の展示入替の回数	回	目標値				
			実績値				
			達成度(%)				
成果指標	常設展の入館者数	人	目標値				
			実績値				
			達成度(%)				

4 事業の評価

評価基準					
[妥当性]事業のニーズはあるか	○	増加している		横ばい	減少している
[妥当性]事業手段は妥当か		現行の手段でよい	○	一部見直しが必要	見直しが必要
[妥当性]官民の役割は妥当か	○	市が行うべき		他の主体との協働も可能	市が行う必要性は薄れている
[妥当性]緊急的に取り組む必要があるか		急いで取り組む	○	中長期的に取り組む	緊急性は薄い
[有効性]更に効果が期待できるか	○	できる		あまりできない	できない
[有効性]成果目標はどの程度達成しているか		達成している (90%以上)		おおむね達成 (70~90%未満)	○ 達成していない (70%未満)
[有効性]上位施策への貢献度		重要かつ高い貢献度がある	○	一定の貢献度がある	貢献度は低い
[効率性]事業費を抑制できるか	○	できない		制約はあるが可能性はある	できる
[効率性]受益者負担の見直し	○	適正		負担は求められない	見直しが必要

5 今後の方向性 (担当課評価)

事業内容の方向性	充実				
	現状維持			○	
	縮小				
	廃止				
		ゼロ	縮小	現状維持	拡大
コスト投入の方向性					

担当課評価の根拠	<p>常設展示室では、テーマを設定して定期的に資料を入れ替えるコーナー展示など、展示にメリハリをつけている。コーナー展示以外にも常設展示資料の入れ替えを積極的に行うとともに、各時代の説明文の多言語化を実施するなど入館者数の増加に努めている。また、缶マグネットの発行やぬり絵の配布で、より多くの市民に関心を持ってもらえるよう取り組んでいる。</p> <p>特別展示室の稼働率を高めた結果、常設展のみの開館日数が減少するため、入館者数は減少傾向にある。</p>
見直し・改善内容	<p>今後も常設展示室内の展示内容の更新を積極的に実施し、新たなイベントを開催するなど様々な方法でリピーターを獲得し、入館者数の増加につなげていく必要がある。</p>

事務事業チェックシート

事務事業No

事業名

[事業基本情報]

12241

調査研究事業

[長期総合計画]

分野別目標	2	住みたいと選ばれる魅力があふれるまち
政策	5	郷土に誇りと愛着を育む文化・スポーツの振興と生涯学習の推進
施策	3	文化財の保護・活用
取組方針	2	文化財の活用

事業区分(1)	事業経費	○	管理経費	
	その他			
事業区分(2)	自治事務	○	法定受託事務	
	その他			
会計・ 予算区分	会計	一般会計		
	款	総務費		
	項	文化スポーツ費		
	目	博物館費		
	大事業	博物館事業		
	中事業	調査研究事業		

事業種別	継続		関連個別計画	
事業年度	無し	～	無し	担当課・担当課長・Tel 博物館 前田 敬彦 423-0003
事業実施の根拠法令	博物館法・文化財保護法・和歌山市立博物館条例		関連課	

1 事業内容

	(「誰・何」をどういう状態にするための事業か)		全体事業概要			
事業目的	将来の特別展に関する資料の調査や和歌山と関連の深い文化財の研究を行う。		将来の特別展に関する資料の調査や和歌山と関連の深い文化財の研究を行う事業であり、博物館活動の根拠を支える基本的な事業。			
事業内容		令和04年度	令和05年度	令和06年度	令和07年度	令和08年度
		将来の特別展に関する資料の調査や和歌山と関連の深い文化財の研究を行う。調査成果は、特別展図録や研究紀要で随時公表する。	将来の特別展・企画展(春・夏・秋)に関する資料の調査や和歌山と関連の深い文化財の研究を行う。調査成果は、展示会に反映するとともに特別展図録や研究紀要で随時公表する。	将来の特別展・企画展(春・夏・秋)に関する資料の調査や和歌山と関連の深い文化財の研究を行う。調査成果は、展示会に反映するとともに特別展図録や研究紀要で随時公表する。	将来の特別展・企画展(春・夏・秋)に関する資料の調査や和歌山と関連の深い文化財の研究を行う。調査成果は、展示会に反映するとともに特別展図録や研究紀要で随時公表する。	将来の特別展・企画展(春・夏・秋)に関する資料の調査や和歌山と関連の深い文化財の研究を行う。調査成果は、展示会に反映するとともに特別展図録や研究紀要で随時公表する。

2 事業コスト

事業費等(千円)	令和04年度		令和05年度		令和06年度		令和07年度		令和08年度	
	当初予算	決算	当初予算	決算	当初予算	決算	当初予算	決算	計画	決算
事業費	606	586	731	659	731	608	824	0	824	0
伸び率(%)	70.7%	32%	20.6%	12.5%	0%	△7.7%	12.7%	△100%	0%	0%
人件費	正規職員	3,258	3,181	3,971	3,971	3,273	4,052	4,520	0	4,520
	正規職員以外	514	514	500	500	510	0	578	0	578
	小計	3,772	3,695	4,471	4,471	3,783	4,052	5,098	0	5,098
国庫支出金	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
県支出金	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
市債	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
その他	225	74	220	70	240	64	240	0	240	0
一般財源(税等)	381	512	511	589	491	544	584	0	584	0
所要人数(人)	正規職員	0.42	0.41	0.51	0.51	0.42	0.52	0.58	0.00	0.58
	正規職員以外	0.10	0.10	0.10	0.10	0.10	0.00	0.14	0.00	0.14
主な予算内訳	印刷製本費726千円									

3 目標及び実績

活動指標	指標名	単位	令和04年度	令和05年度	令和06年度	令和07年度	令和08年度
			目標値	実績値	達成度(%)	目標値	実績値
研究紀要掲載論文本数		本	7	7	7	7	7
			6	8	6		
			85.7%	114.3%	85.7%	%	%
調査資料件数		件	120	400	400	400	400
			103	424	412		
			85.8%	106%	103%	%	%
出陳資料件数		件	120	400	400	400	400
			103	424	412		
			85.8%	106%	103%	%	%
成果指標			目標値				
			実績値				
			達成度(%)				

4 事業の評価

評価基準					
[妥当性]事業のニーズはあるか	○	増加している		横ばい	減少している
[妥当性]事業手段は妥当か	○	現行の手段でよい		一部見直しが必要	見直しが必要
[妥当性]官民の役割は妥当か	○	市が行うべき		他の主体との協働も可能	市が行う必要性は薄れている
[妥当性]緊急的に取り組む必要はあるか		急いで取り組む	○	中長期的に取り組む	緊急性は薄い
[有効性]更に効果が期待できるか	○	できる		あまりできない	できない
[有効性]成果目標ほどの程度達成しているか	○	達成している (90%以上)		おおむね達成 (70~90%未満)	達成していない (70%未満)
[有効性]上位施策への貢献度		重要かつ高い貢献度がある	○	一定の貢献度がある	貢献度は低い
[効率性]事業費を抑制できるか	○	できない		制約はあるが可能性はある	できる
[効率性]受益者負担の見直し	○	適正		負担は求められない	見直しが必要

5 今後の方向性 (担当課評価)

事業内容の方向性	充実				
	現状維持			○	
	縮小				
	廃止				
		ゼロ	縮小	現状維持	拡大
コスト投入の方向性					

担当課評価の根拠	調査研究事業は、和歌山市の歴史を解明する基礎的な事業で、将来の特別展の準備作業であるとともに、和歌山市の歴史の記録を解明し、将来に伝える重要な事業であるため、継続する必要がある。
見直し・改善内容	調査研究は、和歌山市の歴史の解明や特別展等を行う際の基礎となる重要な事業である。現在の環境の中で継続する必要がある。

事務事業チェックシート

事務事業No

事業名

[事業基本情報]

12242

企画展開催事業

[長期総合計画]

分野別目標	2	住みたいと選ばれる魅力があふれるまち
政策	5	郷土に誇りと愛着を育む文化・スポーツの振興と生涯学習の推進
施策	3	文化財の保護・活用
取組方針	2	文化財の活用

事業区分(1)	事業経費	○	管理経費	
	その他			
事業区分(2)	自治事務	○	法定受託事務	
	その他			
会計・ 予算区分	会計	一般会計		
	款	総務費		
	項	文化スポーツ費		
	目	博物館費		
	大事業	博物館事業		
	中事業	企画展開催事業		

事業種別	継続		関連個別計画				
事業年度	無し	～	無し	担当課・担当課長・Tel	博物館	前田	423-0003
事業実施の根拠法令	博物館法・文化財保護法・和歌山市立博物館条例		関連課				

1 事業内容

事業目的	(「誰・何」をどういう状態にするための事業か)		全体事業概要				
	館蔵資料を広く市民に紹介し、和歌山市の歴史・文化の魅力を伝える。		館蔵資料を広く市民に紹介し、和歌山市の歴史・文化の魅力を伝えるため、年に3～4回企画展を開催する。				
事業内容			令和04年度	令和05年度	令和06年度	令和07年度	令和08年度
			春・夏・秋は館蔵資料を中心にした展覧会を開催し、冬には小学生の社会科の授業に合わせた展覧会を開催する。	春・夏・秋は館蔵資料を中心にした展覧会を開催し、冬は小学生の社会科の授業に合わせた展覧会を開催する。	春・夏・秋は館蔵資料を中心にした展覧会を開催し、冬は小学生の社会科の授業に合わせた展覧会を開催する。	春・夏は館蔵資料を中心にした展覧会を開催し、冬は小学生の社会科の授業に合わせた展覧会を開催する。	春・夏・秋は館蔵資料を中心にした展覧会を開催し、冬は小学生の社会科の授業に合わせた展覧会を開催する。

2 事業コスト

事業費等(千円)	令和04年度		令和05年度		令和06年度		令和07年度		令和08年度		
	当初予算	決算	当初予算	決算	当初予算	決算	当初予算	決算	計画	決算	
事業費	387	381	398	397	1,171	1,020	0	0	0	0	
伸び率(%)	9.3%	7.6%	2.8%	4.2%	194.2%	156.9%	△100%	△100%	0%	0%	
人件費	正規職員	6,594	6,439	7,941	7,941	6,468	8,104	8,961	0	8,961	
	正規職員以外	514	953	942	942	954	444	1,228	0	1,228	
	小計	7,108	7,392	8,883	8,883	7,422	8,548	10,189	0	10,189	
国庫支出金	139	164	142	197	585	509	0	0	0	0	
県支出金	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
市債	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
その他	108	129	113	186	113	272	0	0	0	0	
一般財源(税等)	140	88	143	14	473	239	0	0	0	0	
所要人数(人)	正規職員	0.85	0.83	1.02	1.02	0.83	1.04	1.15	0.00	1.15	0.00
	正規職員以外	0.10	0.32	0.32	0.32	0.32	0.22	0.41	0.00	0.41	0.00
主な予算内訳	印刷製本費673千円 展示その他委託料384千円										

3 目標及び実績

活動指標	指標名	単位	令和04年度	令和05年度	令和06年度	令和07年度	令和08年度
			目標値	実績値	達成度(%)	目標値	実績値
企画展開館日数		日	目標値	83	150	150	150
			実績値	180	133	181	
			達成度(%)	216.9%	88.7%	120.7%	%
企画展入館者数		人	目標値	3600	4800	6000	6000
			実績値	5130	5993	7620	
			達成度(%)	142.5%	124.9%	127%	%
成果指標			目標値				
			実績値				
			達成度(%)				

4 事業の評価

評価基準					
[妥当性]事業のニーズはあるか	○	増加している		横ばい	減少している
[妥当性]事業手段は妥当か	○	現行の手段でよい		一部見直しが必要	見直しが必要
[妥当性]官民の役割は妥当か	○	市が行うべき		他の主体との協働も可能	市が行う必要性は薄れている
[妥当性]緊急的に取り組む必要があるか		急いで取り組む	○	中長期的に取り組む	緊急性は薄い
[有効性]更に効果が期待できるか	○	できる		あまりできない	できない
[有効性]成果目標ほどの程度達成しているか	○	達成している (90%以上)		おおむね達成 (70~90%未満)	達成していない (70%未満)
[有効性]上位施策への貢献度		重要かつ高い貢献度がある	○	一定の貢献度がある	貢献度は低い
[効率性]事業費を抑制できるか		できない	○	制約はあるが可能性はある	できる
[効率性]受益者負担の見直し	○	適正		負担は求められない	見直しが必要

5 今後の方向性 (担当課評価)

事業内容の方向性	充実				
	現状維持		○		
	縮小				
	廃止				
		ゼロ	縮小	現状維持	拡大
コスト投入の方向性					

担当課評価の根拠	<p>本事業は、収蔵資料を元に開催する事業である。企画展の開催回数を多くし、展示室の稼働率を高め、集客に効果が出ている。</p> <p>また、小学校の社会科の単元に対応した教育プログラムを実施し、小学校の団体を学芸員が案内して学習効果を高めている。例年、市内の小学校の大半が授業で来館するなど、学校教育との連携がとれている。</p>
見直し・改善内容	<p>より多くの人に収蔵資料を見て和歌山の歴史・文化を知ってもらうために、興味を持たれそうなテーマや内容を考慮していく。また、現在の環境でより学習効果が高くなるよう、案内方法の工夫などを検討する。</p>

事務事業チェックシート

事務事業No

事業名

[事業基本情報]

12243

特別展開催事業

[長期総合計画]

分野別目標	2	住みたいと選ばれる魅力があふれるまち
政策	5	郷土に誇りと愛着を育む文化・スポーツの振興と生涯学習の推進
施策	3	文化財の保護・活用
取組方針	2	文化財の活用

事業区分(1)	事業経費	○	管理経費	
	その他			
事業区分(2)	自治事務	○	法定受託事務	
	その他			
会計・ 予算区分	会計	一般会計		
	款	総務費		
	項	文化スポーツ費		
	目	博物館費		
	大事業	博物館事業		
	中事業	特別展開催事業		

事業種別	継続		関連個別計画	
事業年度	無し	～	無し	担当課・担当課長・Tel
事業実施の根拠法令	博物館法・文化財保護法・和歌山市立博物館条例		関連課	博物館 前田 敬彦 423-0003

1 事業内容

事業目的	(「誰・何」をどういう状態にするための事業か)		全体事業概要			
	市民等の和歌山の歴史・文化に対する意識の向上を図ることを目的として展覧会を実施し、入館者増加へつなげる。		地域に密着したテーマや和歌山に関連するテーマを年度ごとに選び、展覧会を開催することにより、市民等の和歌山の歴史・文化に対する意識の向上を図る。			
事業内容		令和04年度	令和05年度	令和06年度	令和07年度	令和08年度
		表千家と紀州藩に関する展覧会を開催する。	葛城修験に関する展覧会を開催する。	万葉1300年関連事業として、和歌の浦に関する展覧会を開催する。	徳川治宝ゆかりの絵画や近世の画家に焦点を当てた展覧会を開催する。	地域に密着したテーマや和歌山に関連するテーマの展覧会を開催する。

2 事業コスト

事業費等(千円)	令和04年度		令和05年度		令和06年度		令和07年度		令和08年度		
	当初予算	決算	当初予算	決算	当初予算	決算	当初予算	決算	計画	決算	
事業費	3,786	3,113	4,627	4,246	5,202	5,782	5,252	0	5,252	0	
伸び率(%)	19.7%	1.6%	22.2%	36.4%	12.4%	36.2%	1%	△100%	0%	0%	
人件費	正規職員	3,258	4,810	5,995	5,995	4,832	6,078	6,702	0	6,702	0
	正規職員以外	514	953	942	942	954	444	1,022	0	1,022	0
	小計	3,772	5,763	6,937	6,937	5,786	6,522	7,724	0	7,724	0
国庫支出金	1,286	1,447	1,697	2,101	2,591	2,390	1,932	0	1,932	0	
県支出金	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
市債	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
その他	1,150	858	1,210	1,268	1,300	1,488	1,360	0	1,360	0	
一般財源(税等)	1,350	808	1,720	877	1,311	1,904	1,960	0	1,960	0	
所要人数(人)	正規職員	0.42	0.62	0.77	0.77	0.62	0.78	0.86	0.00	0.86	0.00
	正規職員以外	0.10	0.32	0.32	0.32	0.32	0.22	0.36	0.00	0.36	0.00
主な予算内訳	消耗品費134千円 印刷製本費2,096千円 展示その他委託料2,751千円										

3 目標及び実績

活動指標	指標名	単位	年度				
			令和04年度	令和05年度	令和06年度	令和07年度	令和08年度
特別展開館日数	日	目標値	32	32	32	32	32
		実績値	25	37	44		
		達成度(%)	78.1%	115.6%	137.5%	%	%
特別展入館者数	人	目標値	2500	2500	2500	2500	2500
		実績値	1817	1654	2154		
		達成度(%)	72.7%	66.2%	86.2%	%	%

4 事業の評価

評価基準					
[妥当性]事業のニーズはあるか	○	増加している		横ばい	減少している
[妥当性]事業手段は妥当か		現行の手段でよい	○	一部見直しが必要	見直しが必要
[妥当性]官民の役割は妥当か	○	市が行うべき		他の主体との協働も可能	市が行う必要性は薄れている
[妥当性]緊急的に取り組む必要はあるか		急いで取り組む	○	中長期的に取り組む	緊急性は薄い
[有効性]更に効果が期待できるか	○	できる		あまりできない	できない
[有効性]成果目標ほどの程度達成しているか		達成している (90%以上)	○	おおむね達成 (70~90%未満)	達成していない (70%未満)
[有効性]上位施策への貢献度		重要かつ高い貢献度がある	○	一定の貢献度がある	貢献度は低い
[効率性]事業費を抑制できるか		できない	○	制約はあるが可能性はある	できる
[効率性]受益者負担の見直し	○	適正		負担は求められない	見直しが必要

5 今後の方向性 (担当課評価)

事業内容の方向性	充実				
	現状維持			○	
	縮小				
	廃止				
		ゼロ	縮小	現状維持	拡大
コスト投入の方向性					

担当課評価の根拠	和歌山の歴史に関する資料を県内外からも集めて、日頃見ることができない資料を展示する事業で、市民文化の向上に資する。
見直し・改善内容	現在の環境で最大限、市民のニーズを反映した展覧会の開催を検討していく必要がある。

4 事業の評価

評価基準					
[妥当性]事業のニーズはあるか		増加している	○	横ばい	減少している
[妥当性]事業手段は妥当か	○	現行の手段でよい		一部見直しが必要	見直しが必要
[妥当性]官民の役割は妥当か		市が行うべき	○	他の主体との協働も可能	市が行う必要性は薄れている
[妥当性]緊急的に取り組む必要はあるか		急いで取り組む	○	中長期的に取り組む	緊急性は薄い
[有効性]更に効果が期待できるか		できる	○	あまりできない	できない
[有効性]成果目標はどの程度達成しているか		達成している (90%以上)		おおむね達成 (70~90%未満)	○ 達成していない (70%未満)
[有効性]上位施策への貢献度		重要かつ高い貢献度がある	○	一定の貢献度がある	貢献度は低い
[効率性]事業費を抑制できるか		できない	○	制約はあるが可能性はある	できる
[効率性]受益者負担の見直し		適正	○	負担は求められない	見直しが必要

5 今後の方向性 (担当課評価)

事業内容の方向性	充実				
	現状維持		○		
	縮小				
	廃止				
		ゼロ	縮小	現状維持	拡大
コスト投入の方向性					

担当課評価の根拠	その地域のニーズに合ったスポーツ教室や、スポーツ大会を開催することで、子どもからお年寄りまで幅広い年齢の人たちが、スポーツを通じて、健康維持を図ることや、教室、大会に参加することで地域のコミュニティーを築くことができる。また、スポーツの振興、発展にも貢献できている。
見直し・改善内容	各地域が主催するスポーツ大会を通じ、地域住民間の交流やスポーツ振興に一定の貢献はあるが、今後は、開催内容について検討していく必要がある。

事務事業チェックシート

事務事業No

事業名

[事業基本情報]

10743

スポーツ推進委員との連携事業

[長期総合計画]

分野別目標	2	住みたいと選ばれる魅力があふれるまち
政策	5	郷土に誇りと愛着を育む文化・スポーツの振興と生涯学習の推進
施策	4	スポーツの振興
取組方針	1	生涯スポーツの振興

事業区分(1)	事業経費	○	管理経費	
	その他			
事業区分(2)	自治事務	○	法定受託事務	
	その他			
会計・ 予算区分	会計	一般会計		
	款	総務費		
	項	文化スポーツ費		
	目	スポーツ振興費		
	大事業	スポーツ振興事業		
	中事業	スポーツ推進委員との連携事業		

事業種別	継続		関連個別計画	和歌山市スポーツ振興計画		
事業年度	無し	～	無し	担当課・担当課長・Tel	スポーツ振興課	小山 千亜紀 435-1364
事業実施の根拠法令			関連課			

1 事業内容

事業目的	(「誰・何」をどういう状態にするための事業か)		全体事業概要		
	市事業への協力及び各地区でスポーツの振興を進めているスポーツ推進委員と連携を深め、スポーツ人口の増加を図る。		和歌山市の事業への協力及び各地区でのスポーツの振興を進めているスポーツ推進委員との連携強化に努めるとともに、スポーツ人口の増加、振興を図る。		
事業内容	令和04年度	令和05年度	令和06年度	令和07年度	令和08年度
	スポーツ推進委員に対する推進委員報酬の支出及び、スポーツ推進委員連盟に対し、交付金を支出する。	スポーツ推進委員に対する推進委員報酬の支出及び、スポーツ推進委員連盟に対し、交付金を支出する。	スポーツ推進委員に対する推進委員報酬の支出及び、スポーツ推進委員連盟に対し、交付金を支出する。	スポーツ推進委員に対する推進委員報酬の支出及び、スポーツ推進委員連盟に対し、交付金を支出する。	スポーツ推進委員に対する推進委員報酬の支出及び、スポーツ推進委員連盟に対し、交付金を支出する。

2 事業コスト

事業費等(千円)	令和04年度		令和05年度		令和06年度		令和07年度		令和08年度	
	当初予算	決算	当初予算	決算	当初予算	決算	当初予算	決算	計画	決算
事業費	1,412	1,472	1,472	1,471	1,538	1,508	1,520	0	0	0
伸び率(%)	0%	4.2%	4.2%	△0.1%	4.5%	2.5%	△1.2%	△100%	△100%	0%
人件費	正規職員	8,611	7,680	7,552	8,097	4,909	1,948	1,793	0	0
	正規職員以外	0	0	0	0	1,089	1,111	998	0	0
	小計	8,611	7,680	7,552	8,097	5,998	3,059	2,791	0	0
国庫支出金	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
県支出金	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
市債	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
その他	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
一般財源(税等)	1,412	1,472	1,472	1,471	1,538	1,508	1,520	0	0	0
所要人数(人)	正規職員	1.11	0.99	0.97	1.04	0.63	0.25	0.23	0.00	0.00
	正規職員以外	0.00	0.00	0.00	0.00	0.48	0.49	0.44	0.00	0.00
主な予算内訳	推進委員報酬 800千円、消耗品費 566千円、ふれあい健康スポーツ事業交付金 172千円									

3 目標及び実績

活動指標	指標名	単位		令和04年度	令和05年度	令和06年度	令和07年度	令和08年度
				目標値	実績値	達成度(%)	目標値	実績値
各種イベント参加者数		人	目標値	2500	2500	2500	2500	2500
			実績値	2366	2175	2169		
			達成度(%)	94.64%	87.00%	86.68%	%	%
スポーツ推進委員委嘱者数		人	目標値	80	80	80	80	80
			実績値	80	80	77		
			達成度(%)	100%	100%	96.25%	%	%
成人の週1回以上の運動習慣率		%	目標値	60.9	63.2	65.5	68.8	70.0
			実績値	58.1	61.4	58.5		
			達成度(%)	95.40%	97.15%	89.31%	%	%
成果指標			目標値					
			実績値					
			達成度(%)					

4 事業の評価

評価基準					
[妥当性]事業のニーズはあるか		増加している	○	横ばい	減少している
[妥当性]事業手段は妥当か		現行の手段でよい	○	一部見直しが必要	見直しが必要
[妥当性]官民の役割は妥当か		市が行うべき	○	他の主体との協働も可能	市が行う必要性は薄れている
[妥当性]緊急的に取り組む必要があるか		急いで取り組む		中長期的に取り組む	○ 緊急性は薄い
[有効性]更に効果が期待できるか		できる	○	あまりできない	できない
[有効性]成果目標ほどの程度達成しているか		達成している (90%以上)	○	おおむね達成 (70~90%未満)	達成していない (70%未満)
[有効性]上位施策への貢献度		重要かつ高い貢献度がある	○	一定の貢献度がある	貢献度は低い
[効率性]事業費を抑制できるか	○	できない		制約はあるが可能性はある	できる
[効率性]受益者負担の見直し		適正	○	負担は求められない	見直しが必要

5 今後の方向性 (担当課評価)

事業内容の方向性	充実				
	現状維持			○	
	縮小				
	廃止				
		ゼロ	縮小	現状維持	拡大
コスト投入の方向性					

担当課評価の根拠	スポーツ推進委員は、市の事業への協力や、各地区でのスポーツの振興、推進を進めており、連携強化を更に図り、市民のスポーツに接する機会を与えることで、スポーツ人口の増加や、スポーツを通して親睦や交流を図る。
見直し・改善内容	スポーツ教室等を通じ、運動習慣の定着を促すなど、今後も、市民の健康維持増進や体力の向上に努める。

事務事業チェックシート

事務事業No

事業名

[事業基本情報]

10745

各種競技団体との連携事業

[長期総合計画]

分野別目標	2	住みたいと選ばれる魅力があふれるまち
政策	5	郷土に誇りと愛着を育む文化・スポーツの振興と生涯学習の推進
施策	4	スポーツの振興
取組方針	1	生涯スポーツの振興

事業区分(1)	事業経費	○	管理経費	
	その他			
事業区分(2)	自治事務	○	法定受託事務	
	その他			
会計・ 予算区分	会計	一般会計		
	款	総務費		
	項	文化スポーツ費		
	目	スポーツ振興費		
	大事業	スポーツ振興事業		
中事業	各種競技団体との連携事業			

事業種別	継続		関連個別計画	和歌山市スポーツ振興計画		
事業年度	無し	～	無し	担当課・担当課長・Tel	スポーツ振興課	小山 千亜紀 435-1364
事業実施の根拠法令			関連課			

1 事業内容

事業目的	(「誰・何」をどういう状態にするための事業か)		全体事業概要			
	市体育協会などの様々な競技団体と連携を密にすることで、市民がスポーツに接する機会を与え、スポーツ人口の増加を図る。		和歌山市スポーツ協会などの競技団体と連携を行うことで、市民のスポーツに接する機会を増加させ、スポーツ人口の増加を図る。			
事業内容	令和04年度	令和05年度	令和06年度	令和07年度	令和08年度	
	生涯スポーツ推進育成、ジュニアスポーツ教室開催、ふれあい健康スポーツ事業、マリンスポーツ教室開催、ツーリズム事業	生涯スポーツ推進育成、ジュニアスポーツ教室開催、ふれあい健康スポーツ事業、スポーツキャンプサポート事業	生涯スポーツ推進育成、ジュニアスポーツ教室開催、ふれあい健康スポーツ事業、スポーツキャンプサポート事業	生涯スポーツ推進育成、ジュニアスポーツ教室開催、ふれあい健康スポーツ事業、スポーツキャンプサポート事業、ワールドマスターズゲームズ開催準備	生涯スポーツ推進育成、ジュニアスポーツ教室開催、ふれあい健康スポーツ事業、スポーツキャンプサポート事業、ワールドマスターズゲームズ開催準備	

2 事業コスト

事業費等(千円)	令和04年度		令和05年度		令和06年度		令和07年度		令和08年度	
	当初予算	決算	当初予算	決算	当初予算	決算	当初予算	決算	計画	決算
事業費	2,003	1,953	2,017	1,982	2,041	1,966	2,049	0	0	0
伸び率(%)	△89.6%	△81.6%	0.7%	1.5%	1.2%	△0.8%	0.4%	△100%	△100%	0%
人件費	正規職員	19,083	16,368	16,115	17,205	11,533	9,896	13,481	0	0
	正規職員以外	457	1,447	0	0	1,089	1,111	998	0	0
	小計	19,540	17,815	16,115	17,205	12,622	11,007	14,479	0	0
国庫支出金	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
県支出金	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
市債	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
その他	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
一般財源(税等)	2,003	1,953	2,017	1,982	2,041	1,966	2,049	0	0	0
所要人数(人)	正規職員	2.46	2.11	2.07	2.21	1.48	1.27	1.73	0.00	0.00
	正規職員以外	0.24	0.76	0.00	0.00	0.48	0.49	0.44	0.00	0.00
主な予算内訳	ジュニアスポーツ教室開催委託料 1,308千円、生涯スポーツ推進育成補助金 534千円、ふれあい健康スポーツ事業交付金 184千円									

3 目標及び実績

活動指標	指標名	単位	令和04年度	令和05年度	令和06年度	令和07年度	令和08年度
			目標値	実績値	達成度(%)	目標値	実績値
教室・各種大会実施件数	件	目標値	20	20	20	20	20
		実績値	17	19	18		
		達成度(%)	85%	95%	90%	%	%
教室・大会参加者数	人	目標値	3200	3200	3200	3200	3200
		実績値	1982	1945	1855		
		達成度(%)	61.94%	60.78%	61.83%	%	%

4 事業の評価

評価基準					
[妥当性]事業のニーズはあるか		増加している	○	横ばい	減少している
[妥当性]事業手段は妥当か	○	現行の手段でよい		一部見直しが必要	見直しが必要
[妥当性]官民の役割は妥当か		市が行うべき	○	他の主体との協働も可能	市が行う必要性は薄れている
[妥当性]緊急的に取り組む必要はあるか		急いで取り組む		中長期的に取り組む	○ 緊急性は薄い
[有効性]更に効果が期待できるか		できる	○	あまりできない	できない
[有効性]成果目標はどの程度達成しているか		達成している (90%以上)		おおむね達成 (70~90%未満)	○ 達成していない (70%未満)
[有効性]上位施策への貢献度		重要かつ高い貢献度がある	○	一定の貢献度がある	貢献度は低い
[効率性]事業費を抑制できるか		できない	○	制約はあるが可能性はある	できる
[効率性]受益者負担の見直し	○	適正		負担は求められない	見直しが必要

5 今後の方向性 (担当課評価)

事業内容の方向性	充実				
	現状維持			○	
	縮小				
	廃止				
		ゼロ	縮小	現状維持	拡大
コスト投入の方向性					

担当課評価の根拠	<p>様々な競技団体と連携を図り、市民のための生涯スポーツ交流大会や、障害者と健常者が共に参加して行う障害者卓球大会などを開催するとともに、プロスポーツチーム等と連携したスポーツ教室の開催など、市民がスポーツに接する機会を与え、人と人との繋がりや交流を大切にすることや、トップアスリートを間近で観ることにより、スポーツ振興や推進に寄与している。また、障害者スポーツ教室を開催し、障害者の方にも身近にスポーツに触れる機会を提供する。</p>
見直し・改善内容	<p>今後も、競技団体との連携強化を図り、ジュニアスポーツ教室の開催、マリンスポーツの推進や市体育協会主催の生涯スポーツ交流大会など、各種スポーツ大会等を実施していく。</p>

4 事業の評価

評価基準					
[妥当性]事業のニーズはあるか		増加している	○	横ばい	減少している
[妥当性]事業手段は妥当か	○	現行の手段でよい		一部見直しが必要	見直しが必要
[妥当性]官民の役割は妥当か		市が行うべき	○	他の主体との協働も可能	市が行う必要性は薄れている
[妥当性]緊急的に取り組む必要はあるか		急いで取り組む		中長期的に取り組む	○ 緊急性は薄い
[有効性]更に効果が期待できるか		できる	○	あまりできない	できない
[有効性]成果目標ほどの程度達成しているか		達成している (90%以上)		おおむね達成 (70~90%未満)	○ 達成していない (70%未満)
[有効性]上位施策への貢献度		重要かつ高い貢献度がある	○	一定の貢献度がある	貢献度は低い
[効率性]事業費を抑制できるか		できない	○	制約はあるが可能性はある	できる
[効率性]受益者負担の見直し		適正	○	負担は求められない	見直しが必要

5 今後の方向性 (担当課評価)

事業内容の方向性	充実				
	現状維持			○	
	縮小				
	廃止				
		ゼロ	縮小	現状維持	拡大
コスト投入の方向性					

担当課評価の根拠	市民が気軽にパソコンやモバイル端末から予約することで、現場に行かなくても予約ができるため、利便性の向上が図れる。 市民がスポーツに親しみ、余暇活動の場として、スポーツ施設を利用することでスポーツ振興に寄与する。
見直し・改善内容	今後も、市民の方が予約システムを活用し、スポーツ施設を気軽に利用できるように改善を図る。

事務事業チェックシート

事務事業No

事業名

[事業基本情報]

11134

つつじが丘総合公園管理運営事業

[長期総合計画]

分野別目標	2	住みたいと選ばれる魅力があふれるまち
政策	5	郷土に誇りと愛着を育む文化・スポーツの振興と生涯学習の推進
施策	4	スポーツの振興
取組方針	1	生涯スポーツの振興

事業区分(1)	事業経費		管理経費	○
	その他			
事業区分(2)	自治事務	○	法定受託事務	
	その他			
会計・ 予算区分	会計	一般会計		
	款	総務費		
	項	文化スポーツ費		
	目	つつじが丘総合公園費		
	大事業	つつじが丘総合公園事業		
中事業	つつじが丘総合公園管理運営事業			

事業種別	継続		関連個別計画	和歌山市スポーツ推進計画		
事業年度	無し	～	無し	担当課・担当課長・Tel	スポーツ振興課	小山 千亜紀 435-1364
事業実施の根拠法令			関連課			

1 事業内容

事業目的	(「誰・何」をどういう状態にするための事業か)		全体事業概要			
	利用者サービスの向上、利用率の向上を図る。		市立つつじが丘総合公園の管理運営業務を、指定管理者が自ら創意工夫を活かし、利用者サービスの向上や利用率の向上を図る。 また、利用料金制を採用することで、利用料金収入は指定管理者の収入となり、民間企業のノウハウを最大限に活かし、利用率の向上に努める。			
事業内容		令和04年度	令和05年度	令和06年度	令和07年度	令和08年度
		指定管理者に対し、管理運営に係る経費の一部を支出する。また、つつじが丘テニスコート場に必要な庁用器具及び維持修繕に要する費用を支出する。	指定管理者に対し、管理運営に係る経費の一部を支出する。	指定管理者に対し、管理運営に係る経費の一部を支出する。	指定管理者に対し、管理運営に係る経費の一部を支出する。	指定管理者に対し、管理運営に係る経費の一部を支出する。また、施設の維持、強化に要する費用を支出する。

2 事業コスト

事業費等(千円)	令和04年度		令和05年度		令和06年度		令和07年度		令和08年度	
	当初予算	決算	当初予算	決算	当初予算	決算	当初予算	決算	計画	決算
事業費	45,770	52,115	58,216	55,145	51,978	50,175	53,416	0	0	0
伸び率(%)	0.1%	15.4%	27.2%	5.8%	△10.7%	△9%	2.8%	△100%	△100%	0%
人件費	正規職員	3,801	3,879	3,815	4,049	2,494	5,922	5,377	0	0
	正規職員以外	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	小計	3,801	3,879	3,815	4,049	2,494	5,922	5,377	0	0
国庫支出金	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
県支出金	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
市債	0	0	5,400	3,300	0	0	0	0	0	0
その他	1,021	845	893	764	727	812	718	0	0	0
一般財源(税等)	44,749	51,270	51,923	51,081	51,251	49,363	52,698	0	0	0
所要人数(人)	正規職員	0.49	0.50	0.49	0.52	0.32	0.76	0.69	0.00	0.00
	正規職員以外	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
主な予算内訳	管理運営委託料 50,706千円 所々修繕料 900千円 火災保険料 192千円									

3 目標及び実績

活動指標	指標名	単位		令和04年度	令和05年度	令和06年度	令和07年度	令和08年度
				目標値	実績値	達成度(%)	目標値	実績値
テニスコート数	箇所		目標値	1	1	1	1	1
			実績値	1	1	1	1	1
			達成度(%)	100%	100%	100%	%	%
総合公園数	箇所		目標値		0	1	1	1
			実績値		0	1		
			達成度(%)	%	0%	100%	%	%
利用件数	件		目標値	15000	15000	16125	18000	20000
			実績値	15354	16012	16709		
			達成度(%)	102.36%	106.74%	103.62%	%	%
			目標値	60000	60000	64500	80000	90000
利用者数	人		実績値	62306	62798	91050		
			達成度(%)	103.84%	104.66%	141.12%	%	%

4 事業の評価

評価基準					
[妥当性]事業のニーズはあるか	○	増加している		横ばい	減少している
[妥当性]事業手段は妥当か	○	現行の手段でよい		一部見直しが必要	見直しが必要
[妥当性]官民の役割は妥当か		市が行うべき	○	他の主体との協働も可能	市が行う必要性は薄れている
[妥当性]緊急的に取り組む必要があるか		急いで取り組む		中長期的に取り組む	○ 緊急性は薄い
[有効性]更に効果が期待できるか		できる	○	あまりできない	できない
[有効性]成果目標ほどの程度達成しているか	○	達成している (90%以上)		おおむね達成 (70~90%未満)	達成していない (70%未満)
[有効性]上位施策への貢献度	○	重要かつ高い貢献度がある		一定の貢献度がある	貢献度は低い
[効率性]事業費を抑制できるか		できない	○	制約はあるが可能性はある	できる
[効率性]受益者負担の見直し	○	適正		負担は求められない	見直しが必要

5 今後の方向性 (担当課評価)

事業内容の方向性	充実			○	
	現状維持				
	縮小				
	廃止				
		ゼロ	縮小	現状維持	拡大
コスト投入の方向性					

担当課評価の根拠	テニスコートは平成26年7月にオープン以来、土曜日、日曜日は、大会等で使用されている。今後も、高校生・大学生の合宿や大会等の誘致で、より多くの人たちが使用することで、テニス競技の普及やスポーツの振興を図っていく。 また、総合公園としてにぎわい創出の拠点として、スポーツを楽しむ機会づくりをより一層整えていく必要がある。
見直し・改善内容	テニスコートについて、土曜日、日曜日の使用と違い、平日は、主婦層や、クラブ活動の使用に限られることから、指定管理者によるスポーツ教室の開催など、稼働率の向上のための方策を検討する必要がある。 また、総合公園としてにぎわい創出を目指すとともに、施設の改修を検討していく必要がある。

事務事業チェックシート

事務事業No

事業名

[事業基本情報]

14090

体育館管理運営事業

[長期総合計画]

分野別目標	2	住みたいと選ばれる魅力があふれるまち
政策	5	郷土に誇りと愛着を育む文化・スポーツの振興と生涯学習の推進
施策	4	スポーツの振興
取組方針	1	生涯スポーツの振興

事業区分(1)	事業経費		管理経費	○
	その他			
事業区分(2)	自治事務	○	法定受託事務	
	その他			
会計・ 予算区分	会計	一般会計		
	款	総務費		
	項	文化スポーツ費		
	目	スポーツ施設費		
	大事業	スポーツ施設事業		
	中事業	体育館管理運営事業		

事業種別	継続		関連個別計画	和歌山市スポーツ振興計画		
事業年度	無し	～	無し	担当課・担当課長・Tel	スポーツ振興課	小山 千亜紀 435-1364
事業実施の根拠法令			関連課			

1 事業内容

	(「誰・何」をどういう状態にするための事業か)	全体事業概要				
事業目的	利用者サービスの向上、スポーツの振興、地域福祉の増進を図ることを目的とする。	市立体育館(松下体育館・市民体育館・河南総合体育館)の管理運営業務を、指定管理者が自らの創意工夫を活かし、利用者サービスの向上や、スポーツの振興、地域福祉の増進を図る。				
事業内容		令和04年度	令和05年度	令和06年度	令和07年度	令和08年度
		市立体育館の指定管理者に対し、管理運営に係る経費を支出する。また、体育館に必要な消耗品費や庁用器具及び維持修繕に要する費用を支出する。	市立体育館の指定管理者に対し、管理運営に係る経費を支出する。また、体育館に必要な消耗品費や庁用器具及び維持修繕に要する費用を支出する。	市立体育館の指定管理者に対し、管理運営に係る経費を支出する。また、体育館に必要な消耗品費や庁用器具及び維持修繕に要する費用を支出する。	市立体育館の指定管理者に対し、管理運営に係る経費を支出する。また、体育館に必要な消耗品費や庁用器具及び維持修繕に要する費用を支出する。	市立体育館の指定管理者に対し、管理運営に係る経費を支出する。また、体育館に必要な消耗品費や庁用器具及び維持修繕に要する費用を支出する。

2 事業コスト

事業費等(千円)	令和04年度		令和05年度		令和06年度		令和07年度		令和08年度	
	当初予算	決算	当初予算	決算	当初予算	決算	当初予算	決算	計画	決算
事業費	88,385	91,100	97,224	100,161	101,988	112,425	105,422	0	0	0
伸び率(%)	△54.2%	△50.5%	10%	9.9%	4.9%	12.2%	3.4%	△100%	△100%	0%
人件費	正規職員	2,871	3,879	3,815	4,049	3,273	5,922	5,377	0	0
	正規職員以外	0	0	0	0	0	0	91	0	0
	小計	2,871	3,879	3,815	4,049	3,273	5,922	5,468	0	0
国庫支出金	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
県支出金	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
市債	0	0	0	9,600	7,100	18,900	7,600	0	0	0
その他	24,298	21,151	23,242	22,611	23,039	23,642	23,832	0	0	0
一般財源(税等)	64,087	69,949	73,982	67,950	71,849	69,883	73,990	0	0	0
所要人数(人)	正規職員	0.37	0.50	0.49	0.52	0.42	0.76	0.69	0.00	0.00
	正規職員以外	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.04	0.00	0.00
主な予算内訳	管理運営委託料 92,634千円、整備工事請負費 7,029千円、所々修繕料 1,233千円									

3 目標及び実績

活動指標	指標名	単位		令和04年度	令和05年度	令和06年度	令和07年度	令和08年度
				目標値	実績値	達成度(%)	目標値	実績値
活動指標	体育館数	館	目標値	3	3	3	3	3
			実績値	3	3	3		
			達成度(%)	100%	100%	100%	%	%
成果指標	利用件数(アリーナ)	件	目標値	2400	2400	2400	2400	2400
			実績値	3968	4314	4069		
			達成度(%)	165.33%	179.75%	169.54%	100%	%
	利用人数(アリーナ)	人	目標値	193042	193042	193042	193042	193042
			実績値	96128	102309	101139		
			達成度(%)	49.8%	52.99%	52.39%	100%	%

4 事業の評価

評価基準					
[妥当性]事業のニーズはあるか		増加している	○	横ばい	減少している
[妥当性]事業手段は妥当か	○	現行の手段でよい		一部見直しが必要	見直しが必要
[妥当性]官民の役割は妥当か		市が行うべき	○	他の主体との協働も可能	市が行う必要性は薄れている
[妥当性]緊急的に取り組む必要はあるか		急いで取り組む	○	中長期的に取り組む	緊急性は薄い
[有効性]更に効果が期待できるか		できる	○	あまりできない	できない
[有効性]成果目標はどの程度達成しているか		達成している (90%以上)	○	おおむね達成 (70~90%未満)	達成していない (70%未満)
[有効性]上位施策への貢献度		重要かつ高い貢献度がある	○	一定の貢献度がある	貢献度は低い
[効率性]事業費を抑制できるか	○	できない		制約はあるが可能性はある	できる
[効率性]受益者負担の見直し	○	適正		負担は求められない	見直しが必要

5 今後の方向性 (担当課評価)

事業内容の方向性	充実				○
	現状維持				
	縮小				
	廃止				
		ゼロ	縮小	現状維持	拡大
コスト投入の方向性					

担当課評価の根拠	<p>体育館（松下体育館・市民体育館・河南総合体育館）は、（公財）和歌山市文化スポーツ振興財団が、指定管理者として管理運営を行っている。当財団は、平成18年度から市立体育館の指定管理を行っており、使用者が安全・安心に施設を使用できることを第一に考え、市民スポーツの振興、スポーツの余暇活動の場として最良の状態を提供できるように努めている。</p>
見直し・改善内容	<p>体育館（松下体育館・市民体育館・河南総合体育館）は、建設から40年以上経過しており、大規模改修のほか、LED化、空調等の設備強化にかかる費用が増加すると見込まれるため、設備機器の保守の実施や、設備強化の検討など、適正な維持管理を行うための施策が必要である。</p>

事務事業チェックシート

事務事業No
14108

事業名
市民スポーツ広場管理運営事業

[事業基本情報]

[長期総合計画]

分野別目標	2	住みたいと選ばれる魅力があふれるまち
政策	5	郷土に誇りと愛着を育む文化・スポーツの振興と生涯学習の推進
施策	4	スポーツの振興
取組方針	1	生涯スポーツの振興

事業区分(1)	事業経費		管理経費	○
	その他			
事業区分(2)	自治事務	○	法定受託事務	
	その他			
会計・ 予算区分	会計	一般会計		
	款	総務費		
	項	文化スポーツ費		
	目	スポーツ施設費		
	大事業	スポーツ施設事業		
	中事業	市民スポーツ広場管理運営事業		

事業種別	継続		関連個別計画	和歌山市スポーツ振興計画		
事業年度	無し	～	無し	担当課・担当課長・Tel	スポーツ振興課	小山 千亜紀 435-1364
事業実施の根拠法令			関連課			

1 事業内容

事業目的	（「誰・何」をどういう状態にするための事業か）		全体事業概要			
	利用者サービスの向上、スポーツの振興、地域福祉の増進を図ることを目的とする。		市民スポーツ広場の管理運営業務を、指定管理者が自らの創意工夫を活かし、利用者サービスの向上や、スポーツの振興、地域福祉の増進を図る。			
事業内容		令和04年度	令和05年度	令和06年度	令和07年度	令和08年度
		市民スポーツ広場の指定管理者に対し、管理運営に係る経費を支出する。また、市民スポーツ広場に必要の消耗品費や庁用器具及び維持修繕に要する費用を支出する。	市民スポーツ広場の指定管理者に対し、管理運営に係る経費を支出する。また、市民スポーツ広場に必要の消耗品費や庁用器具及び維持修繕に要する費用を支出する。	市民スポーツ広場の指定管理者に対し、管理運営に係る経費を支出する。また、市民スポーツ広場に必要の消耗品費や庁用器具及び維持修繕に要する費用を支出する。	市民スポーツ広場の指定管理者に対し、管理運営に係る経費を支出する。また、市民スポーツ広場に必要の消耗品費や庁用器具及び維持修繕に要する費用を支出する。	市民スポーツ広場の指定管理者に対し、管理運営に係る経費を支出する。また、市民スポーツ広場に必要の消耗品費や庁用器具及び維持修繕に要する費用を支出する。

2 事業コスト

事業費等(千円)	令和04年度		令和05年度		令和06年度		令和07年度		令和08年度	
	当初予算	決算	当初予算	決算	当初予算	決算	当初予算	決算	計画	決算
事業費	16,387	16,336	16,408	16,406	16,535	16,035	64,839	0	0	0
伸び率(%)	4.5%	4.8%	0.1%	0.4%	0.8%	△2.3%	292.1%	△100%	△100%	0%
人件費	正規職員	931	931	935	1,013	2,494	5,922	14,338	0	0
	正規職員以外	0	0	0	0	0	0	46	0	0
	小計	931	931	935	1,013	2,494	5,922	14,384	0	0
国庫支出金	0	0	0	0	0	0	23,499	0	0	0
県支出金	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
市債	0	0	0	0	0	0	21,100	0	0	0
その他	2,491	2,407	2,423	2,177	2,373	2,208	2,267	0	0	0
一般財源(税等)	13,896	13,929	13,985	14,229	14,162	13,827	17,973	0	0	0
所要人数(人)	正規職員	0.12	0.12	0.12	0.13	0.32	0.76	1.84	0.00	0.00
	正規職員以外	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.02	0.00	0.00
主な予算内訳	管理運営委託料 15,736千円、所々修繕料 500千円、施設設備保守委託料 294千円									

3 目標及び実績

活動指標	指標名	単位		令和04年度	令和05年度	令和06年度	令和07年度	令和08年度
				目標値	実績値	達成度(%)	目標値	実績値
スポーツ広場数	箇所	目標値		1	1	1	1	1
		実績値		1	1	1		
		達成度(%)		100%	100%	%	%	
利用件数	件	目標値		3200	3200	3200	3250	3400
		実績値		2101	1821	1765		
		達成度(%)		65.66%	56.90%	55.16%	%	
		目標値		84293	84293	84293	85000	88000
利用人数	人	実績値		61699	54656	66258		
		達成度(%)		73.2%	64.84%	78.60%	%	
		目標値						

4 事業の評価

評価基準					
[妥当性]事業のニーズはあるか	○	増加している		横ばい	減少している
[妥当性]事業手段は妥当か		現行の手段でよい	○	一部見直しが必要	見直しが必要
[妥当性]官民の役割は妥当か		市が行うべき	○	他の主体との協働も可能	市が行う必要性は薄れている
[妥当性]緊急的に取り組む必要はあるか	○	急いで取り組む		中長期的に取り組む	緊急性は薄い
[有効性]更に効果が期待できるか	○	できる		あまりできない	できない
[有効性]成果目標はどの程度達成しているか		達成している (90%以上)		おおむね達成 (70~90%未満)	○ 達成していない (70%未満)
[有効性]上位施策への貢献度		重要かつ高い貢献度がある	○	一定の貢献度がある	貢献度は低い
[効率性]事業費を抑制できるか	○	できない		制約はあるが可能性はある	できる
[効率性]受益者負担の見直し	○	適正		負担は求められない	見直しが必要

5 今後の方向性 (担当課評価)

事業内容の方向性	充実				○
	現状維持				
	縮小				
	廃止				
		ゼロ	縮小	現状維持	拡大
コスト投入の方向性					

担当課評価の根拠	市民スポーツ広場は、(公財)和歌山市文化スポーツ振興財団が、指定管理者として管理運営を行っている。当財団は、平成18年度から市民スポーツ広場の指定管理を行っており、使用者が安全・安心に施設を使用できることを第一に考え市民スポーツの振興、スポーツの余暇活動の場として最良の状態で提供できるように努めている。
見直し・改善内容	市民スポーツ広場は整備から50年以上経過しており、老朽化が進んでいることから、設備器具のメンテナンスなどの適正な維持管理を行い、施設使用者が安心・安全に使用できるようにする必要がある。また、施設の拡充を含め様々なスポーツニーズへの対応を検討する必要がある。

事務事業チェックシート

事務事業No

事業名

[事業基本情報]

14122

市民温水プール管理運営事業

[長期総合計画]

分野別目標	2	住みたいと選ばれる魅力があふれるまち
政策	5	郷土に誇りと愛着を育む文化・スポーツの振興と生涯学習の推進
施策	4	スポーツの振興
取組方針	1	生涯スポーツの振興

事業区分(1)	事業経費		管理経費	○
	その他			
事業区分(2)	自治事務	○	法定受託事務	
	その他			
会計・ 予算区分	会計	一般会計		
	款	総務費		
	項	文化スポーツ費		
	目	スポーツ施設費		
	大事業	スポーツ施設事業		
	中事業	市民温水プール管理運営事業		

事業種別	継続		関連個別計画	和歌山市スポーツ推進計画		
事業年度	無し	～	無し	担当課・担当課長・Tel	スポーツ振興課	小山 千亜紀 435-1364
事業実施の根拠法令			関連課			

1 事業内容

事業目的	(「誰・何」をどういう状態にするための事業か)		全体事業概要			
	利用者サービスの向上、スポーツの振興、地域福祉の増進を図る。		市民温水プールの管理運営業務を、指定管理者が自ら創意工夫を活かし、利用者サービスの向上やスポーツの振興、地域福祉の増進を図る。			
事業内容	令和04年度	令和05年度	令和06年度	令和07年度	令和08年度	
	指定管理者に対し、管理運営に係る経費を支出。また、市民温水プールの庁用器具、維持修繕等に要する費用を支出する。	指定管理者に対し、管理運営に係る経費を支出。また、市民温水プールの庁用器具、維持修繕等に要する費用を支出する。	指定管理者に対し、管理運営に係る経費を支出。また、市民温水プールの庁用器具、維持修繕等に要する費用を支出する。	指定管理者に対し、管理運営に係る経費を支出。また、市民温水プールの庁用器具、維持修繕等に要する費用を支出する。	指定管理者に対し、管理運営に係る経費を支出。また、市民温水プールの庁用器具、維持修繕等に要する費用を支出する。	

2 事業コスト

事業費等(千円)	令和04年度		令和05年度		令和06年度		令和07年度		令和08年度	
	当初予算	決算	当初予算	決算	当初予算	決算	当初予算	決算	計画	決算
事業費	88,403	92,579	84,144	84,297	87,819	88,060	86,140	0	0	0
伸び率(%)	△5.5%	△1.2%	△4.8%	△8.9%	4.4%	4.5%	△1.9%	△100%	△100%	0%
人件費	正規職員	1,862	931	935	1,013	3,273	1,948	1,793	0	0
	正規職員以外	0	0	0	0	0	0	46	0	0
	小計	1,862	931	935	1,013	3,273	1,948	1,839	0	0
国庫支出金	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
県支出金	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
市債	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
その他	7,006	6,391	6,202	6,932	9,548	10,062	6,926	0	0	0
一般財源(税等)	81,397	86,188	77,942	77,365	78,271	77,998	79,214	0	0	0
所要人数(人)	正規職員	0.24	0.12	0.12	0.13	0.42	0.25	0.23	0.00	0.00
	正規職員以外	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.02	0.00	0.00
主な予算内訳	管理運営委託料 84,237千円、機械修繕料 2,750千円、所々修繕料 750千円									

3 目標及び実績

活動指標	指標名	単位		令和04年度	令和05年度	令和06年度	令和07年度	令和08年度
				目標値	実績値	達成度(%)	目標値	実績値
温水プール数	館	目標値		1	1	1	1	1
		実績値		1	1	1		
		達成度(%)		100%	100%	%	%	
利用者数(大人)	人	目標値		33000	33000	33000	33000	33000
		実績値		48723	51696	53720		
		達成度(%)		147.65%	156.65%	162.79%	%	%
利用人数(小人)	人	目標値		18000	18000	18000	18000	18000
		実績値		5290	6079	6,295		
		達成度(%)		29.39%	33.77%	34.97%	%	%

4 事業の評価

評価基準					
[妥当性]事業のニーズはあるか		増加している	○	横ばい	減少している
[妥当性]事業手段は妥当か	○	現行の手段でよい		一部見直しが必要	見直しが必要
[妥当性]官民の役割は妥当か		市が行うべき	○	他の主体との協働も可能	市が行う必要性は薄れている
[妥当性]緊急的に取り組む必要はあるか		急いで取り組む		中長期的に取り組む	○ 緊急性は薄い
[有効性]更に効果が期待できるか		できる	○	あまりできない	できない
[有効性]成果目標はどの程度達成しているか		達成している (90%以上)	○	おおむね達成 (70~90%未満)	達成していない (70%未満)
[有効性]上位施策への貢献度		重要かつ高い貢献度がある	○	一定の貢献度がある	貢献度は低い
[効率性]事業費を抑制できるか	○	できない		制約はあるが可能性はある	できる
[効率性]受益者負担の見直し	○	適正		負担は求められない	見直しが必要

5 今後の方向性 (担当課評価)

事業内容の方向性	充実				○
	現状維持				
	縮小				
	廃止				
		ゼロ	縮小	現状維持	拡大
コスト投入の方向性					

担当課評価の根拠	市民温水プールは、(公財)和歌山市文化スポーツ振興財団が、指定管理者として管理運営を行っている。当財団は、平成18年度から市民温水プールの指定管理を行っており、使用者が安全・安心に施設を使用できることを第一に考え、市民スポーツの振興、スポーツの余暇活動の場として最良の状態を提供できるように努めている。
見直し・改善内容	市民温水プールは、建設から40年以上経過しており、大規模改修に係る費用が増加すると見込まれるため、設備機器の保守やメンテナンスを実施するなど、適正な維持管理を行うための施策が必要である。

事務事業チェックシート

事務事業No

事業名

[事業基本情報]

10746

学校体育施設開放事業

[長期総合計画]

分野別目標	2	住みたいと選ばれる魅力があふれるまち
政策	5	郷土に誇りと愛着を育む文化・スポーツの振興と生涯学習の推進
施策	4	スポーツの振興
取組方針	1	生涯スポーツの振興

事業区分(1)	事業経費	○	管理経費	
	その他			
事業区分(2)	自治事務	○	法定受託事務	
	その他			
会計・ 予算区分	会計		一般会計	
	款		教育費	
	項		保健体育費	
	目		体育振興費	
	大事業		体育振興事業	
	中事業		学校体育施設開放事業	

事業種別	継続		関連個別計画	和歌山市スポーツ振興計画		
事業年度	無し	～	無し	担当課・担当課長・Tel	生涯学習課	末吉 栄作 435-1138
事業実施の根拠法令			関連課			

1 事業内容

事業目的	（「誰・何」をどういう状態にするための事業か）		全体事業概要			
	小・中・義務教育学校体育施設（グラウンド・体育館）を、野球・ソフトボール・サッカー等の使用目的のある生徒、その他の一般市民に貸し出すことで、スポーツの振興に寄与し、市民の健康保持増進と、スポーツ人口の増加を図る。		ナイター設備の管理に係る光熱水費、修繕費の支出や、学校体育施設開放に要する費用を支出しています。			
事業内容	令和04年度	令和05年度	令和06年度	令和07年度	令和08年度	
	学校体育施設（体育館）の開放 学校体育施設（夜間照明施設）の開放	学校体育施設（体育館）の開放 学校体育施設（夜間照明施設）の開放	学校体育施設（体育館）の開放 学校体育施設（夜間照明施設）の開放	学校体育施設（体育館）の開放 学校体育施設（夜間照明施設）の開放	学校体育施設（体育館）の開放 学校体育施設（夜間照明施設）の開放	

2 事業コスト

事業費等（千円）	令和04年度		令和05年度		令和06年度		令和07年度		令和08年度	
	当初予算	決算	当初予算	決算	当初予算	決算	当初予算	決算	計画	決算
事業費	6,513	6,869	7,175	5,200	6,746	62,555	93,844	0	109,722	0
伸び率（%）	9.3%	9.5%	10.2%	△24.3%	△6%	1,103%	1,291.1%	△100%	16.9%	0%
人件費	正規職員	4,887	0	4,905	3,893	6,935	8,338	7,091	0	7,481
	正規職員以外	0	0	0	0	862	658	862	0	862
	小計	4,887	0	4,905	3,893	7,797	8,996	7,953	0	8,343
国庫支出金	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
県支出金	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
市債	0	0	0	0	0	36,500	78,500	0	0	0
その他	2,334	3,510	4,310	3,362	4,310	19,027	3,234	0	0	0
一般財源（税等）	4,179	3,359	2,865	1,838	2,436	7,028	12,110	0	109,722	0
所要人数 （人）	正規職員	0.63	0.00	0.63	0.50	0.89	1.07	0.91	0.00	0.96
	正規職員以外	0.00	0.00	0.00	0.00	0.38	0.29	0.38	0.00	0.38
主な予算内訳	工事請負費 87,307千円、光熱水費 3,720千円、消耗品費 902千円									

3 目標及び実績

活動指標	指標名	単位		令和04年度	令和05年度	令和06年度	令和07年度	令和08年度
				目標値	実績値	達成度(%)	目標値	実績値
開放学校数		校	目標値	68	68	68	68	
			実績値	68	68	68		
			達成度(%)	100%	100%	100%	%	%
学校体育施設（体育館）の利用団体数		団体	目標値	570	570	570	570	
			実績値	552	554	573		
			達成度(%)	96.8%	97.2%	100.5%	%	%
成果指標			目標値					
			実績値					
			達成度(%)					

4 事業の評価

評価基準					
[妥当性]事業のニーズはあるか		増加している	○	横ばい	減少している
[妥当性]事業手段は妥当か		現行の手段でよい	○	一部見直しが必要	見直しが必要
[妥当性]官民の役割は妥当か	○	市が行うべき		他の主体との協働も可能	市が行う必要性は薄れている
[妥当性]緊急的に取り組む必要はあるか		急いで取り組む	○	中長期的に取り組む	緊急性は薄い
[有効性]更に効果が期待できるか		できる	○	あまりできない	できない
[有効性]成果目標はどの程度達成しているか	○	達成している (90%以上)		おおむね達成 (70~90%未満)	達成していない (70%未満)
[有効性]上位施策への貢献度		重要かつ高い貢献度がある	○	一定の貢献度がある	貢献度は低い
[効率性]事業費を抑制できるか		できない	○	制約はあるが可能性はある	できる
[効率性]受益者負担の見直し	○	適正		負担は求められない	見直しが必要

5 今後の方向性 (担当課評価)

事業内容の方向性	充実				
	現状維持			○	
	縮小				
	廃止				
		ゼロ	縮小	現状維持	拡大
コスト投入の方向性					

担当課評価の根拠	ナイター設備のある中学校のグラウンドを、野球、ソフトボール、サッカーなど、一般市民に貸し出すことで、スポーツに接する機会を与え、スポーツ振興に寄与し、スポーツ人口の増加に繋がっています。また、小・中・義務教育学校の体育館を学校教育に支障のない範囲で、市民に貸し出すことで、スポーツの推進に貢献しています。
見直し・改善内容	地域住民のスポーツ活動の場として、事業を継続しながら、コスト縮減についても検討していく。

4 事業の評価

評価基準					
[妥当性]事業のニーズはあるか		増加している	○	横ばい	減少している
[妥当性]事業手段は妥当か	○	現行の手段でよい		一部見直しが必要	見直しが必要
[妥当性]官民の役割は妥当か	○	市が行うべき		他の主体との協働も可能	市が行う必要性は薄れている
[妥当性]緊急的に取り組む必要があるか		急いで取り組む		中長期的に取り組む	○ 緊急性は薄い
[有効性]更に効果が期待できるか		できる	○	あまりできない	できない
[有効性]成果目標ほどの程度達成しているか	○	達成している (90%以上)		おおむね達成 (70~90%未満)	達成していない (70%未満)
[有効性]上位施策への貢献度		重要かつ高い貢献度がある	○	一定の貢献度がある	貢献度は低い
[効率性]事業費を抑制できるか		できない	○	制約はあるが可能性はある	できる
[効率性]受益者負担の見直し	○	適正		負担は求められない	見直しが必要

5 今後の方向性 (担当課評価)

事業内容の方向性	充実				
	現状維持		○		
	縮小				
	廃止				
		ゼロ	縮小	現状維持	拡大
コスト投入の方向性					

担当課評価の根拠	毎年、前年に開催された市民マラソンにおいて、上位入賞した和歌山市在住又は、通勤、通学をする選手の中から若干名を、5月頃に開催する済州国際観光マラソン大会に派遣する。派遣された選手は入賞するなど、優秀な成績を残すことが非常に多い。この事業は、姉妹都市である済州市と友好・親善を図ることを目的にした、両都市を往来する唯一の交流事業であり、行政だけではなく市民が主体となって相互の派遣も実現されており、本市として民間交流を推進する上で非常に意義のある事業である。また、マラソン交流を機会にお互いの都市を知る上で相互理解とPR効果が期待でき、事業を継続することで、済州市との良好な関係を保つことができる。
見直し・改善内容	友好・親善を図るとともに、本市のPRも事業目的として加えることとする。

事務事業チェックシート

事務事業No

事業名

[事業基本情報]

10749

市民マラソン開催事業

[長期総合計画]

分野別目標	2	住みたいと選ばれる魅力があふれるまち
政策	5	郷土に誇りと愛着を育む文化・スポーツの振興と生涯学習の推進
施策	4	スポーツの振興
取組方針	2	スポーツを通じた地域振興

事業区分(1)	事業経費	○	管理経費	
	その他			
事業区分(2)	自治事務	○	法定受託事務	
	その他			
会計・ 予算区分	会計	一般会計		
	款	総務費		
	項	文化スポーツ費		
	目	スポーツ振興費		
	大事業	スポーツ振興事業		
	中事業	市民マラソン開催事業		

事業種別	継続		関連個別計画	和歌山市スポーツ推進計画		
事業年度	無し	～	無し	担当課・担当課長・Tel	スポーツ振興課	小山 千亜紀 435-1364
事業実施の根拠法令			関連課			

1 事業内容

事業目的	(「誰・何」をどういう状態にするための事業か)		全体事業概要			
	市民のスポーツへの関心と、体力向上を図る。		和歌山市最大規模を誇るスポーツイベント「ジャズマラソン」を開催することにより、市民のスポーツ意識の向上や、体力の向上を図ることを目的とします。 また、1万人規模の大会で集客力も期待でき、本市地域の活性化にも寄与します。			
事業内容		令和04年度	令和05年度	令和06年度	令和07年度	令和08年度
		協賛・協力企業訪問等に係る管外出張及びジャズマラソンの運営に係る経費に対して実行委員会に補助金を支出する。	協賛・協力企業訪問等に係る管外出張及びジャズマラソンの運営に係る経費に対して実行委員会に補助金を支出する。	協賛・協力企業訪問等に係る管外出張及びジャズマラソンの運営に係る経費に対して実行委員会に補助金を支出する。	協賛・協力企業訪問等に係る管外出張及びジャズマラソンの運営に係る経費に対して実行委員会に補助金を支出する。	協賛・協力企業訪問等に係る管外出張及びジャズマラソンの運営に係る経費に対して実行委員会に補助金を支出する。

2 事業コスト

事業費等(千円)	令和04年度		令和05年度		令和06年度		令和07年度		令和08年度	
	当初予算	決算	当初予算	決算	当初予算	決算	当初予算	決算	計画	決算
事業費	17,168	23,658	23,480	21,790	23,448	23,427	23,447	0	0	0
伸び率(%)	0%	306.5%	36.8%	△7.9%	△0.1%	7.5%	0%	△100%	△100%	0%
人件費	正規職員	18,152	23,116	22,733	24,212	19,792	23,688	21,584	0	0
	正規職員以外	743	1,198	772	0	0	815	0	0	0
	小計	18,895	24,314	23,505	24,212	19,792	24,503	21,584	0	0
国庫支出金	3,541	5,825	6,696	5,882	0	0	0	0	0	0
県支出金	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
市債	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
その他	8,000	8,000	8,000	6,400	8,000	8,000	8,000	0	0	0
一般財源(税等)	5,627	9,833	8,784	9,508	15,448	15,427	15,447	0	0	0
所要人数(人)	正規職員	2.34	2.98	2.92	3.11	2.54	3.04	2.77	0.00	0.00
	正規職員以外	0.39	0.59	0.40	0.00	0.00	0.42	0.00	0.00	0.00
主な予算内訳	市民マラソン開催交付金 23,392千円									

3 目標及び実績

活動指標	指標名	単位		令和04年度	令和05年度	令和06年度	令和07年度	令和08年度
				目標値	実績値	達成度(%)	目標値	実績値
大会参加者数		人	目標値	10000	12000	12000	12000	12000
			実績値	6076	7379	7261		
			達成度(%)	60.76%	61.50%	60.51%	%	%
他市町村からの大会参加者数		人	目標値	6000	7200	7200	7200	7200
			実績値	3532	4131	4112		
			達成度(%)	58.87%	57.38%	57.11%	%	%
成果指標			目標値					
			実績値					
			達成度(%)					

4 事業の評価

評価基準					
[妥当性]事業のニーズはあるか		増加している	○	横ばい	減少している
[妥当性]事業手段は妥当か		現行の手段でよい	○	一部見直しが必要	見直しが必要
[妥当性]官民の役割は妥当か		市が行うべき	○	他の主体との協働も可能	市が行う必要性は薄れている
[妥当性]緊急的に取り組む必要があるか		急いで取り組む	○	中長期的に取り組む	緊急性は薄い
[有効性]更に効果が期待できるか		できる	○	あまりできない	できない
[有効性]成果目標はどの程度達成しているか		達成している (90%以上)		おおむね達成 (70~90%未満)	○ 達成していない (70%未満)
[有効性]上位施策への貢献度	○	重要かつ高い貢献度がある		一定の貢献度がある	貢献度は低い
[効率性]事業費を抑制できるか	○	できない		制約はあるが可能性はある	できる
[効率性]受益者負担の見直し	○	適正		負担は求められない	見直しが必要

5 今後の方向性 (担当課評価)

事業内容の方向性	充実			○	
	現状維持				
	縮小				
	廃止				
		ゼロ	縮小	現状維持	拡大
コスト投入の方向性					

担当課評価の根拠	本市最大規模のスポーツイベント「和歌山ジャズマラソン」は、市民のスポーツ意欲向上への核としての位置づけで、市民のスポーツ意識向上、親子の触れ合いなどの大切さを実感できるようなイベントとして定着している。健康志向の人や、競技目的の人など、県内外から参加した人たちが、和歌浦の景色を堪能し、ジャズの音色で楽しく走れるマラソンであり、市民の方々にも定着しており、市の施策として重要かつ高い貢献をしている事業である。
見直し・改善内容	和歌山ジャズマラソンの魅力を高め、多くの参加者が満足し、リピーターが増えるよう課題等を抽出し、関係機関等と協議、調整をしながら更に充実した大会になるよう随時見直しを行う。また、参加者が市内へ宿泊、滞留をして、本市の観光スポットや文化施設に立ち寄っていただけるよう、創意工夫に努める。

事務事業チェックシート

事務事業No

事業名

17764

つつじが丘総合公園整備事業

[事業基本情報]

[長期総合計画]

分野別目標	2	住みたいと選ばれる魅力があふれるまち
政策	5	郷土に誇りと愛着を育む文化・スポーツの振興と生涯学習の推進
施策	4	スポーツの振興
取組方針	2	スポーツを通じた地域振興

事業区分(1)	事業経費	○	管理経費	
	その他			
事業区分(2)	自治事務	○	法定受託事務	
	その他			
会計・ 予算区分	会計	一般会計		
	款	総務費		
	項	文化スポーツ費		
	目	スポーツ振興費		
	大事業	スポーツ振興事業		
	中事業	つつじが丘総合公園整備事業		

事業種別	単年		関連個別計画			
事業年度	令和3年度	～	令和7年度	担当課・担当課長・Tel	スポーツ振興課	小山 千亜紀 435-1364
事業実施の根拠法令			関連課			

1 事業内容

事業目的	(「誰・何」をどういう状態にするための事業か)		全体事業概要			
	利用者サービス、利便性の向上を図る。		つつじが丘テニスコート場を中心とする総合公園を整備し、地域福祉の増進を図る。			
事業内容	令和04年度	令和05年度	令和06年度	令和07年度	令和08年度	
	緊急時の拠点避難地としても利用できる駐車場を整備する。	多世代が交流できる総合公園を整備する。障害の有無にかかわらず遊べる遊具の設置や、新たなスポーツ種目に取り組みきっかけとなる施設等の整備を進める。	多世代が交流できる総合公園を整備する。障害の有無にかかわらず遊べる遊具の設置や、新たなスポーツ種目に取り組みきっかけとなる施設等の整備を進める。	多世代が交流できる総合公園を整備する。障害の有無にかかわらず遊べる遊具の設置や、新たなスポーツ種目に取り組みきっかけとなる施設等の整備を進める。		

2 事業コスト

事業費等(千円)	令和04年度		令和05年度		令和06年度		令和07年度		令和08年度	
	当初予算	決算	当初予算	決算	当初予算	決算	当初予算	決算	計画	決算
事業費	174,000	198,873	217,500	87,000	136,020	432,016	0	0	0	0
伸び率(%)	△50%	△8.5%	25%	△56.3%	△37.5%	396.6%	△100%	△100%	0%	0%
人件費	正規職員	21,953	21,177	20,864	22,188	18,078	19,714	4,520	0	0
	正規職員以外	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	小計	21,953	21,177	20,864	22,188	18,078	19,714	4,520	0	0
国庫支出金	87,000	25,000	108,750	43,500	68,010	216,007	0	0	0	0
県支出金	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
市債	78,300	171,300	97,800	39,100	61,200	194,400	0	0	0	0
その他	0	0	0	0	0	17,900	0	0	0	0
一般財源(税等)	8,700	2,573	10,950	4,400	6,810	3,709	0	0	0	0
所要人数(人)	正規職員	2.83	2.73	2.68	2.85	2.32	2.53	0.58	0.00	0.00
	正規職員以外	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
主な予算内訳	整備工事請負費 136,020千円									

3 目標及び実績

活動指標	指標名	単位		令和04年度	令和05年度	令和06年度	令和07年度	令和08年度
				目標値	実績値	達成度(%)	目標値	実績値
住民との意見交換		回	目標値	5	2	1	1	
			実績値	5	0	0		
			達成度(%)	100%	0%	0%	%	%
施工事業者との毎月の協議		回	目標値	12	24	24	1	
			実績値	10	24	14		
			達成度(%)	83.3%	100%	58.33%	%	%
成果指標			目標値					
			実績値					
			達成度(%)					

4 事業の評価

評価基準				
[妥当性]事業のニーズはあるか	○	増加している	横ばい	減少している
[妥当性]事業手段は妥当か	○	現行の手段でよい	一部見直しが必要	見直しが必要
[妥当性]官民の役割は妥当か	○	市が行うべき	他の主体との協働も可能	市が行う必要性は薄れている
[妥当性]緊急的に取り組む必要があるか	○	急いで取り組む	中長期的に取り組む	緊急性は薄い
[有効性]更に効果が期待できるか	○	できる	あまりできない	できない
[有効性]成果目標ほどの程度達成しているか		達成している (90%以上)	おおむね達成 (70~90%未満)	○ 達成していない (70%未満)
[有効性]上位施策への貢献度	○	重要かつ高い貢献度がある	一定の貢献度がある	貢献度は低い
[効率性]事業費を抑制できるか		できない	○ 制約はあるが可能性はある	できる
[効率性]受益者負担の見直し	○	適正	負担は求められない	見直しが必要

5 今後の方向性 (担当課評価)

事業内容の方向性	充実				
	現状維持		○		
	縮小				
	廃止				
		ゼロ	縮小	現状維持	拡大
コスト投入の方向性					

担当課評価の根拠	運動施設、駐車場を含むつつじが丘総合公園を整備することで多世代が交流できる場所を利用者に提供する。また、地震や津波などの災害時には、一時的な避難場所としても提供する。
見直し・改善内容	整備を進めており、令和7年5月に完成予定。

4 事業の評価

評価基準					
[妥当性]事業のニーズはあるか	○	増加している		横ばい	減少している
[妥当性]事業手段は妥当か	○	現行の手段でよい		一部見直しが必要	見直しが必要
[妥当性]官民の役割は妥当か		市が行うべき	○	他の主体との協働も可能	市が行う必要性は薄れている
[妥当性]緊急的に取り組む必要はあるか		急いで取り組む	○	中長期的に取り組む	緊急性は薄い
[有効性]更に効果が期待できるか	○	できる		あまりできない	できない
[有効性]成果目標はどの程度達成しているか	○	達成している (90%以上)		おおむね達成 (70~90%未満)	達成していない (70%未満)
[有効性]上位施策への貢献度		重要かつ高い貢献度がある	○	一定の貢献度がある	貢献度は低い
[効率性]事業費を抑制できるか		できない	○	制約はあるが可能性はある	できる
[効率性]受益者負担の見直し		適正	○	負担は求められない	見直しが必要

5 今後の方向性 (担当課評価)

事業内容の方向性	充実				○
	現状維持				
	縮小				
	廃止				
		ゼロ	縮小	現状維持	拡大
コスト投入の方向性					

担当課評価の根拠	<p>自転車は、他の交通機関と比べて環境にやさしい交通手段であり、子どもから高齢者まで幅広い世代において、便利で身近な乗り物として、通勤・通学、買い物、サイクリング、観光・レジャー等、日常生活から余暇活動まで、さまざまな場面で利用されている。さらに、近年では、健康づくりや環境意識の高まりなどあって、移動手段として利用ニーズも増加しており、本市の実情に応じた事業の展開が必要である。</p>
見直し・改善内容	<p>和歌山市自転車活用推進計画の実施及び進捗管理を行い、必要に応じて計画見直しの実施も検討していく。また、シェアサイクル事業においては、引き続き関連事業者（交通事業者や運営事業者など）と協議を行い、持続可能な事業として、実施に向けた検討を進めていく。</p>